SONY

4-159-987-05(1)

デジタルCSチューナー

取扱説明書

DST-HD1

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

2 ～ 4ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。
96ページの「使用上のご注意」もあわせてお読みください。

定期的に点検する

設置時や1年に1度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、プラグがしっかり差し込まれているか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

- 煙が出たら
- 変なにおいや音がしたら
- 内部に水などが入ったら
- 内部に異物が入ったら
- 音は出るが画面が映らないときは
- 落としたり、破損したときは

1. 電源を切る
2. 電源プラグをコンセントから抜く
3. お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

指のケガに注意

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

接触禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

指示

プラグをコンセントから抜く

下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

本機は日本国内専用です

交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災・感電の原因となります。

指示

内部を開けない

火災、感電の原因となることがあります。
内部の点検や修理はソニーサービス窓口にご依頼ください。

分解禁止

ぬれた手で電源プラグにさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

内部に水や異物を落とさない

本機の上に花瓶などの水の入ったものを置かないでください。また、本機を水滴のかかる場所に置かないでください。水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、ソニーサービス窓口にご相談ください。

禁止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

禁止

- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

➡ 万一、電源コードが傷んだら、ソニーサービス窓口に交換をご依頼ください。

タコ足配線にしない

火災の原因となります。

禁止

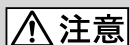
移動させるときは、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだまま移動させるとコードが傷つき、火災・感電の原因となったり、接続している機器が落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、他の機器との接続ケーブルをはずしてください。また、本機を落とさないようご注意ください。

雷が鳴りだしたら、本機には触れない

感電の原因となります。

安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、機器が落下してけがの原因となることがあります。また、置き場所の強度も充分に確認してください。

⚠注意　下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

電源プラグをつなぐのは、すべての接続が終わってから

コンセントに差したままケーブルに接続したりすると、感電の原因となることがあります。

コンセントの近くで使用する

本機はコンセントの近くでお使いください。本機を使用中、不具合が生じたときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜き、電源を遮断してください。
通常、本体の電源ボタンを切っただけでは、完全に電源から切り離せません。

お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れすると、感電の原因となることがあります。

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には置かない

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。

風通しの悪い所に置かない

布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上、または壁や家具に密接して置いて、自然放熱の妨げになるようなことはしないでください。内部に熱がこもると、やけどの原因となることがあります。また、本機は電源を「切」の状態にしていても、データを受信していることがあるため、通常動作中と同様に熱を発することがありますが、故障や異常ではありません。

本機の上に重いものを載せない

バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

幼児の手の届かない場所に置く

小さな部品（ネジや端子カバーなど）やリモコンの電池などが何らかの理由で本体からはずれた場合は、口に入れたり飲み込んだりすると、のどにつまったりして危険です。

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠警告

電池の液が漏れたときは

素手で液をさわらない

電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。そのときに異常がなくても、液の化学変化により、時間が経ってから症状が現れることがあります。

必ず次の処理をする

指示

➡液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
➡液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。

電池は乳幼児の手の届かない所に置く

電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。
➡万一、飲み込んだときはただちに医師に相談してください。

電池を火の中に入れない、加熱・分解・改造・充電しない、水でぬらさない

破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

⚠注意

指定以外の電池を使わない、新しい電池と使用した電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

➡マンガン電池をお使いください。電池の品番を確かめ、お使いください。

＋と－の向きを正しく入れる

＋と－を逆に入れると、ショートして電池が発熱や破裂をしたり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

➡機器の表示に合わせて、正しく入れてください。

使い切ったときや、長時間使用しないときは、電池を取り出す

電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがややけどの原因となることがあります。

リモコンのフタを開けて使用しない

リモコンのフタを開けたまま使用すると、漏液、発熱、発火、破裂などの原因となることがあります。

➡マンガン電池を使用し、フタを閉めて使用してください。

こんなことができます

番組を楽しむ

本機では、従来のデジタルCS放送の番組に加え、ハイビジョン高画質で放送されている番組もお楽しみいただけます。

▶準備
☞ 準備1 ～ 7　10 ～ 21ページ

▶使いかた
☞ 番組を見る　51ページ

ペイ・パー・ビュー（PPV)を見る

有料番組を本機から購入してすぐに見ることができます。

▶準備
☞ ペイ・パー・ビュー（PPV)を楽しみたいときは　24ページ

▶使いかた
☞ ペイ・パー・ビュー（PPV)を楽しむ　61ページ

DVDレコーダーやビデオデッキをつないで録画する

DVDレコーダーやビデオデッキなどをつないで、デジタルCS放送の番組を録画できます。
デジタルハイビジョン画質（HD）の番組は標準テレビ画質（SD）で録画されます。
付属のAVマウスを使うと録画機器が連動して、本機で録画予約した番組を録画できます。

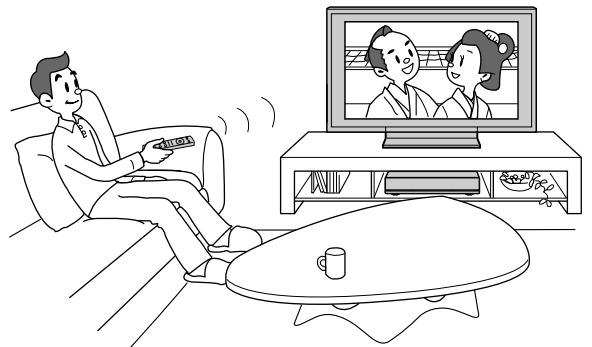
▶準備
☞ DVDレコーダーやビデオデッキをつないで番組を録画したいときは　41ページ

▶使いかた
☞ 録画予約する　65ページ

ネットワークにつないで録画する・見る

対応するブルーレイディスクレコーダーなどの録画機器をつないで、デジタルCS放送の番組を録画できます。放送画質そのままの品質で録画できます。録画した番組は、本機から再生できます。

▶準備
☞ ネットワーク経由で番組の録画や再生をしたいときは　45ページ

▶使いかた
☞ 録画予約する　65ページ
☞ ブルーレイディスクレコーダーに録画した番組を再生する　74ページ

ブラビアのリモコンを使って操作する

ブラビアリンクに対応したテレビとHDMIケーブルでつなぐと、ブラビアのリモコンで本機の操作ができます。

▶準備／使いかた
☞ ブラビアリンクを使うときは　40ページ

目次

番組を見るための準備

使いかたに合わせた準備

番組を見る

録画予約する

ネットワークで楽しむ

設定を変更する

次のページにつづく⇨

困ったときは

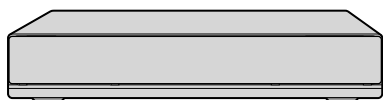
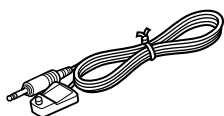
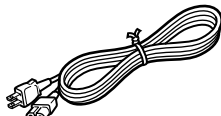
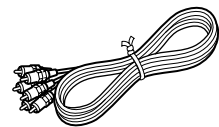
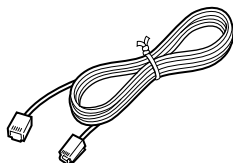
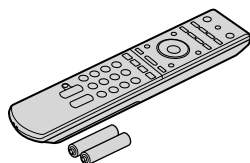
その他

番組を見るための準備

準備1：付属品を確認する

箱を開けたら、デジタルCSチューナー DST-HD1とその付属品が、すべてそろっているか確かめてください。
(　)内の数字は個数です。

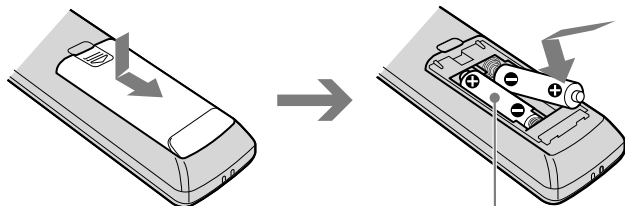
デジタルCSチューナー DST-HD1とその付属品

デジタルCSチューナー　DST-HD1（1）

AVマウス(1)

電源コード(1)

映像/音声コード(1)

テレホンコード(10m)(1)

リモコン(1)、
単3形マンガン乾電池(2)

モジュラーテレホンコードカプラー(1)

ICカード
スカパー！有料放送サービス加入申込書
取扱説明書
ソニーご相談窓口のご案内
保証書
(以上、各1部)

リモコンに電池を入れるには

ご注意

- マンガン乾電池のご使用をおすすめします。指定以外の電池を使うと、けがややけどの原因となることがあります。
- リモコンを長時間使用しないとき、使いきったときは、乾電池を取り出しておいてください。乾電池を入れたままにしておくと、放電により液が漏れ、けがややけどの原因となることがあります。
- 新しい乾電池と使用した乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使わないでください。乾電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。
- 本機では付属のICカードのみ使えます。

準備2：CSアンテナを本機につなぐ

準備 1 準備 2 準備 3 準備 4 準備 5 準備 6 準備 7

アンテナと本機を衛星用同軸ケーブルでつないでください。
アンテナの取り付けは、アンテナご購入店にご相談ください。

チューナーを買い替えたときは

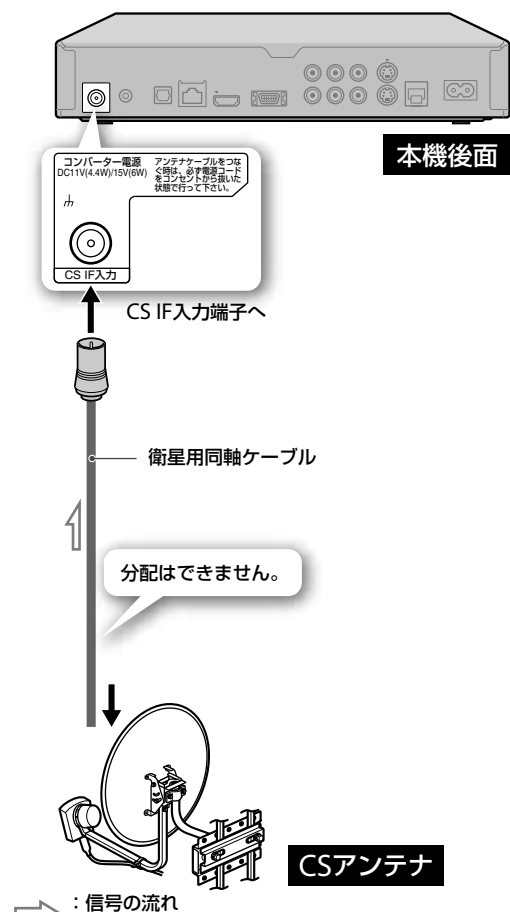
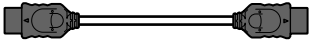
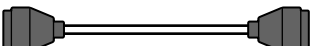
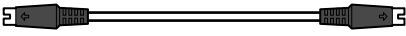
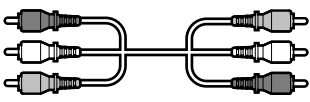
あらかじめ以下を行ってください。

- 今までお使いのチューナーの受信設定をメモしておく。本機の受信設定をする際に参考になります。
- 今までお使いのチューナーの接続をすべてはずしておく。

今までお使いのチューナーの設定の確認方法や接続方法はメーカーおよび機種により異なります。
チューナー機器に付属の取扱説明書をご確認ください。

ご注意

- 電源コードは、準備5までつながないでください。CSアンテナのコンバーターがショートするおそれがあります。
- 衛星用同軸ケーブルの端子は、手で本機に取り付けてください。工具で取り付けると端子を破損するおそれがあります。
- 画像の乱れを防ぐため、以下の点にご注意ください。
  —本機の上にテレビを直接置かない。
  —CSアンテナと接続するケーブルは必ず衛星用同軸ケーブル（S-4C-FBケーブル）をお使いください。
- 次のようなときはデジタルCS放送受信に支障をきたすことがありますが、故障ではありません。
  —お住まいの地域またはデジタルCS放送を送信するスカパー！のある地域が豪雨、強風などの悪天候のとき
  —CSアンテナにゴミや雪が付着しているとき
  —強風などでCSアンテナの向きが変わったとき（CSアンテナの取扱説明書をご確認のうえ、アンテナの向きを調整してください。またはアンテナご購入店にご相談ください。）

番組を見るための準備

準備3：テレビをつなぐ

準備 1 ＞ 準備 2 ＞ 準備 3 ＞ 準備 4 ＞ 準備 5 ＞ 準備 6 ＞ 準備 7

本機からの映像がテレビに映るように、本機とテレビをつなぎます。

映像ケーブルを選ぶ

本機には数種類の接続端子が用意されています。お手持ちのテレビの接続端子に合わせて、本機とテレビを接続してください。
デジタルハイビジョン機器をお持ちであれば、HDMI出力端子またはD映像出力端子に接続してください。

画質と接続に使う映像ケーブル		表示できる解像度（画質）	接続方法
高画質	HDMIケーブル（別売り）	HD SD	HDMIケーブルでつなぐ（13ページ）
	D映像ケーブル（別売り）	HD SD	D映像ケーブルでつなぐ（14ページ）
	S映像コード（別売り）	SD	S映像コードでつなぐ（14ページ）
標準	映像/音声コード（付属）の映像コード（黄）	SD	映像コードでつなぐ（14ページ）

画像方式について

テレビ放送には、高画質のデジタルハイビジョン画質 HD と、標準テレビ画質 SD の2種類があります。

デジタルハイビジョン画質 HD	1125i（1080i）/750p（720p）	大画面でも走査線が目立たず、臨場感あふれる高精密画質
標準テレビ画質 SD	525i（480i）/525p（480p）	地上アナログと同等の画質

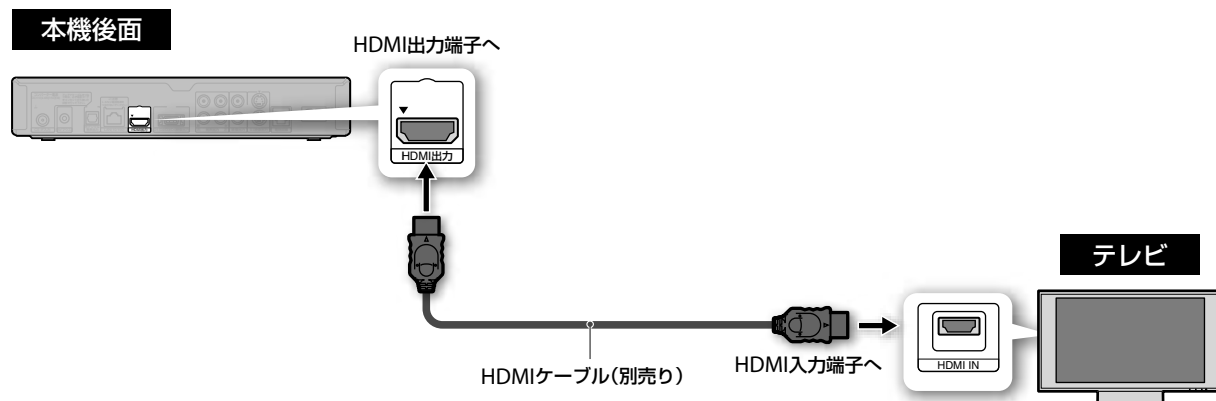
出力信号は本機前面の表示窓（101ページ）で確認できます。

ご注意

- 本機をプログレッシブ（525p）方式に対応するテレビなどにつないでプログレッシブ出力したときに、画像の乱れなどの問題が生じた場合は、インターレース方式でご覧になることをおすすめします。
- HDMIケーブルはHDMIロゴが入っているものを使用してください。

HDMIケーブルでつなぐ HD SD

HDMIケーブル（別売り）1本で映像と音声を出力できます。デジタルで劣化の少ない高精細映像と音声が楽しめます。

HDMI、HDMIロゴ、およびHigh Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。

［本体設定］の［出力映像設定］で［HDMI］を選び、解像度を選んでください（80ページ）。

ご注意

HDMIの接続機器の認証には時間がかかるため、画像や音声が途切れる場合があります。

HDMI機器制御機能を利用する

HDMI機器制御機能とは、HDMIで規格化されているHDMI CEC（Consumer Electronics Control）を使った機器間相互制御の機能です。
ソニーのHDMI機器制御機能対応のテレビやAVアンプなどをHDMIケーブルでつなぐと、それぞれの機器間で以下のような操作が連動してできるようになります。

- テレビの電源を切ると、連動して本機の電源も切ることができます。
- 本機で下記ボタンを押すと、テレビの電源が自動的に入り、テレビの入力が本機を接続している入力に自動的に切り換わります。
  —電源
- テレビの入力を選ぶだけで、本機の電源が入ります。

また、「ブラビアリンク」に対応したテレビのリモコンからも本機を操作することができます。詳しくは、40ページをご覧ください。

1 **本機とテレビをHDMIケーブルで接続する。**

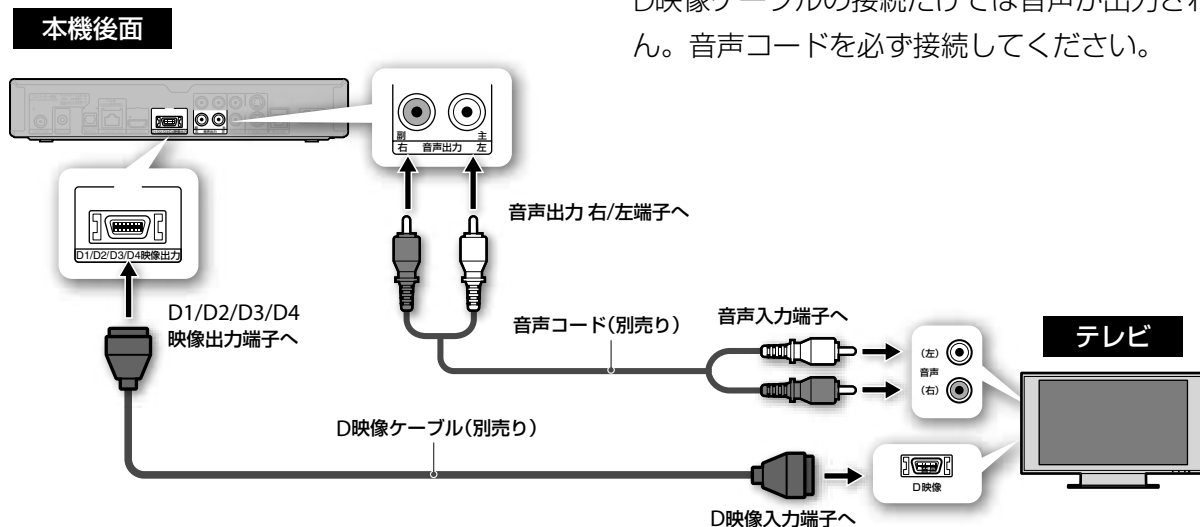
2 **本機と接続した機器でHDMI機器制御機能の設定を有効にする。**
本機の設定については［本体設定］の[HDMI機器制御設定]（80ページ）をご覧ください。
テレビ側の設定方法については、お使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。

対応機器について

動作推奨機器（2009年7月現在）：
<ブラビア>F1シリーズ、V1シリーズ、J1シリーズ、M1シリーズ、X7000/5050/5000シリーズ、W5000シリーズ、V5000/3000シリーズ、J5000/3000シリーズ

また、HDMI CEC（Consumer Electronics Control）に準拠している一部の他社製テレビで動作します（ただし、保証するものではありません）。

次のページにつづく⇨

D映像ケーブルでつなぐ HD SD

D映像ケーブル（別売り）1本でコンポーネント映像を出力でき、映像本来の色を忠実に再現します。D映像ケーブルの接続だけでは音声が出力されません。音声コードを必ず接続してください。

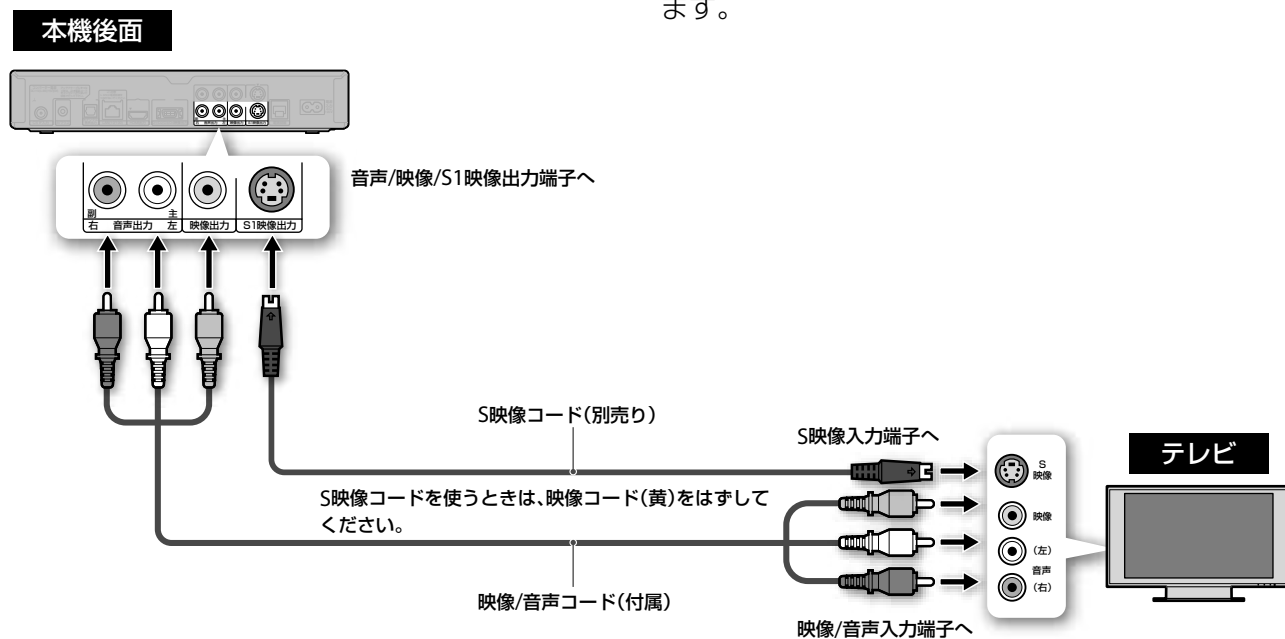
出力映像の設定を切り換える

本機前面のD1/D2/D3/D4切換ボタンを押して、D映像出力端子からの出力信号を選びます。映像信号は次のようになります。テレビに映像が映らない場合は[D1]を選んでください。

D1: 525i（480i）
D2: 525p（480p）
D3: 1125i（1080i）
D4: 750p（720p）

ご注意

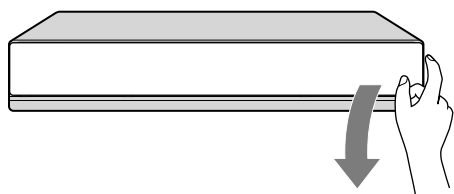
D映像ケーブルで接続した場合は、[本体設定]の[出力映像設定]で[D端子]を選んでください（80ページ）。[HDMI]を選んでいるとD映像出力端子から出力されないことがあります。

S映像コードや映像コードでつなぐ SD

標準的な映像が楽しめます。S映像コード（別売り）を使うと、付属の映像コード（黄）よりきれいな映像が楽しめます。出力信号は525i（480i）固定となります。

準備4：ICカードを入れる

準備1 準備2 準備3 準備4 準備5 準備6 準備7

ICカードには、お客様のID番号や番組の契約・購入状況などの情報が記録されています。
ICカードを入れないと、スカパー！の有料チャンネルは視聴できません。

1 本体前面のふたを開ける。

2 ICカードを奥までしっかり挿入する。

本機に付属のICカードのみ使えます。他のデジタルCSチューナーでお使いのICカードを本機に入れてもご利用できません。
ICカードには1枚ごとに個別のカードIDが記録されており、本機がそのカードIDを認識します。

イラストの描かれた面を上に、表面に印刷された▲マークを本機に向ける。

3 ふたを閉める。

ご注意

長時間、コンセントやアンテナ、電話線を抜いたままにしないでください。視聴データなどの伝送ができなくなり、放送をご覧いただけなくなることがあります。

ICカードについてのご注意

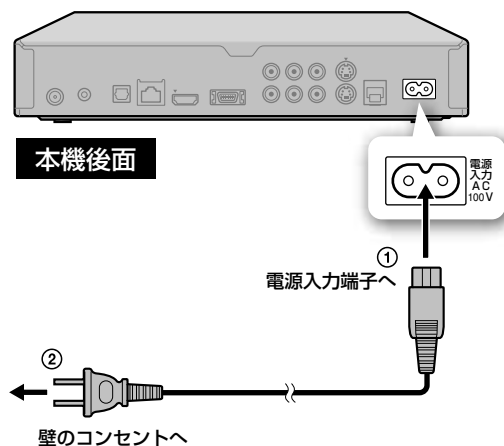
- スカパー JSAT株式会社発行のICカードの所有権はスカパー JSAT株式会社にあり、本機をお買い上げのお客様に貸与されたもので、無断で他人に譲渡することはできません。譲渡の際には、事前にスカパー！カスタマーセンター（21ページ）にご連絡ください。
- ICカードの紛失・盗難・破損の場合、すぐにスカパー！カスタマーセンターにお問い合わせください。なお、お客様の過失により再発行が必要な場合は、再発行手数料がかかります。使用できなくなったICカードは、スカパー JSAT株式会社にご返却ください。
- ICカードに記憶された内容は、定期的に、またはペイ・パー・ビュー（PPV）の購入金額が一定になったときに、本機から放送局へ電話回線またはネットワークを通じて自動送信されます（電話回線の場合、電話料金は無料）。

電源を入れたときにこんなメッセージが表示されたら

- 「ICカードにアクセスできません
ICカードを抜き差ししても直らない場合はスカパー！カスタマーセンターへ連絡してください」
ーICカードが奥までしっかり入っていない。
ーICカードが前後逆向きに入っている。
ーICカードが表裏逆向きに入っている。
ーICカードが破損している。
ーICカードとは別の種類のカードが入っている。
- 「ICカードを入れてください」
ーICカードが前後逆向きに入っている。
ーICカードが奥までしっかり入っていない。
- 「本機の動作に制限がかかっています
ICカードを挿入するかスカパー！カスタマーセンターにお問い合わせください」
ーICカードが入っていない。
ー無料体験期間を過ぎたまま契約していない。
ー契約手続き後、一度も電源を入れずに長時間放置していた。スカパー！カスタマーセンター（21ページ）にお問い合わせください。
- 「この番組は契約いただくと視聴できます
番組に関する詳細はスカパー！カスタマーセンターにお問い合わせください」
ー契約をしていないチャンネルを選局している。
- 「本機とこのICカードの組み合わせでは使用できません
本機でご契約のICカードをご使用ください」
ー同梱されていたICカードとは違うICカードが入っている。

準備5：電源コードをつなぐ

準備 1 準備 2 準備 3 準備 4 準備 5 準備 6 準備 7

付属の電源コードを下図の①、②の順につなぎます。
必ず、すべての接続が終わってからつないでください。

ご注意

- 本機を使わないときでも、電源コードを抜いたり電源タップのスイッチを切ったりしないでください。
  本機は電源「切」時も番組表の更新などを行うため、電源につないでいる必要があります。
- 付属の電源コードセットは、本機専用です。
  他の電気機器では使用できません。

準備6：受信設定をする

準備 1 > 準備 2 > 準備 3 > 準備 4 > 準備 5 > 準備 6 > 準備 7

ここではアンテナを使った受信設定を説明しています。マンションなどの共聴システムについては19ページをご覧ください。

CSアンテナを設置したとき

本機とテレビの電源を入れた後、受信方法（アンテナの種類）を選びます。

1 テレビの電源を入れ、テレビの入力切換ボタンを押して本機の画像が映るようにテレビの入力を切り換える。

例えば、テレビの「HDMI」端子に接続しているときは、画面に「HDMI」と表示されるように、本機を接続した入力に切り換えてください。

2 （電源）を押す。

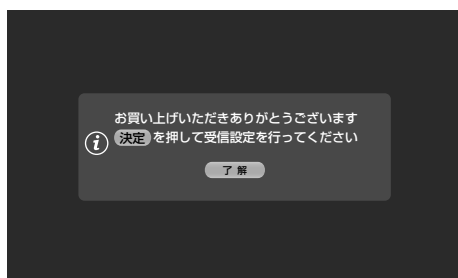
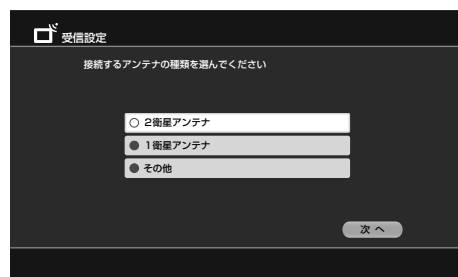
初めて電源を入れたときのみ下のメッセージが表示されます。

3 決定 を押す。

受信設定画面が表示されます。

受信設定画面が表示されないときは

以下の操作をして、受信設定画面を表示させてください。

① クイックパネル を押す。
② ↑↓で［設定］を選んで、決定 を押す。
③ ↑↓で［受信設定］を選んで、決定 を押す。
④ ↑↓で［アンテナ設定］を選んで、決定 を押す。

4 ↑↓でアンテナの種類を選び 決定 を押してから、↑↓で［次へ］を選び、決定 を押す。

項目	説明
2衛星アンテナ	PerfecTV!サービスとSKYサービスの両方を受信できるCSアンテナのときに選びます。 引き続き「［2衛星アンテナ］を選んだときは」（下記）を行ってください。
1衛星アンテナ	PerfecTV!サービスまたはSKYサービスのどちらか一方のみを受信するCSアンテナのときに選びます。 引き続き「［1衛星アンテナ］を選んだときは」（18ページ）を行ってください。
その他	コンバーターのローカル周波数が11.2GHz以外の2衛星アンテナのときに選びます。 引き続き「［その他］を選んだときは」（18ページ）を行ってください。

［2衛星アンテナ］を選んだときは

上記の手順4で［2衛星アンテナ］を選んだときは、引き続き下記の設定を行ってください。

1 受信レベルを確認する。

受信レベルは晴天時で20 ～ 26が目安となります。

2 ←→で［衛星切換］を選び、決定 を押す。

衛星Bの受信レベルが表示されます。

3 受信レベルを確認する。

衛星Aと衛星Bのどちらか、また両方の受信レベルが低いときはアンテナの取扱説明書をご確認のうえ、アンテナの向きを調整してください。またはアンテナご購入店にご相談ください。

4 正しく受信できているときは、←→で［設定完了］を選び、決定 を押す。

次のページにつづく⇨

[1衛星アンテナ]を選んだときは

「CSアンテナを設置したとき」(17ページ)の手順4で[1衛星アンテナ]を選んだときは、引き続き下記の設定を行ってください。

1 ↑↓←→で受信する衛星を選び、決定を押す。

項目	説明
衛星A	PerfecTV!サービスを受信するときに選びます。
衛星B	SKYサービスを受信するときに選びます。

2 お使いのCSアンテナに合わせて、↑↓←→で[コンバーター電源]の設定を選び、決定を押す。

3 お使いのCSアンテナに合わせて、↑↓←→で[ローカル周波数(GHz)]を選び、決定を押す。

4 ↑↓←→で[次へ]を選び、決定を押す。
受信レベルが表示されます。

5 受信レベルを確認する。
受信レベルは晴天時で20 ～ 26が目安となります。受信レベルが低いときはアンテナの取扱説明書をご確認のうえ、アンテナの向きを調整してください。またはアンテナご購入店にご相談ください。

6 正しく受信できているときは、←→で[設定完了]を選び、決定を押す。

[その他]を選んだときは

「CSアンテナを設置したとき」(17ページ)の手順4で[その他]を選んだときは、引き続き下記の設定を行ってください。

1 ↑↓←→で[衛星A](PerfecTV!サービス)を選び、決定を押す。

2 お使いのCSアンテナに合わせて、↑↓←→で[コンバーター電源]の設定を選び、決定を押す。

3 ↑↓←→でローカル周波数(GHz)欄の[その他]を選び、決定を押す。

4 お使いのCSアンテナに合わせて、↑↓で[水平周波数]を設定し、→を押す。

5 ↑↓で[垂直周波数]を設定し、決定を押す。

6 ↑↓←→で[次へ]を選び、決定を押す。
衛星Aの受信レベルが表示されます。

7 受信レベルを確認する。
受信レベルは晴天時で20 ～ 26が目安となります。

8 戻る(戻る)を押す。
手順1の画面が表示されます。

9 ↑↓←→で[衛星B](SKYサービス)を選び、決定を押す。

10 手順2 ～ 6を行う。
衛星Bについても衛星Aと同じように設定します。

11 受信レベルを確認する。
衛星Aと衛星Bのどちらか、また両方の受信レベルが低いときはアンテナの取扱説明書をご確認のうえ、アンテナの向きを調整してください。またはアンテナご購入店にご相談ください。

12 正しく受信できているときは、←→で[設定完了]を選び、決定を押す。

ちょっと一言
「受信設定」画面の各設定を終了しないと他の画面に移動できません。

音を聞いて調整するには

アンテナの受信設定をするときに、ビープ音で確認しながらアンテナの向きを調整できます。

1 (クイックパネル)を押す。

2 ↑↓で[設定]を選んで、決定を押す。

3 ↑↓で[受信設定]を選んで、決定を押す。

4 ↑↓で[アンテナ設定]を選んで決定を押し、[2衛星アンテナ]または[1衛星アンテナ]を選び、決定を押す。

5 ←→で[ビープ音]を選び、決定を押す。
✓が入っているときは、ビープ音が出ます。
✓が入っていないときは、ビープ音は出ません。

ビープ音を出したくないときは、もう一度「ビープ音」を選んで決定を押して、✓をはずしてください。

調整するときは

一人がテレビの受信設定画面で受信レベル表示を見て、もう一人がビープ音を聞きながらCSアンテナを動かして調整します。画面の指示に従ってアンテナを動かしてください。

微調整のポイント

ビープ音を目安にしながら、受信設定(衛星A)画面の「現在の受信レベル」を最大にします。

- 現在の受信レベル
  → 晴天時に20 ～ 26が目安です。
- ビープ音
  → 高くなるようにする。受信レベルが下がると、音も低くなります。

上下角度(仰角)も必ず微調整してください。

マンションなどの共聴システムのとき

お住まいのマンションごとに共聴システム方式が異なるため、設定する前に必ずマンションの管理会社(または管理人や管理組合など)に共聴システム方式の設定を確認し、その指示に従って下記の設定をしてください。

ここでは「PerfecTV! サービス」と「SKYサービス」の両方のサービスに対応した共聴システムの場合を説明しています。
「PerfecTV! サービス」のみ、または「SKYサービス」のみに対応した共聴システムの場合は、「CSアンテナを設置したとき」 17ページの手順**4**で「1衛星アンテナ」を選択し、受信したいサービスが「PerfecTV! サービス」なら「衛星A」、「SKYサービス」なら「衛星B」のみを設定してください。

スカパー！の番組は「PerfecTV! サービス」と「SKYサービス」の2つのサービスから放送されており、本機では両方のサービスを楽しむことができます。共聴システムによっては、ご覧になれる番組が異なる場合があります。

ご利用中の共聴システムで視聴可能なチャンネルについては、スカパー！のホームページをご覧になるか、スカパー！カスタマーセンター (21ページ)にお問い合わせください。
http://www.skyperfectv.co.jp/

1 **テレビの電源を入れ、テレビの入力切換ボタンを押して本機の画像が映るようにテレビの入力を切り換える。**

例えば、テレビの「HDMI」端子に接続しているときは、画面に「HDMI」と表示されるように、本機を接続した入力に切り換えてください。

2 **(電源)を押す。**

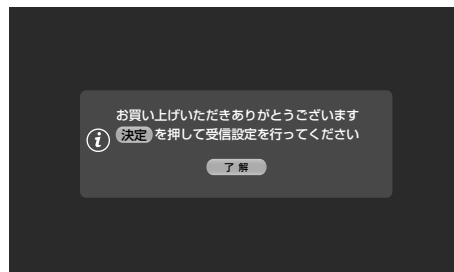
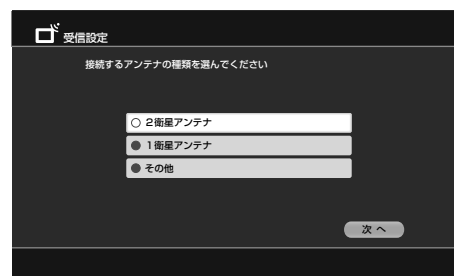
初めて電源を入れたときのみ下のメッセージが表示されます。

3 **決定を押す。**

受信設定画面が表示されます。

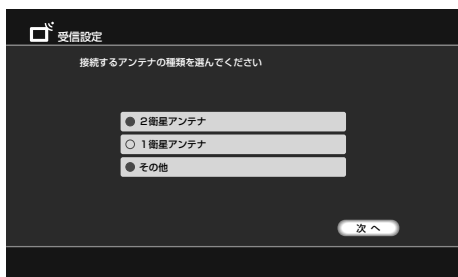
受信設定画面が表示されないときは

以下の操作をして、受信設定画面を表示させてください。

① クイックパネル を押す。
② ↑↓で [設定] を選んで、決定 を押す。
③ ↑↓で [受信設定] を選んで、決定 を押す。
④ ↑↓で [アンテナ設定] を選んで、決定 を押す。

4 **↑↓でアンテナの種類を選び、決定を押す。**

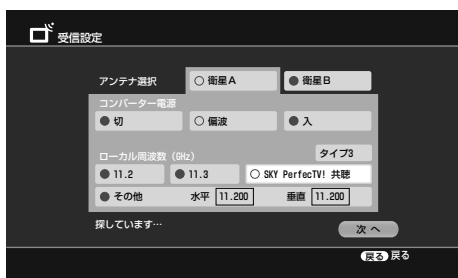
共聴システムによって設定が異なります。ご利用になる共聴システムをマンションの管理会社(または管理人や管理組合など)にご確認のうえ、設定を行ってください。

項目	説明
1衛星アンテナ	PerfecTV! サービスまたはSKYサービスのどちらか一方のみに対応した共聴システムのときに選びます。
その他	PerfecTV! サービスとSKYサービスの両方に対応した共聴システムのときに選びます。

次のページにつづく⇨

5 ↑↓で[次へ]を選び、決定を押す。

6 ↑↓←→で[衛星A](PerfecTV! サービス)を選び、決定を押す。

7 ↑↓←→で[コンバーター電源]の設定を選び、決定を押す。

8 ↑↓←→でローカル周波数(GHz)欄の[SKY PerfecTV! 共聴]を選び、決定を押す。

SKY PerfecTV! 共聴方式には4つのタイプがあります。[SKY PerfecTV! 共聴]を選んで決定を押すと、自動的にタイプが表示されて設定が完了します。

9 ↑↓で[次へ]を選び、決定を押す。

衛星Aの受信レベルが表示されます。受信レベルをご確認ください。

10 戻る(戻る)を押す。

手順6の画面が表示されます。

11 ↑↓←→で[衛星B](SKYサービス)を選び、決定を押す。

12 手順7 ~ 9を行う。

衛星Bについても衛星Aと同じように設定します。

13 ←→で[設定完了]を選び、決定を押す。

ちょっと一言

- 出荷時のコンバーター電源は[偏波]に設定されています。
- 「受信設定」画面の各設定を終了しないと他の画面に移動できません。
- 出荷時のローカル周波数は[11.2]に設定されています。
- ローカル周波数を[その他]に設定したときは、↑↓または数字ボタンで、周波数の設定を、10.500 ~ 11.500の間で設定できます。

SKY PerfecTV! 共聴方式の自動設定で受信できない場合は

自動設定で受信できなかった場合は手動で設定することもできます。
手動で設定するには、[SKY PerfecTV! 共聴]が選択されている状態([SKY PerfecTV! 共聴]の部分が黄色で、かつO印が黄色になっている状態)で、リモコンの数字ボタンを押します。

共聴のタイプ	操作
1	数字ボタンの1を押します。
2	数字ボタンの2を押します。
3-1	数字ボタンの3を押します。
3-2	数字ボタンの4を押します。

タイプ、コンバーター電源等の設定はマンションの管理会社(または管理人や管理組合など)にご確認ください。

準備7：スカパー！に加入を申し込む

準備 1 ＞ 準備 2 ＞ 準備 3 ＞ 準備 4 ＞ 準備 5 ＞ 準備 6 ＞ 準備 7

スカパー！に加入申し込みをして契約します。

1 電話でスカパー！カスタマーセンターに仮登録をする。

ペイ・パー・ビュー（PPV）やペイ・パー・デイ（PPD）など一部を除くほとんどのチャンネルを、最長2週間、無料で視聴できます。

仮登録専用電話番号: 0570-051-069
（PHS、IP電話などのときは　045-339-1122）

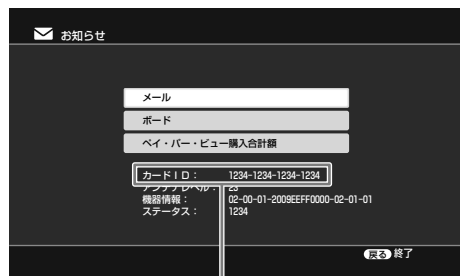
2 仮登録をしてから2週間以内(無料視聴期間内)に、加入申込書を郵送する。

郵送するときは、申込書添付用シール（ICカード裏面のID番号が記入されている）を加入申込書に貼ってから郵送してください。

カードIDを確認するには

ICカードを取り出さなくてもカードIDを確認できます。

1 お知らせ（お知らせ）を押す。

お知らせ画面が表示されます。

カードID

契約や加入についてのお問い合わせは

スカパー！カスタマーセンターに電話でお問い合わせください。

スカパー！カスタマーセンター

TEL. 0570-039-888
（PHS、IP電話などのときは045-287-7777）
受付時間 10:00 ～ 20:00（年中無休）
（電話番号はおかけ間違えのないようお願いいたします）

- 札幌・仙台・名古屋・大阪・広島・福岡に電話着信の拠点が設置されています。最寄りの拠点までの電話料金で、スカパー！カスタマーセンターへのアクセスが可能です。携帯電話やPHSなどのときは、今までの通話料と同額をご負担いただく場合があります。
- インターネットのスカパー！のホームページ「http://www.skyperfectv.co.jp/」でも、資料請求、仮登録、チャンネル契約変更、お客様情報（ご住所など）の変更、番組ガイド誌の購入申し込みなどができます。

加入方法および電話番号は、2010年9月現在のものです。変更される場合がありますので、スカパー！カスタマーセンターにご確認ください。

スカパー！の放送に関して

受託衛星放送事業者（衛星所有会社）あるいは委託放送事業者（放送局）側のトラブルにより何らかの支障があった場合、放送やEPGなどを含む各種サービスがご覧になれないことがあります。これはデジタルCS放送チューナーの問題ではありません。
突然の放送休止や放送開始の変更および衛星変更などがあった場合は、スカパー！カスタマーセンターにお問い合わせください。

スカパー！への加入が済んだら

以上で番組を見るための準備は終わりです。
☞ 使いかたに合わせた準備（23ページ）
☞ 番組を見る（51ページ）

使いかたに合わせた準備

ペイ・パー・ビュー（PPV）を楽しみたいときは

ペイ・パー・ビュー（PPV: PAY PER VIEW）とは、「見るたびに支払う」の意味で、番組単位で随時、視聴購入する番組です。
ペイ・パー・ビュー（PPV）を楽しむためには、電話回線またはネットワークのどちらか一方をつなぐ必要があります。以下からご利用の環境に合った接続方法をご覧ください。

電話回線

- 壁の電話コンセントから電話を直接つないでいるとき（25ページ）
- 壁の電話コンセントからADSL回線を通して電話をつないでいるとき（25、26ページ）
- 壁の電話コンセントからパソコンなどをつないでいるとき（26ページ）
- ISDN回線を使っているとき（27ページ）
- IP電話を使っているとき（27ページ）
- ひかり電話を使っているとき（28ページ）

ネットワーク*

- ケーブルモデムやFTTH（光回線）をつないでいるとき（31ページ）
- ADSL回線をつないでいるとき（32、33ページ）

* 別途プロバイダーとの契約が必要です。

電話回線・ネットワークは、ICカードに記憶された番組購入・契約状況などのデータを、定期的に本機から自動送信するためにも使われます（電話回線の場合、電話料金は無料）。

ちょっと一言

電話回線でのデータ送受信について

- データ送信には、1回あたり約30秒程度かかります。このときに、電話がかかってきたときには、話し中になります。
- 本機がデータを送受信しているときは、電話機やファクシミリなど同一回線上の通信機器は使えません。
その際、一部の通信機器で呼び出し音が鳴ることがあります。このときは、付属のモジュラーテレホンコードカプラーの代わりに、市販の自動転換機をお使いください。なお、パソコンなどをお使いの場合は、高速データ通信用自動転換機（2口用）をお使いください。
- 電話機やファクシミリを使っているときは、データの送受信はできません。

視聴者参加型番組（センターアクセス）について

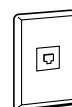
- 電話回線を通じて投票や申し込みなどをしたときは、通話料がかかります。
- 電話回線につなげないときは、データを送信できないため、投票や申し込みは無効になります。

ご注意

次の電話回線には、つなげません。

- 公衆電話および、共同電話、地域集団電話
- 携帯電話および、PHS、自動車電話
- 船舶電話

電話回線につなぐ

お住まいの壁の電話コンセントがモジュラージャック式の場合、25 ～ 28ページからつなぎ方を選んでください。また、壁の電話コンセントがモジュラージャック式でないときは、下記をご覧ください。

ご注意

ホームテレホンのときは、壁の電話コンセントがモジュラージャック式でも専門業者による工事が必要です。

壁の電話コンセントが3ピンプラグ式のとき

3ピンプラグ式

電話コンセントと付属のモジュラーテレホンコードカプラーの間に、別売りのテレホンモジュラーアダプターをつないでください。

壁の電話コンセントがローゼット式ジャックのとき

ローゼット式

別売りのモジュラーアダプターでつなげます。この方式の電話工事は、「工事担任者」資格者（NTT116番など）にご依頼ください。

壁の電話コンセントが直付けタイプのとき

直付けタイプ

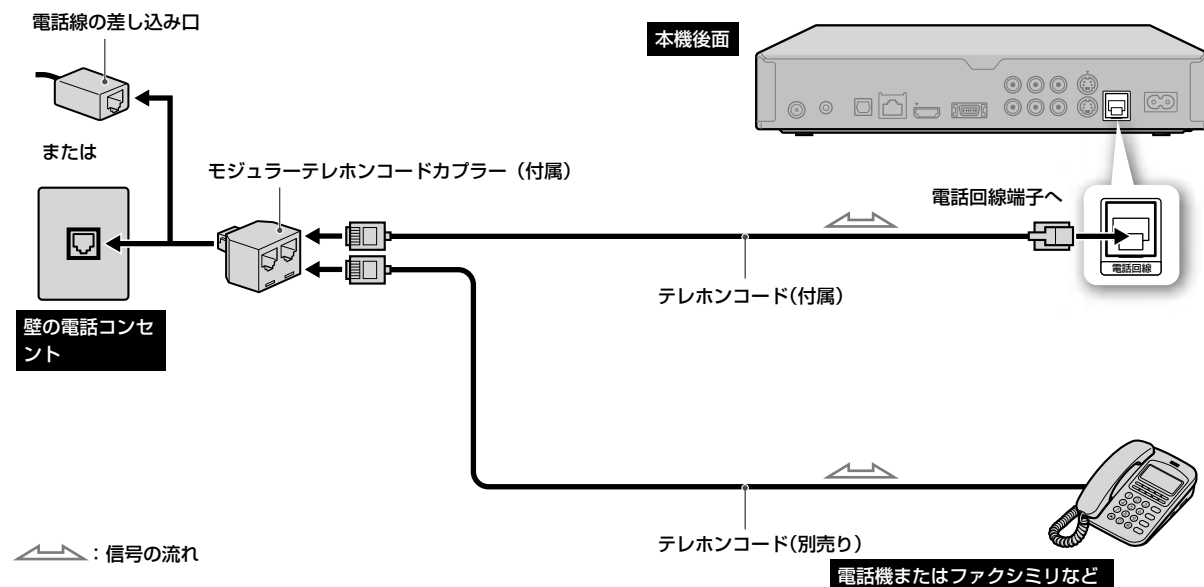
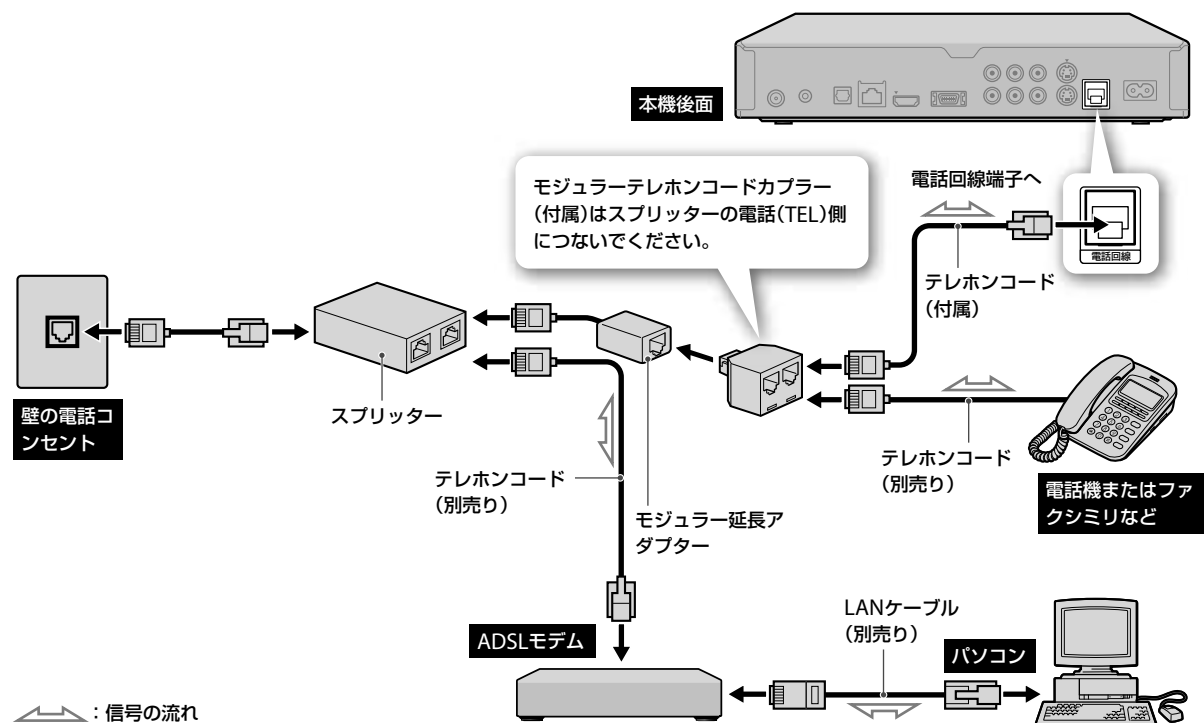
「工事担任者」資格者（NTT116番など）に、モジュラージャックへの変換工事をご依頼ください。

壁の電話コンセントに3つの通信機器をつなぐとき

別売りのテレホンモジュラートリプルアダプターをお使いください。なお、パソコンなどをお使いの場合は、高速データ通信用自動転換機（3口用）をお使いください。

壁埋め込みタイプのホームテレホン（電話機、ターミナルボックス、ドアホンアダプター）のとき

専門業者による工事が必要です。

壁の電話コンセントから電話を直接つないでいるとき

壁の電話コンセントからADSL回線を通して電話をつないでいるとき

ご注意

ADSLモデムと本機を直接つながないでください。本機はADSL回線に対応していません。

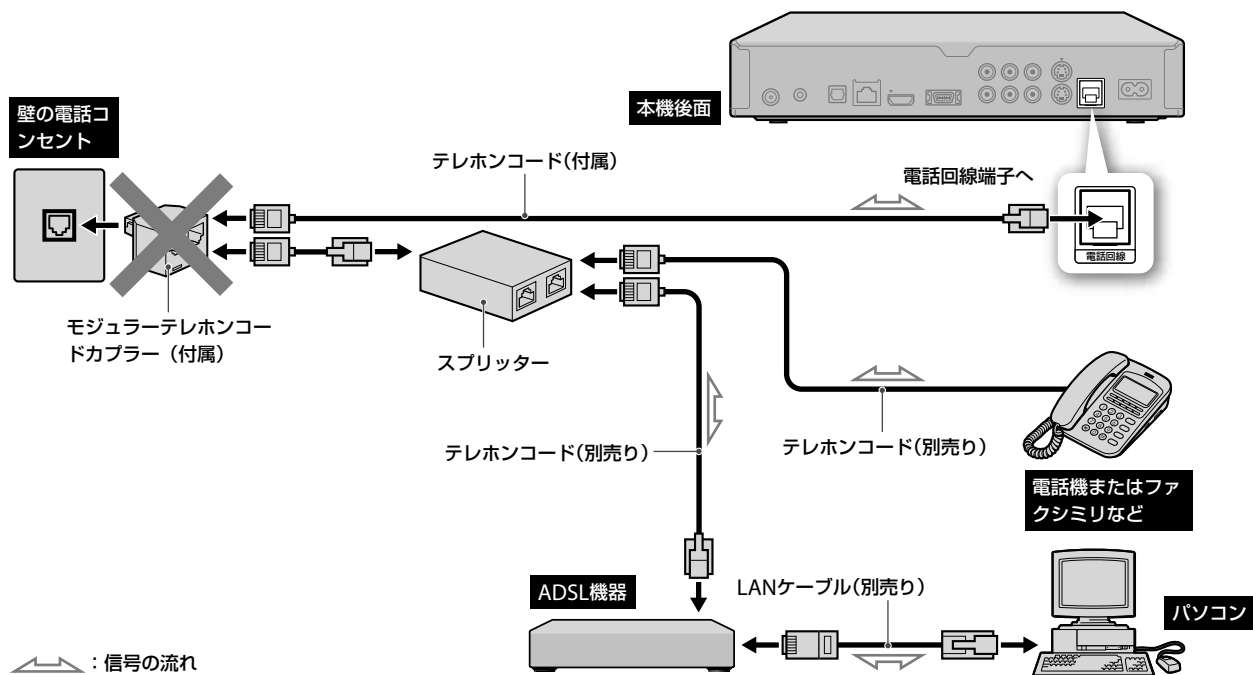
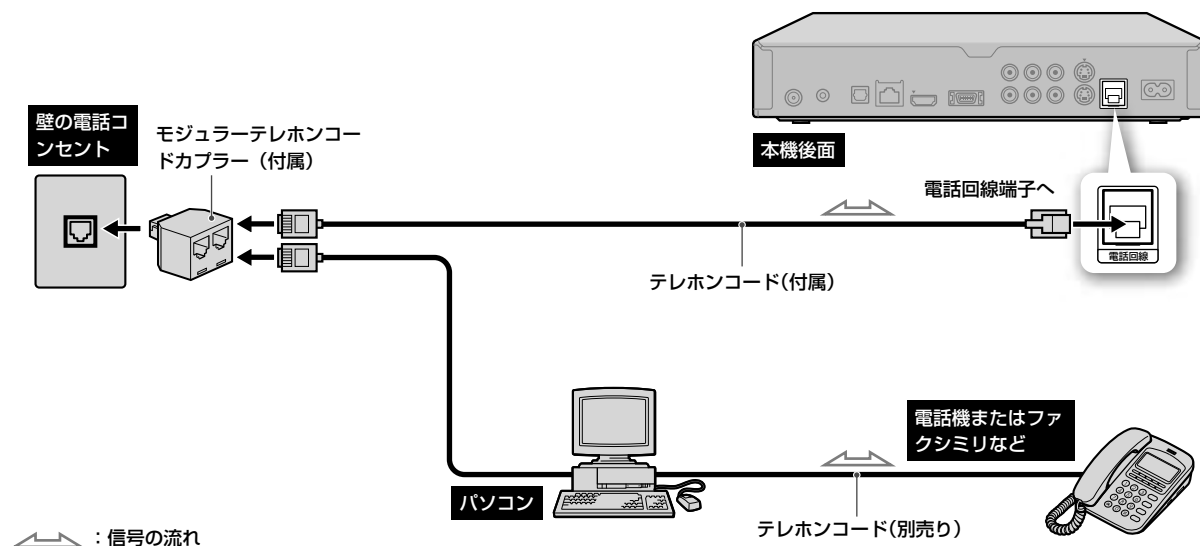
使いかたに合わせた準備

次のページにつづく⇨

スプリッター内蔵型ADSLをつなぐとき

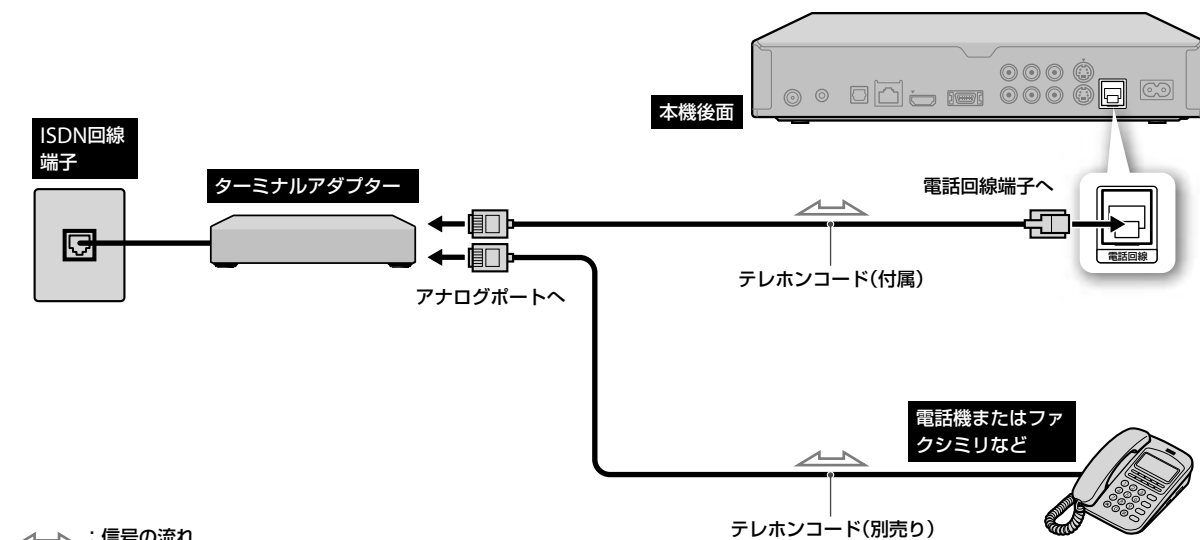
ADSLスプリッター内蔵モデムなど、25ページ以外の機器をお使いの場合、接続方法を契約プロバイダーにお問い合わせください。

おすすめしない配線例（スプリッターの電話側の回線に接続していない例）

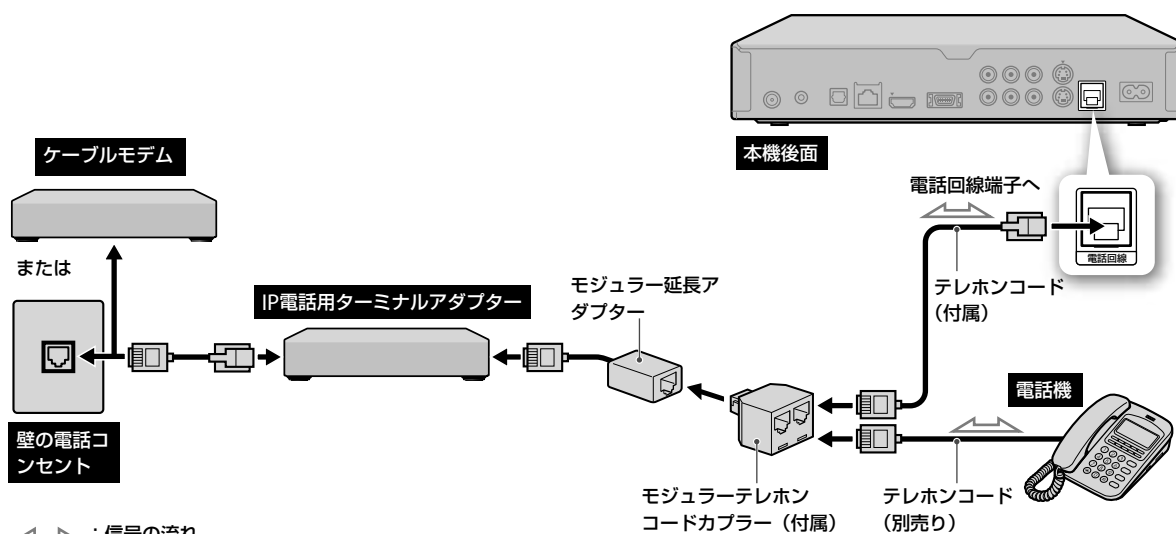
本機のデータ送受信が正しく行われないことや、間違った場所に電話が発信される可能性があります。

壁の電話コンセントからパソコンなどをつないでいるとき

ちょっと一言

パソコンなどの高速通信をするときや、すでに電話機やファクシミリなど通信機器を2台以上電話回線につないでいるときは、接続された通信機器がお互いに影響しあって、通信がうまくできないことがあります。このときは、付属のモジュラーテレホンコードカプラーの代わりに、市販の高速データ通信用自動転換機（2口用または3口用）をお使いください。

ISDN回線を使っているとき

お手持ちのターミナルアダプターのアナログポートに直接、本機をつないでください。

ご注意

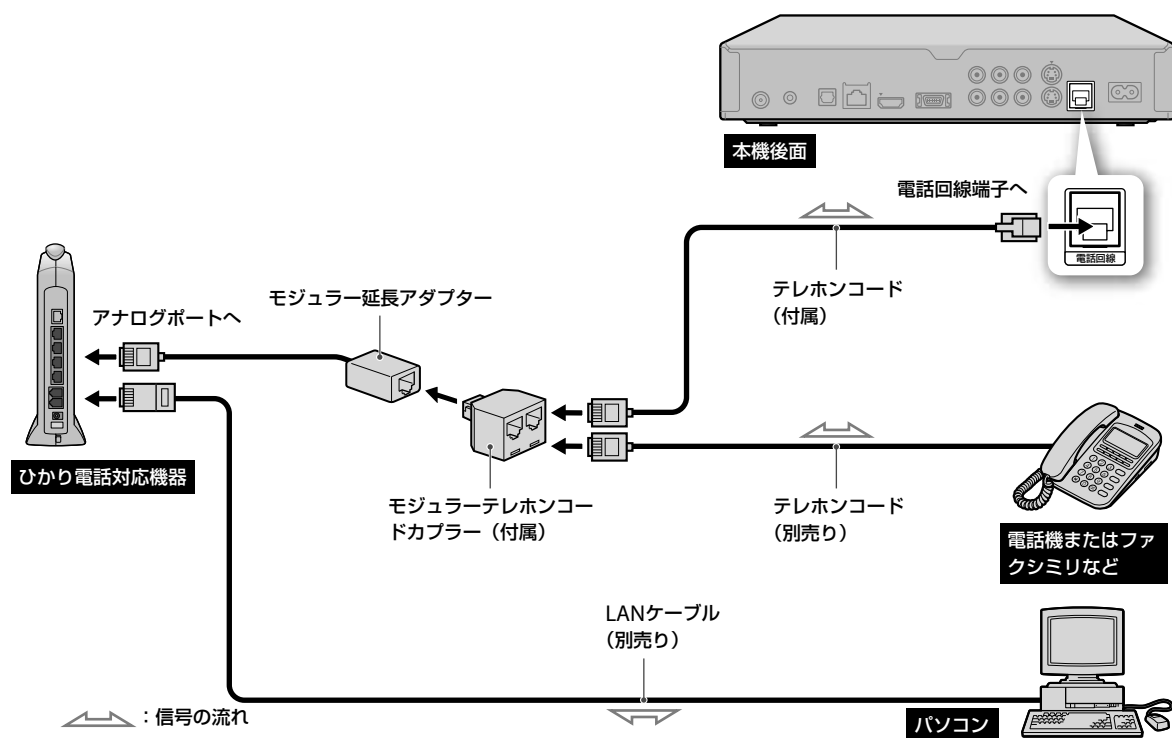
- アナログポートには、付属のモジュラーテレホンコードカプラーをつながないでください。2分配すると、正しく本機が働かないことがあります。
- ISDN回線端子に付属のモジュラーテレホンコードカプラーをつながないでください。無理に押し込むと破損することがあります。
- ターミナルアダプターによっては、うまく通信できないことがあります。詳しくは、ターミナルアダプターの製造元にお問い合わせください。
- 本機の電話回線を[トーン]回線に設定してください。(79ページ)

IP電話を使っているとき

ご注意

お使いのIP電話によっては、うまく通信できないことがあります。詳しくは、IP電話サービス事業者にお問い合わせください。

使いかたに合わせた準備

次のページにつづく⇨

ひかり電話を使っているとき

ご注意

- 電気通信事業者の都合またはお住まいの環境などにより、接続機器や接続方法が異なる場合があります。
- お使いのひかり電話によっては、うまく通信できないことがあります。詳しくは、ひかり電話サービス事業者にお問い合わせください。

電話回線を設定する

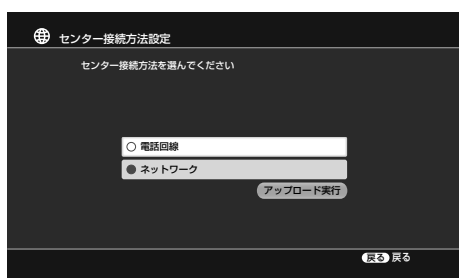
センター接続方法を設定する

1 (クイックパネル) を押す。

2 ↑↓で［設定］を選び、(決定) を押す。

3 ↑↓で［通信設定］を選び、(決定) を押す。

4 ↑↓で［センター接続方法設定］を選び、(決定) を押す。

5 ↑↓で［電話回線］を選び、(決定) を押す。

電話回線の種類を確認する

出荷時は、［トーン］回線で［通常発信］の電話回線に設定されています。お使いの電話に応じて、電話回線の種類をご確認ください。

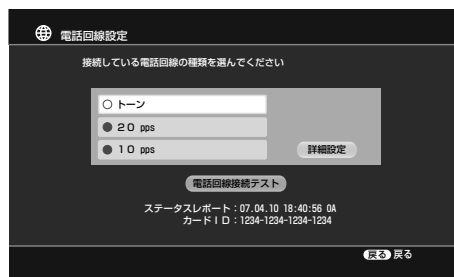
電話回線の設定と接続テストをする

1 (クイックパネル) を押す。

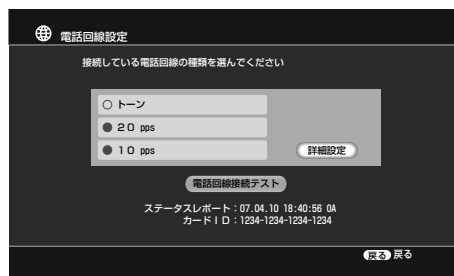
2 ↑↓で［設定］を選び、(決定) を押す。

3 ↑↓で［通信設定］を選び、(決定) を押す。

4 ↑↓で［電話回線設定］を選び、(決定) を押す。

5 ↑↓で電話回線の種類を選び、(決定) を押す。

項目	説明
トーン	出荷時の設定。プッシュ回線を使用しているときに選びます。
20pps	20ppsのダイヤル回線を使用しているときに選びます。
10pps	10ppsのダイヤル回線を使用しているときに選びます。

6 ↑↓←→で［詳細設定］を選び、(決定) を押す。

次のページにつづく⇨

7 ↑↓←→で設定したい項目を選び、決定を押す。

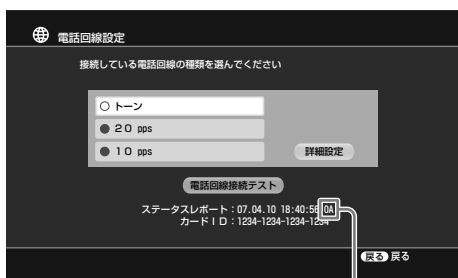
出荷時の設定は、下線の項目です。

項目	説明
発信方式	• 通常発信：通常は[通常発信]を選びます。 • 0発信：電話番号の前に0をつけて発信する電話回線の場合に選びます。 • 9発信：電話番号の前に9をつけて発信する電話回線の場合に選びます。 • その他：電話番号の前に0または9以外の数字をつけて発信する電話回線の場合に選びます。数字ボタンで数字を入力してください。
ダイヤルトーン自動検出	[発信方式]で[通常発信]を選んだときに設定します。 • する：通常は[する]を選びます。 • しない：受話器を上げたときに、「ツー」などの音声が聞こえてこないときに選びます。
ポーズ	[発信方式]で[0発信]または[9発信]、[その他]を選んだときに2 ～ 9秒の間で設定します。数字ボタンで秒数を入力し、決定を押してください。

8 ↑↓←→で[確定]を選び、決定を押す。

9 ↑↓で[電話回線接続テスト]を選び、決定を押す。

正しい接続であれば、「電話回線は正しく接続されています」と表示されます。上記以外のメッセージが表示されたときは、メッセージに従って、電話回線の接続や種類を確認し、再度テストを行ってください。

発信方式の設定が正しくされていないと、「電話回線接続テスト」は正しく動作しません。

ステータスレポート
ペイ・パー・ビュー（PPV）が購入できないときは、ここに表示される下2桁のエラーコードをソニーの相談窓口（裏表紙）にお知らせください。

ご注意

- 会社や法人などでビジネス回線を使用している場合は、本機にはつなげません。
  ビルや寮で電話を管理している方に、「2線式一般アナログ回線」をご依頼ください（通常、ファクシミリはこの回線に接続されています）。
- PBX（交換機）を使っているときは、「電話回線接続テスト」の結果が正しくないことがあります。電話回線の種類を確認し、正しく設定したら「電話回線接続テスト」を行わずに戻る（戻る）を押して終了してください。
- 本機は無線通信ユニットとの接続に対応しておりません。

設定が終わったら

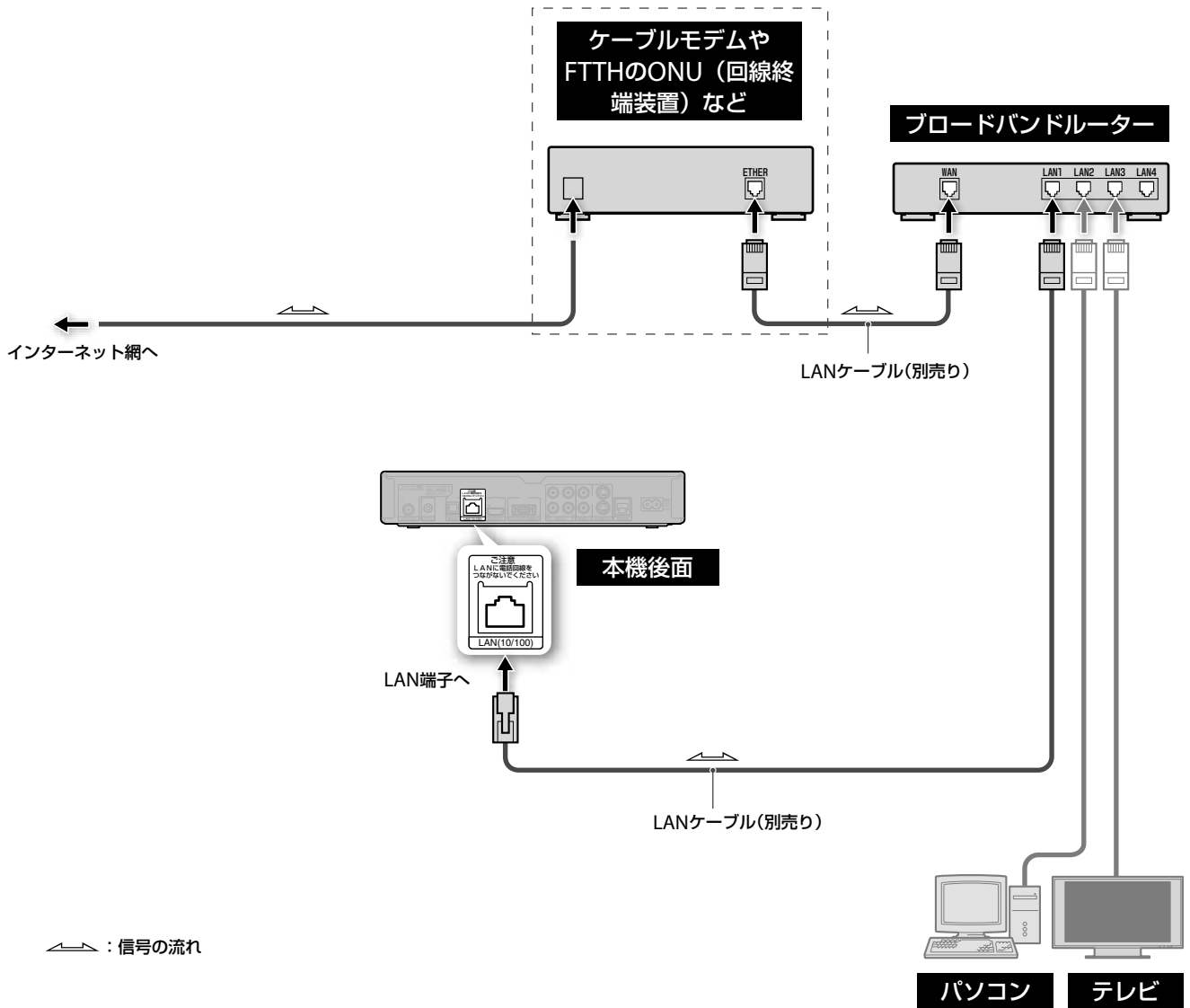
☞ ペイ・パー・ビュー（PPV）を楽しむ（61ページ）

使いかたに合わせた準備

ネットワークにつなぐ

ネットワークの接続をしたあとに、ネットワークの設定を行ってください（34ページ）。

ケーブルモデムやFTTH（光回線）をつないでいるとき

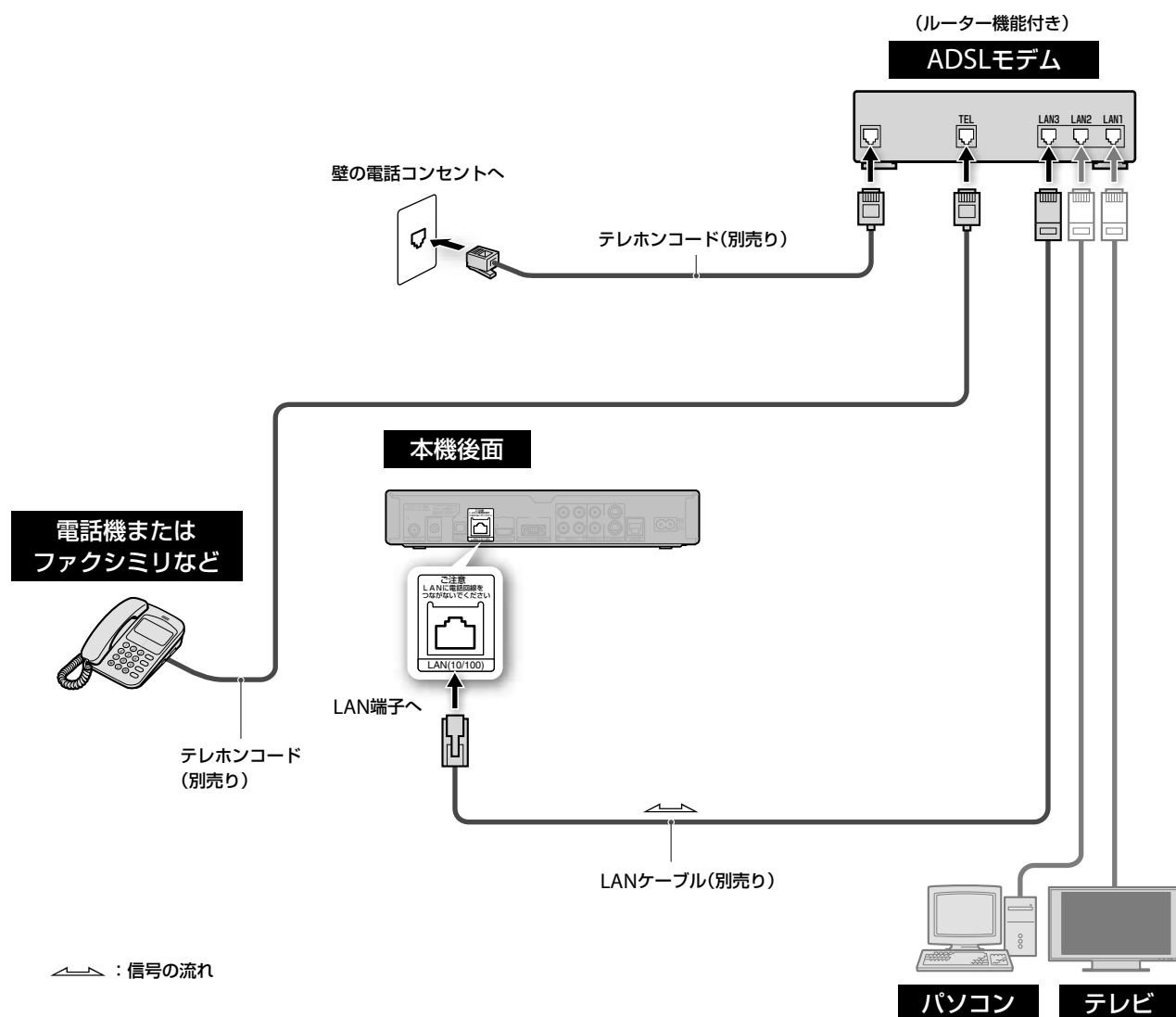
マンションなどで共同インターネット回線をご使用の場合、ONU（回線終端装置）は必要ありません。LANケーブルや接続のご注意については、32ページをご覧ください。

ご注意

- 本機のみをインターネットに接続する場合は、本機とケーブルモデムを直接接続してください。
- CATV（ケーブルテレビ）会社によっては、ブロードバンドルーターの接続を許可していない場合があります。
  あらかじめCATV（ケーブルテレビ）会社にご確認ください。

次のページにつづく⇨

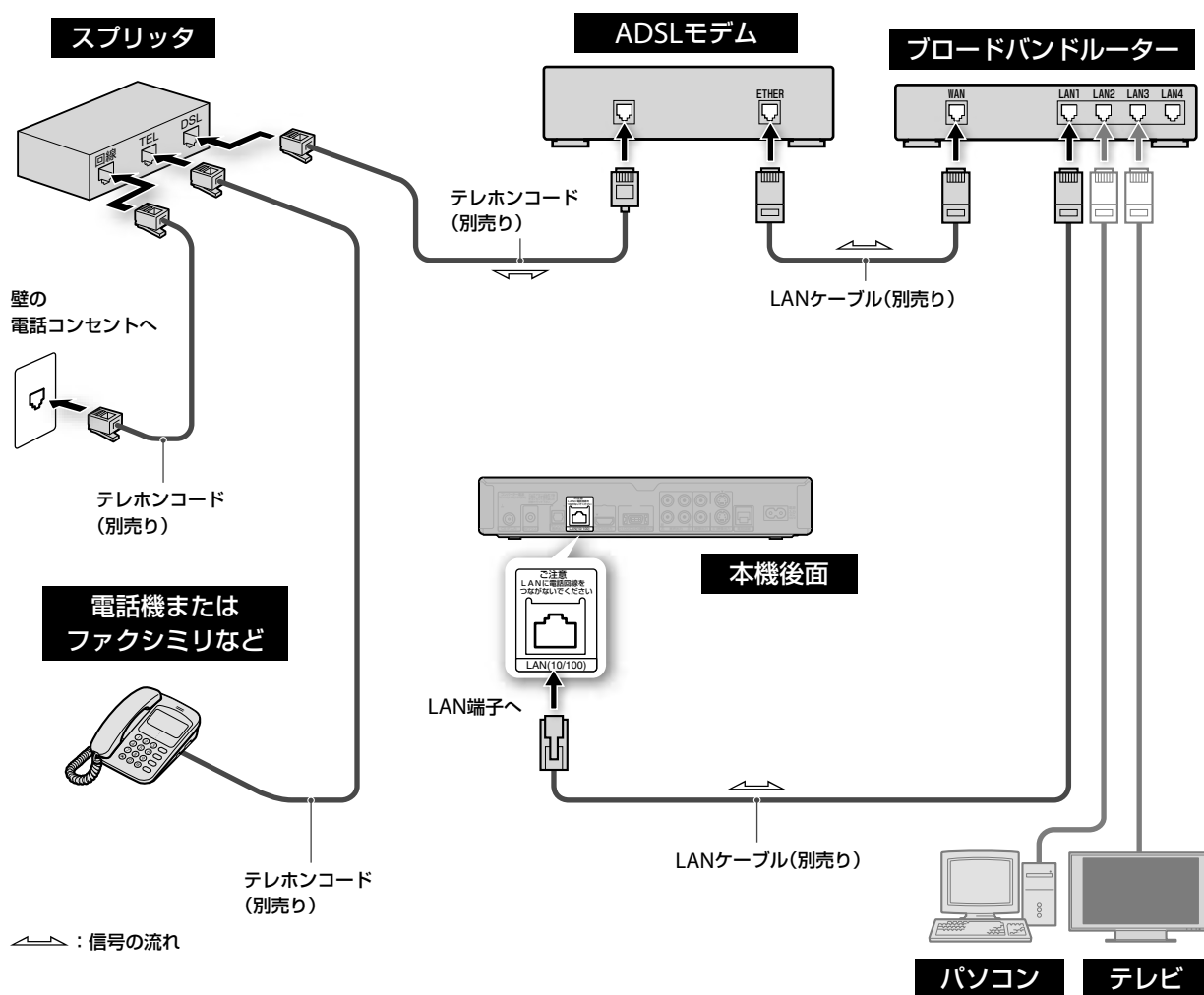
ADSL回線をつないでいるとき

ADSLモデムを使い、インターネットに接続する方法です。
ADSLモデムがルーター機能付きの場合は下図を、ADSLモデムがルーター機能付きでない場合は次のページの図をご覧ください。

ADSLモデム(ルーター機能付き)を利用しているとき

- 接続方法が不明な場合、ご契約先のインターネットサービスプロバイダーへお問い合わせください。
- ADSLモデムがルーター機能付きかどうかご不明の場合は、ご契約先のインターネットサービスプロバイダーへお問い合わせください。

ご注意

- 契約によっては、本機やパソコンなどの端末を複数台接続できないことがあります。ご利用の回線事業者へご確認ください。
- ご契約のインターネットサービスプロバイダーによっては、PPPoE方式を採用している場合があります。この場合、PPPoE方式に対応したルーターが必要になります。詳しくは、インターネットサービスプロバイダーにご確認ください。
- 本機にはウェブブラウザ機能が搭載されていないため、モデムやルーターなどの設定を本機から行うことはできません。
モデムやルーターなどの設定にはパソコンなどが必要になりますのでご注意ください。
- モデムなどに装備されているLAN端子の数が接続する端末数より少ない場合は、ハブが必要となります。

ADSLモデム（ルーター機能なし）を利用しているとき

ネットワーク（LAN）ケーブルを使うときは

- ネットワーク（LAN）ケーブルには、ストレートケーブルとクロスケーブルの2種類があります。
  モデムやルーターなどの種類により、使用するケーブルの種類が異なります。詳しくは、モデムやルーターの取扱説明書をご覧ください。
- 100BASE-TX/10BASE-Tタイプのネットワーク（LAN）ケーブルをお使いください。
  詳しくは、モデムやルーターの取扱説明書をご覧ください。

次のページにつづく⇨

ネットワークを設定する

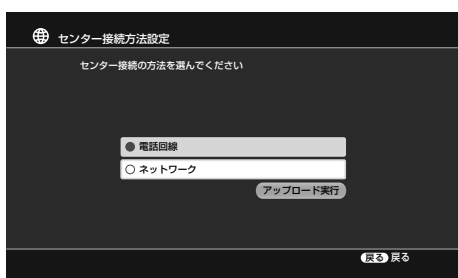
センター接続方法を設定する

1 クイックパネル を押す。

2 ↑↓で［設定］を選び、決定 を押す。

3 ↑↓で［通信設定］を選び、決定 を押す。

4 ↑↓で［センター接続方法設定］を選び、決定 を押す。

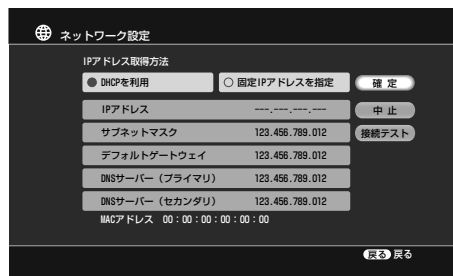
5 ↑↓で［ネットワーク］を選び、決定 を押す。

ネットワークの設定と接続テストをする

1 クイックパネル を押す。

2 ↑↓で［設定］を選び、決定 を押す。

3 ↑↓で［通信設定］を選び、決定 を押す。

4 ↑↓で［ネットワーク設定］を選び、決定 を押す。

5 ↑↓←→でIPアドレス取得方法を選び、決定 を押す。

項目	説明
DHCPを利用	ルーターやプロバイダーのDHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）サーバー機能により、自動でネットワークの設定を割り当てます。 通常はルーターが自動で割り当てますのでこちらを選びます。
固定IPアドレスを指定	ルーターの使用状況にあわせた値やプロバイダーが指定する値があるときの設定です。手動でネットワークの設定を入力する必要があります。 次の項目にプロバイダー指定の値を手動で入力してください。 • IPアドレス • サブネットマスク • デフォルトゲートウェイ • DNSサーバー（プライマリ） • DNSサーバー（セカンダリ）

6 ↑↓←→で［接続テスト］を選び、決定 を押す。

外部ネットワーク経由で課金情報などをやりとりする接続テストを行います。

本機とブルーレイディスクレコーダーなどの録画機器を直接LANケーブルでつないでいるときなど、外部ネットワークに接続していないときは、接続テストは働かず、「ネットワークが起動していません」と表示されます。

7 **接続テスト結果画面が表示されたら、決定を押す。**

ネットワーク設定画面に戻ります。

接続テストが正常に終了しなかった場合は、手順**6**からやり直してください。

正しく接続できなかった場合は、画面のメッセージにしたがってください。

8 **↑↓で[確定]を選び、決定を押す。**

ちょっと一言

LANケーブルを別のネットワークに切り換えた場合、ネットワークにつながらなくなることがありますので、切り換えたときは[接続テスト]を行ってください。

設定が終わったら

☞ペイ・パー・ビュー（PPV）を楽しむ（61ページ）

番組の購入/視聴制限を設定したいときは

暗証番号を設定する

成人向け番組などの視聴年齢制限のある番組の視聴や、ペイ・パー・ビュー（PPV）番組の購入（61ページ）などを制限するために、暗証番号の設定が必要です。

ちょっと一言

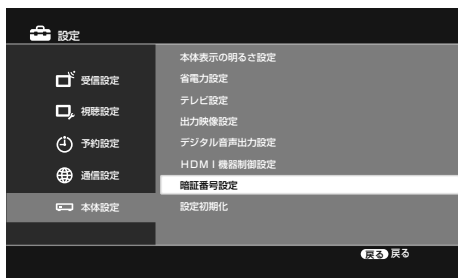
ペイ・パー・ビュー（PPV：PAY PER VIEW）とは、「見るたびに支払う」の意味で、番組単位で随時、視聴購入する番組です。

ご注意

設定した暗証番号は、視聴年齢制限付き番組を見るときや、ペイ・パー・ビュー（PPV）を購入するときに入力が必要です。忘れないようにご注意ください。忘れたときは、スカパー！カスタマーセンターに暗証番号の解除を依頼してください（手数料がかかります）。

1 （クイックパネル）を押す。

2 ↑↓で［設定］を選び、（決定）を押す。

3 ↑↓で［本体設定］を選び、（決定）を押す。

4 ↑↓で［暗証番号設定］を選び、（決定）を押す。

5 ⓪～⑨の数字ボタンで暗証番号を入力する。

暗証番号を間違えたときは←で戻り、入力し直してください。

6 ［確定］が選ばれていることを確認し、（決定）を押す。

視聴年齢制限やペイ・パー・ビュー（PPV）の購入制限をしないとき

暗証番号の入力をする必要がないため、暗証番号は「0000」と入力しておいてください。
後日、再び制限が必要になったときに、この暗証番号「0000」を入力してください。

暗証番号を変更するには

1 （クイックパネル）を押す。

2 ↑↓で［設定］を選び、（決定）を押す。

3 ↑↓で［本体設定］を選び、（決定）を押す。

4 ↑↓で［暗証番号設定］を選び、（決定）を押す。

5 変更前の暗証番号を、数字ボタンを押して入力し、［確定］が選ばれていることを確認し、（決定）を押す。

6 数字ボタンを押して、好みの数字を入力し、［確定］が選ばれていることを確認し、（決定）を押す。
暗証番号が変更されます。

ちょっと一言

暗証番号を入力するときは、↑↓←→や（決定）でも行えます。←→で入力する桁を選び、↑↓で0～9の数字が選べます。→を押すと、数字が決定して次の桁に移動します。4桁すべての数字を入力したら、最後に（決定）を押します。

購入/視聴制限を設定する

ペイ・パー・ビュー（PPV）番組の購入と、成人向け番組などの視聴年齢を別々に制限できます。制限すると、設定した暗証番号（36ページ）を入力しないと、購入や視聴ができなくなります。また、成人向け番組のタイトルを番組表に表示させないように設定できます。

お買い上げ時は、ペイ・パー・ビュー（PPV）番組の購入および視聴年齢、タイトル表示のすべてが制限されていません。

購入制限を設定する

1 クイックパネル を押す。

2 ↑↓で［設定］を選び、決定 を押す。

3 ↑↓で［視聴設定］を選び、決定 を押す。

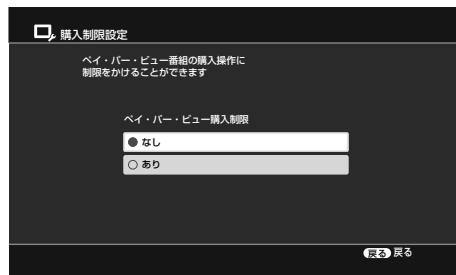
4 ↑↓で［購入制限設定］を選び、決定 を押す。

5 設定した暗証番号（36ページ）を、⓪〜⑨の数字ボタンで入力する。

暗証番号を設定していないときは、「暗証番号を設定する」（36ページ）の手順に従って、暗証番号を入力してください。

暗証番号を間違えたときは←で戻り、入力し直してください。

6 ［確定］が選ばれていることを確認し、決定 を押す。

7 ↑↓でペイ・パー・ビュー（PPV）の購入制限を選ぶ。

ペイ・パー・ビュー（PPV）の購入を制限しないとき

［なし］（お買い上げ時の設定）を選ぶ。

暗証番号を入力しないで、購入できます。

ペイ・パー・ビュー（PPV）の購入を制限するとき

［あり］を選ぶ。

暗証番号を入力しないと、購入できなくなります。

年齢制限を設定する

1 クイックパネル を押す。

2 ↑↓で［設定］を選び、決定 を押す。

3 ↑↓で［視聴設定］を選び、決定 を押す。

4 ↑↓で［視聴制限設定］を選び、決定 を押す。

5 設定した暗証番号（36ページ）を、⓪〜⑨の数字ボタンで入力し、［確定］が選ばれていることを確認し、決定 を押す。

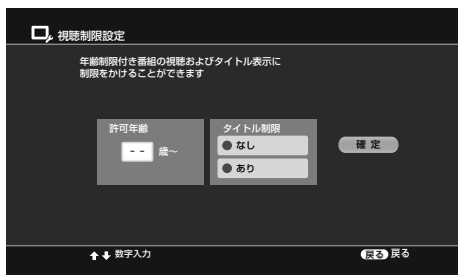
暗証番号を設定していないときは、「暗証番号を設定する」（36ページ）の手順に従って、暗証番号を入力してください。

暗証番号を間違えたときは←で戻り、入力し直してください。

次のページにつづく⇨

6 ⬆⬇で視聴できる年齢(許可年齢)を設定し、決定を押す。

「3歳～ 19歳」または[なし]に設定できます。

18歳以上の視聴制限付き番組(61ページ　Ⓡ18歳～)に制限をかけたい場合は、許可年齢を「17歳～」に設定してください。

すべての視聴制限番組の視聴を制限するときは

「3歳～」などの低い年齢に設定する。

視聴年齢制限付き番組を選ぶと、暗証番号を入力しないと見ることができなくなります。

視聴制限をしないときは

許可年齢を[なし]に設定する。

視聴年齢制限付き番組でも、暗証番号を入力しないで見ることができます。

7 ⬆⬇で成人向け番組のタイトル制限を選ぶ。

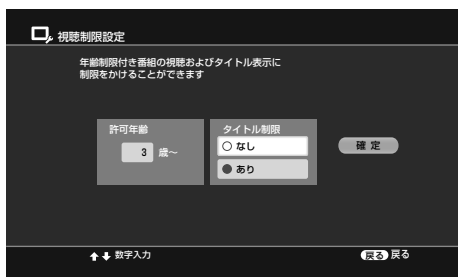
番組表、番組説明画面、番組購入画面に、成人向け番組のタイトルを表示させないように設定できます。

タイトルを表示させたいとき

[なし](お買い上げ時の設定)を選ぶ。

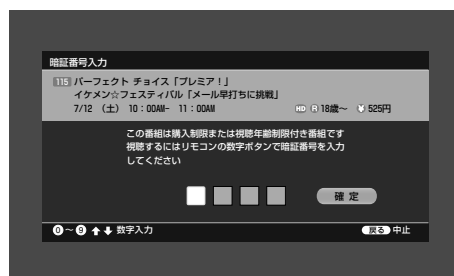
タイトルを表示させたくないとき

[あり]を選ぶ。

成人向け番組は「＊＊＊＊＊」と表示されます。なお、タイトル表示制限をするには、[許可年齢]を設定する必要があります。

8 ⬆⬇⬅➡で[確定]を選び、決定を押す。

視聴年齢制限付き番組を選ぶと

暗証番号入力画面が表示されます。設定した暗証番号を入力し、[確定]を選ぶと番組を見ることができます。

使いかたに合わせた準備

本機のリモコンでテレビも操作する

本機のリモコンをお手持ちのテレビでも使えるように設定できます。
お買い上げ時は、ソニー製のテレビを操作できる設定になっています。他社製テレビを操作するときは、メーカー登録番号を設定してください。

メーカー登録番号を設定する

●（テレビ電源）を押しながら、操作したいテレビのメーカー登録番号（2桁）を押す。

例：「31」を登録するときは、●（テレビ電源）を押しながら、③、①を順番に押します。

メーカー登録番号

メーカー	登録番号
ソニー	01
シャープ	08
パナソニック	02 13
東芝	03
日立	04
三菱	05
パイオニア	10
アイワ	17
NEC	09
日本ビクター	06
サンヨー	07
フナイ	14
富士通ゼネラル	11
三星電子（SAMSUNG）	18 19
コルティナ	18

ご注意

- 本機のリモコンはメーカー登録番号表にないテレビには対応していません。
- リモコンの電池を取り出したり、電池が寿命になると、設定した内容は消えて、お買い上げ時の設定に戻ります。もう一度設定し直してください。
- メーカーによっては複数のリモコン信号を採用しているため、操作できないことがあります。
- 本機のリモコンのボタンに対応する機能がテレビにない場合は、そのボタンは働きません。

テレビを操作する

以下のリモコンボタンが使えます。
テレビのリモコン受光部に向けて操作してください。

テレビ電源	テレビの電源を入/切します。
入力切換	テレビの入力を切り換えます。
チャンネル+/−	テレビのチャンネルを切り換えます。
消音	テレビの音声を消します。
テレビ音量	テレビの音量を調節します。

ブラビアリンクを使うときは

ブラビアリンクに対応しているソニー製のテレビ*と本機をHDMIケーブルで接続すると、テレビのリモコンで本機の操作ができます。

* 2008年以降に発売された、ブラビアリンク対応のテレビで使用できます。

HDMI機器制御機能について

HDMIケーブルで接続した機器間で連動した操作ができます。詳しくは、13ページをご覧ください。

ブラビアリンクを利用するための準備

1 本機とブラビアリンクに対応しているテレビをHDMIケーブル(別売り)で接続する。
接続方法について詳しくは、「HDMIケーブルでつなぐ」(13ページ)をご覧ください。

2 本機と接続した機器でHDMI機器制御機能の設定を有効にする。
本機の設定については[本体設定]の[HDMI機器制御設定](80ページ)をご覧ください。
テレビ側の設定方法については、お使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。

ブラビアリンクを使う

テレビで本機以外の映像を見ているときは

1 テレビのリモコンのリンクメニューボタンを押す。
HDMI入力につないだ機器名が表示されます。

2 テレビのリモコンの↑↓で本機を選び、決定ボタンを押す。
本機の映像に切り換わります。

テレビで本機の映像を見ているときは

テレビのリモコンのリンクメニューボタンを押す。
本機のクイックパネルが表示されます。
↑↓/決定で項目を選んで操作します。

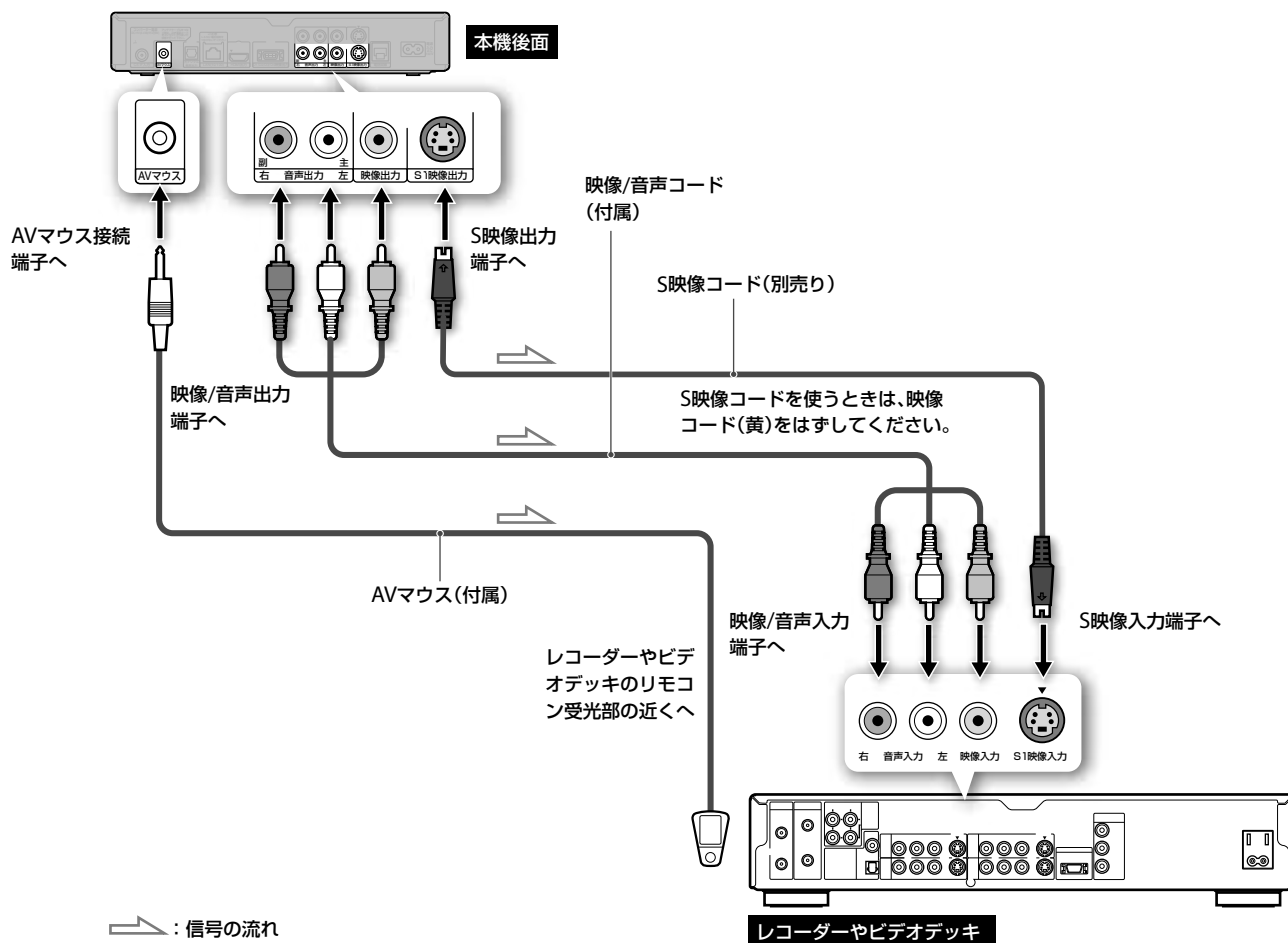
ご注意

テレビのリモコンの電池を取り出したり、交換したりすると、設定した内容が消えて、リモコンで操作できなくなることがあります。そのようなときは、もう一度設定し直してください。

DVDレコーダーやビデオデッキをつないで番組を録画したいときは

本機にレコーダーやビデオデッキをつないで番組を録画できます。
デジタルハイビジョン画質（HD）の番組は標準テレビ画質（SD）で録画されます。
付属のAVマウスを使うと、本機で録画予約ができます。詳しくは「AVマウスを設定する」（42ページ）をご覧ください。
AVマウスを使わない場合は、録画機器側で予約の設定をしてください。その場合、予約時間に本機の電源を入れる視聴予約が設定できます。
予約方法については、「録画予約する」（65ページ）をご覧ください。

DVDレコーダーやビデオデッキをつなぐ

本機の出力端子とDVDレコーダーやビデオデッキの入力端子を映像/音声コードでつなぎます。
別売りのS映像コードでつなぐとよりきれいな映像が楽しめます。

ご注意

本機をビデオデッキ経由でテレビにつないだときは、録画防止機能（コピーガード）が付いた番組を受信すると、コピーガードがはずれないため、番組は視聴できません。番組が正常に映りませんが、故障ではありません。
このときは本機をテレビに直接つないでください。

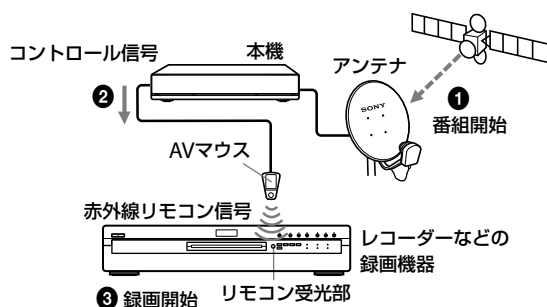
次のページにつづく⇨

AVマウスを設定する

付属のAVマウスを使って、本機とお手持ちの録画機器を連動させて予約した番組を録画できます。録画機器側での予約設定は不要です。最大35件まで予約できます。
本機と連動して予約した番組を録画できるデジタル機器の機種とリモコンモードの設定については、ホームページでご確認いただけます。次の順番で選択してください。

* 2010年9月現在のサイト情報です。サイトのリニューアルなどにより、名称などが変更になることがあります。

AVマウスによる録画連動予約

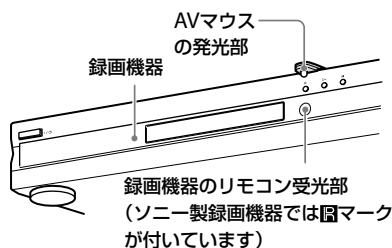
番組開始時間に合わせて、本機が録画機器に録画開始の赤外線リモコン信号を送ります。

ご注意

- 次のときはAVマウスは使えません。
  - ビデオ一体型テレビをご使用のとき
  - 複数のリモコン信号を採用しているメーカーの録画機器をご使用のとき（リモコンコードを設定できないときがあります。43ページ）
  - 電源スイッチの切換が、入/スタンバイ/切など3つ以上ある録画機器をご使用のとき

  これらの機器をつないで予約した番組を録画するときは、ハードディスクレコーダーやDVDレコーダー、ビデオを連動しないで、それぞれの予約機能を使って予約した番組を録画してください。
- DST-700JS/800JSに付属のAVマウスは、本機では使えません。
- リモコンコード表（43ページ）にないメーカーには対応していません。
- 2分以下の番組、および3分以内に開始される番組については録画できない場合があります。

1 **AVマウスの取り付け予定位置を決める。**
連動する録画機器の取扱説明書でリモコン受光部位置を確認し、受光部の真上にAVマウスを置きます。

ご注意

AVマウス裏面のシールは、まだはがさないでください。

2 **録画機器の電源を切っておく。**

3 **（クイックパネル）を押す。**

4 **↑↓で[設定]を選び、（決定）を押す。**

5 **↑↓で[予約設定]を選び、（決定）を押す。**

6 **↑↓で[AVマウス設定]を選び、（決定）を押す。**

7 ↑↓←→でお使いの録画機器のメーカー名を選び、決定を押す。

8 ↑↓←→でお使いの録画機器の種類を選び、決定を押す。

録画機器の種類

項目	種類
BD	ブルーレイディスクレコーダー
DVD(1)*	DVDレコーダー
DVD(2)*	DVDレコーダー
HDD・DVD	ハードディスクレコーダー・DVDレコーダーコンボ
HDD*	ハードディスクレコーダー
DVD・VTR*	DVDプレーヤー・ビデオコンボ
VTR	ビデオ

* ソニーを選んだときのみ表示されます。リモコンに録画停止用ボタンと再生停止用ボタンが別々にある場合はDVD(1)を、それ以外の場合は、DVD(2)を選んでください。

9 ↑↓←→でリモコンコードと録画機器の入力端子を選び、決定を押す。

手順7でソニーを選び、手順8でBD、DVD(1)、HDD・DVD、HDDを選んだときのみ入力端子の設定が必要です。リモコンコードは表を見て選んでください。

リモコンコード表
デジタル録画機器対応メーカー

メーカー	リモコンコード番号
ソニー（VTR）	1　2　3　4　5　6
ソニー（DVD・VTR）	1　2
ソニー（DVD1）	1　2　3
ソニー（DVD2）	1　2　3
ソニー（HDD・DVD）	1　2　3　4　5
ソニー（HDD）	1　2　3
ソニー（BD）	1　2　3
シャープ(HDD・DVD)	1　2　3
シャープ(VTR)	1　2　3
パナソニック(VTR)	1　2　3　4　5
パナソニック(DVD)	1　2　3
パナソニック(HDD・DVD)	1　2　3
東芝(VTR)	1　2　3　4
東芝(HDD・DVD)	1　2
パイオニア(DVD)	1　2　3
パイオニア(HDD・DVD)	1　2　3

VTRのみ対応メーカー

メーカー	リモコンコード番号
日立(VTR)	1　2　3
三菱(VTR)	1　2　3　4
日本ビクター（VTR）	1　2　3　4　5　6
サンヨー（VTR）	1　2　3　4
アイワ(VTR)*	1　2　3　4
NEC（VTR）	1　2　3　4
フナイ(VTR)	1

* アイワ(VTR)のリモコンコードを設定しても操作できないときは、ソニー（VTR)のリモコンコードを設定してください。

10 ↑↓ボタンで[電源オン/オフ]を選び、決定を押す。

AVマウスの動作テストが始まります。

録画機器の電源が自動的に入ると、テストは完了です。手順12に進んでください。電源が入らないときは、手順11に進んでください。

11 録画機器にリモコンコードが2個以上ある場合は、操作できるまで、リモコンコードの設定を変えてテストする。

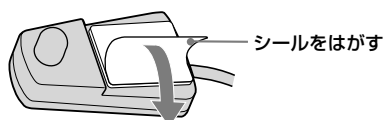
手順9で選んだ番号と録画機器のリモコンコードの番号を合わせてください。その番号で操作できないときは、本機と録画機器のリモコンコード番号を変えてください。本機と録画機器のリモコンコード番号が異なっていても、操作できる場合があります。

12 [電源オン/オフ]が選ばれていることを確認して、もう一度、決定を押す。

録画機器の電源が切れます。

次のページにつづく⇨

13 **動作テストが終わったら、AVマウス裏面のシールをはがす。**

AVマウスのテープの代わりに、市販の両面テープも使えます。

14 **手順1で決めた取り付け予定位置にAVマウスを固定する。**

予約した番組を録画できることを確かめてから、使うことをおすすめします。

設定が終わったら

☞ 録画予約する（65ページ）

ネットワーク経由で番組の録画や再生をしたいときは

本機と、スカパー！ HD録画に対応したブルーレイディスクレコーダーなどの録画機器をネットワークにつなぐと、以下のことができます。

- 番組をブルーレイディスクレコーダーに録画する（65ページ）
- ブルーレイディスクレコーダーに録画した映像を本機で再生する（74ページ）

本機の準備

本機側では以下の準備が必要です。

1 **本機をネットワークにつなぐ。**
ブルーレイディスクレコーダーなどの録画機器とつなぎ、録画機器の準備（ネットワーク接続や設定、ホームネットワークの設定）をする（45ページ）。

2 **ネットワークを設定する（45ページ）。**

3 **ホームネットワーク設定をする（46ページ）。**

録画機器の準備

録画機器側でも、ネットワーク接続や設定、ホームネットワークの設定が必要です。接続と設定については、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。
また、録画機器でファイアーウォールの設定がされている場合、ホームネットワーク機能が使えない場合があります。録画機器の取扱説明書をご覧になり、設定を変更してください。

ブルーレイディスクレコーダーとつなぐ

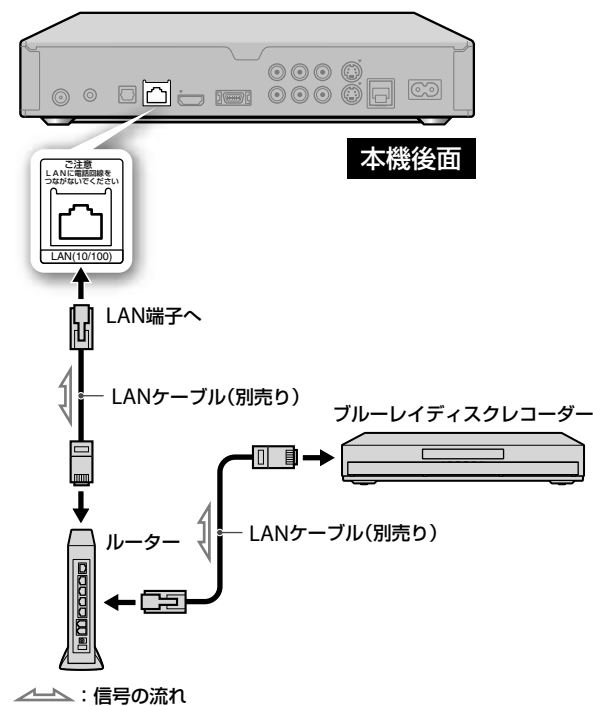
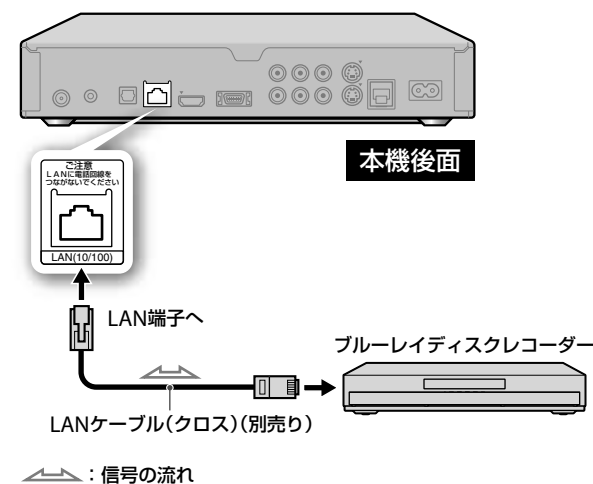
番組を録画したいときにつなぎます。放送画質そのままの品質で録画できます。

対応機器（サーバー）について

以下の機器について動作を確認しています（2010年9月現在）。

- ソニー　ブルーレイディスク/DVDレコーダー
BDZ-AX2000/AX1000/AT900/AT700/AT500/EX200/RX105/RX100/RX55/RX50/RX35
- ソニー　地上・BS・110度CSデジタルハイビジョン液晶テレビ
KDL-55HX80R/46HX80R/40HX80R/32EX30R/26EX30R

ルーターを利用する場合

本機とルーターとの接続について詳しくは、「ネットワークにつなぐ」（31ページ）をご覧ください。

ルーターを利用しない場合

ネットワークを設定する

ネットワークの設定をします。設定方法は、「ネットワークを設定する」（34ページ）をご覧ください。
ルーターを利用しない場合は、「ネットワークを設定する」（34ページ）の手順5の［IPアドレス取得方法］で［DHCPを利用］を選んでください。

次のページにつづく⇨

ホームネットワーク設定をする

1 (クイックパネル)を押す。

2 ↑↓で[設定]を選び、(決定)を押す。

3 ↑↓で[通信設定]を選び、(決定)を押す。

4 ↑↓で[ホームネットワーク設定]を選び、(決定)を押す。

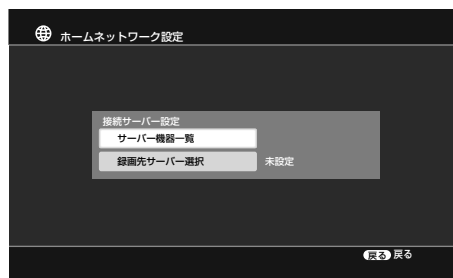
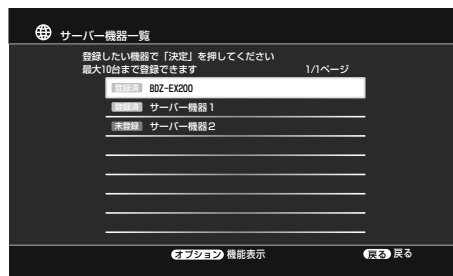
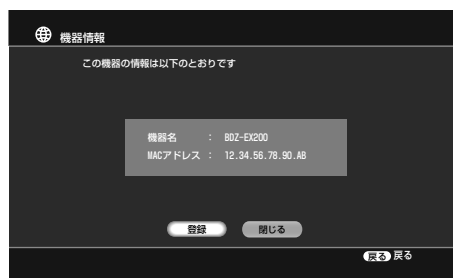
以下の各設定を行ってください。

接続サーバー設定をする

ホームネットワーク対応機器をサーバー機器として登録すると、サーバー機器の映像を本機で再生できます。
ブルーレイディスクレコーダーなどの録画機器もここで登録します。

[サーバー機器一覧]

ホームネットワーク内にあるサーバー機器から、登録したい機器を選びます。

1 ↑↓で[サーバー機器一覧]を選び、(決定)を押す。

2 ↑↓で登録したい機器を選び、(決定)を押す。
最大10台まで登録できます。

登録したい録画機器が表示されない場合は、録画機器の準備ができていない可能性があります。録画機器の取扱説明書をご覧の上、ホームネットワークの設定を行ってください。

3 ←→で[登録]を選び、(決定)を押す。

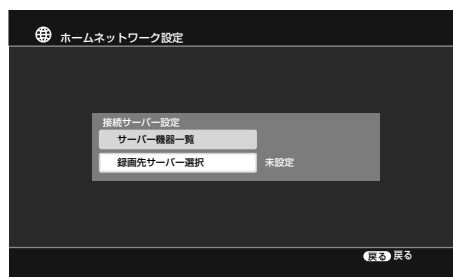
登録を解除するには、手順2で解除したい機器を選び、手順3で[登録削除]を選び、(決定)を押します。

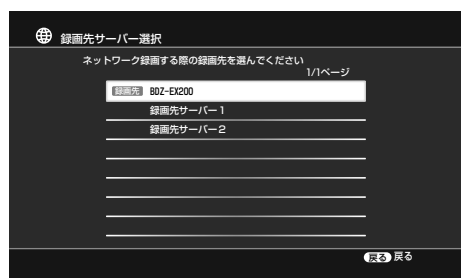
ちょっと一言

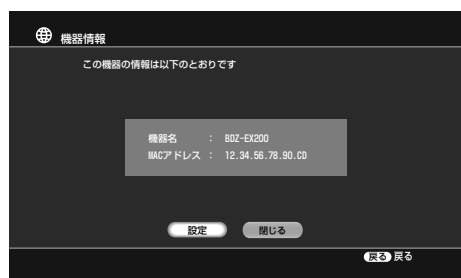
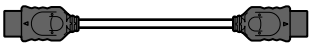
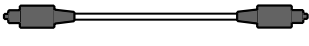
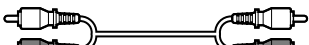
手順2でオプションメニューから[全登録削除]を選ぶと、登録機器をまとめて削除できます。

[録画先サーバー選択]

[サーバー機器一覧]で登録したサーバーの中から、番組を録画する機器を登録します。1台のみ登録できます。

1 ↑↓で[録画先サーバー選択]を選び、(決定)を押す。

2 ↑↓で設定したい機器を選び、決定を押す。

1台のみ選べます。

録画先サーバーで設定した機器の機器情報画面が表示されます。

3 [設定]を選び、決定を押す。

設定を解除するには、手順**2**で解除したい機器を選び、手順**3**で[設定削除]を選び、決定を押します。

設定が終わったら

☞ 録画予約する(65ページ)

AVアンプをつないで高音質を楽しみたいときは

ケーブルを選ぶ

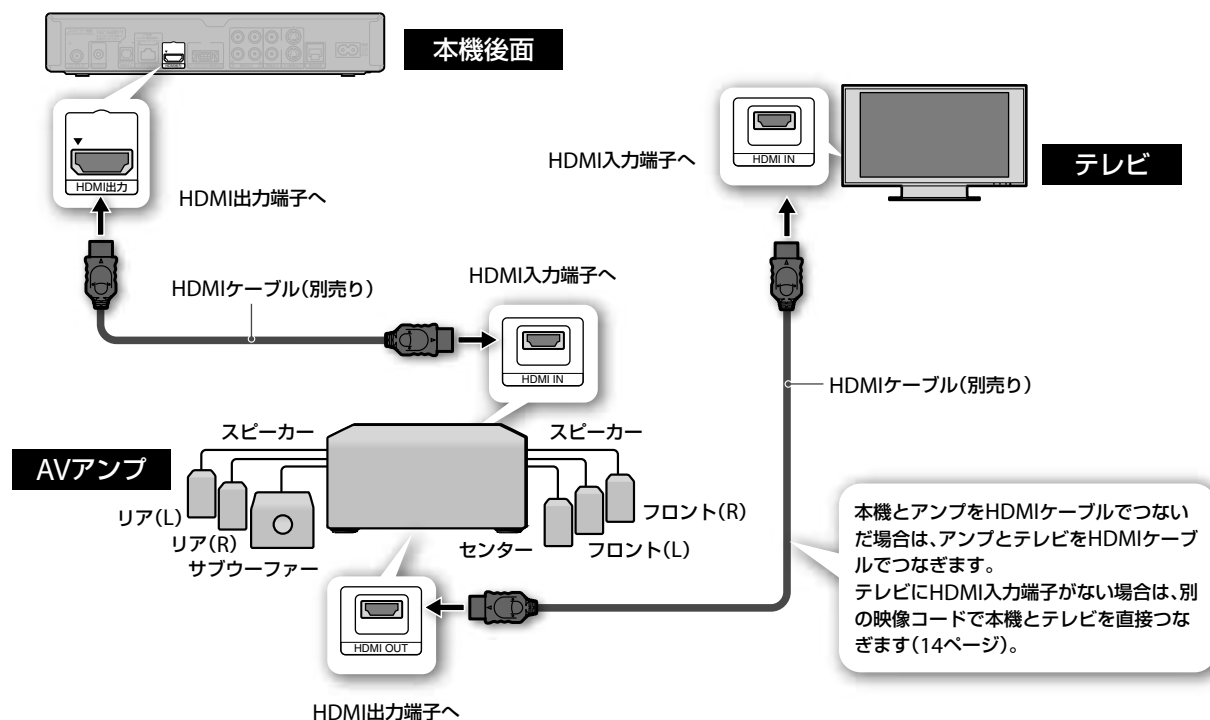
本機には数種類の音声端子が用意されています。お持ちのAVアンプの接続端子に合わせて、本機とAVアンプをつないでください。

	接続に使うケーブル	出力できる信号の種類	接続方法
デジタル	HDMIケーブル（別売り）	• AAC • リニアPCM（2チャンネルダウンミックス）	HDMIケーブルでつなぐ（48ページ）
	光デジタルケーブル（別売り）	• AAC • リニアPCM（2チャンネルダウンミックス）	光デジタルケーブルでつなぐ（49ページ）
アナログ	音声コード（別売り）	• アナログ2チャンネル	音声コードでつなぐ（49ページ）

HDMIケーブルでつなぐ

AAC*デコーダー付きのアンプとつなぐと、AAC*サラウンド音声の放送をサラウンドで楽しめます。
AAC*音声を楽しむには、本機の［本体設定］の［デジタル音声出力設定］を［自動］に設定してください（80ページ）。

* AAC（Advanced Audio Coding）は、Moving Picture Experts Group（MPEG）において規格化された音声圧縮方式で、CSデジタル放送で使用されています。

HDMI機器制御対応のソニー製AVアンプをつなぐ場合は、AVアンプの取扱説明書をご覧ください。

ちょっと一言

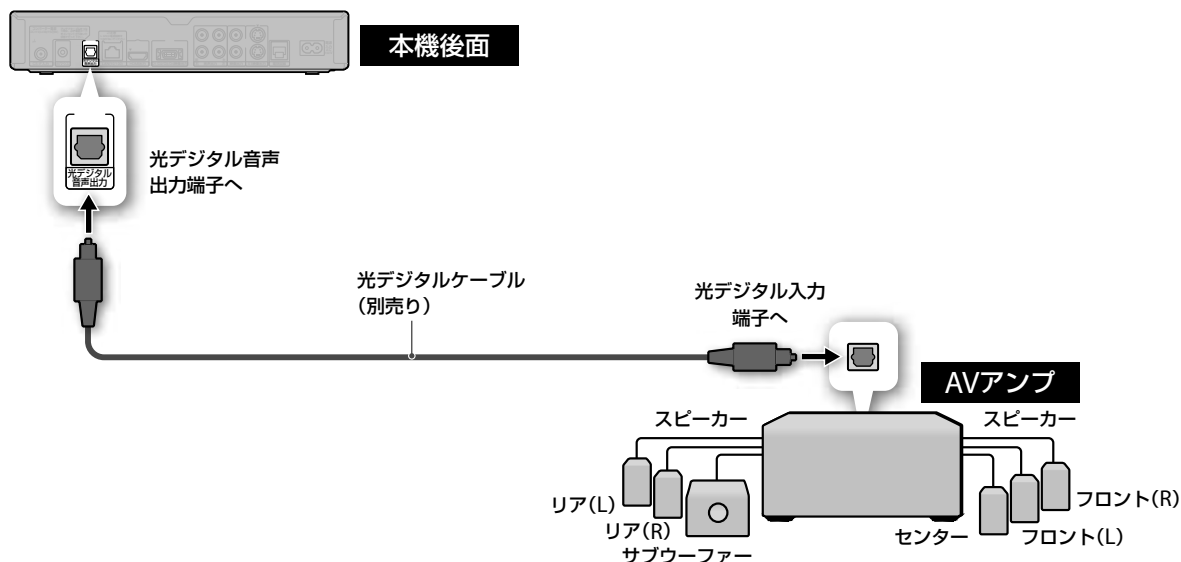
接続する機器の取扱説明書を参照して、正しいスピーカーを設置してください。

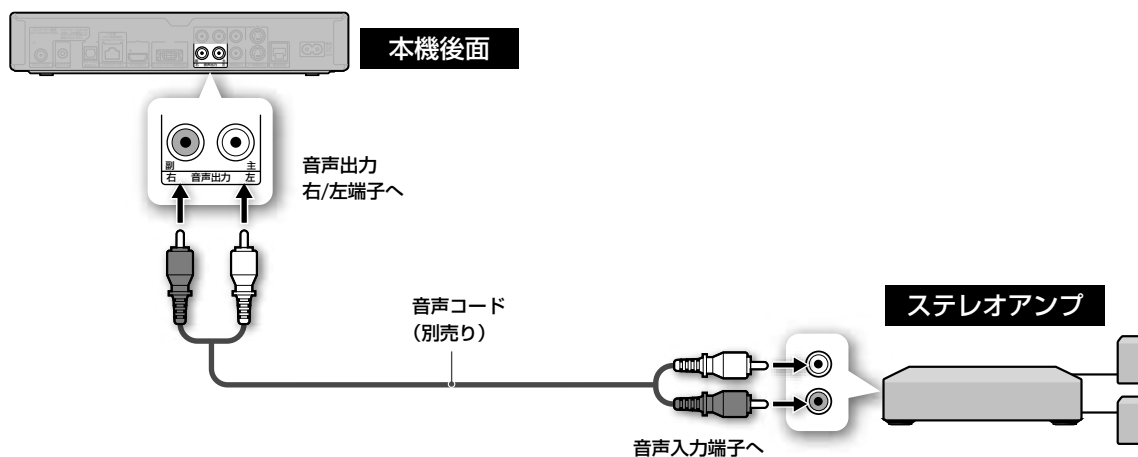
ご注意

AAC音声信号に適合していない機器につないだ場合、スピーカーから音が出ないか、大音量が出てスピーカーが故障する、または聴力に悪影響がでることがあります。

光デジタルケーブルでつなぐ

AAC*デコーダー付きのアンプとつなぐと、AAC*サラウンド音声の放送をサラウンドで楽しめます。
AAC*音声を楽しむには、本機の[本体設定]の[デジタル音声出力設定]を[自動]に設定してください(80ページ)。

* AAC(Advanced Audio Coding)は、Moving Picture Experts Group(MPEG)において規格化された音声圧縮方式で、CSデジタル放送で使用されています。

音声コードでつなぐ

音声入力端子が左(L)/右(R)のみのステレオアンプのときは、ステレオ音声コード(別売り)をつなぎます。

番組を見る

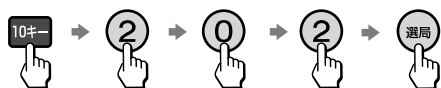
チャンネルの選びかたの種類

チャンネルを選ぶには、以下のような方法があります。
見たいチャンネル番号が分かっているときや、いつも見ている番組を見たいときなど、状況に合わせて使い分けてください。

10キーボタンで選ぶ

53ページ

10キーを押し、⓪～⑨で見たい番組のチャンネル番号を押します。
選んだ番組のチャンネルに切り換わります。

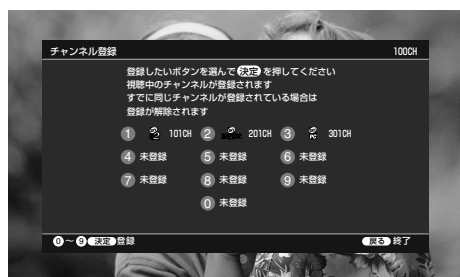
例：202ch

チャンネル+/−ボタンで選ぶ

53ページ

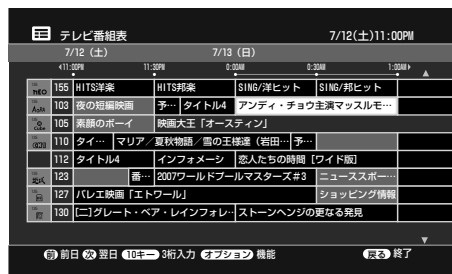
チャンネル+/−ボタンで見たいチャンネルを選べます。

数字ボタンに登録したチャンネルを選ぶ

54ページ

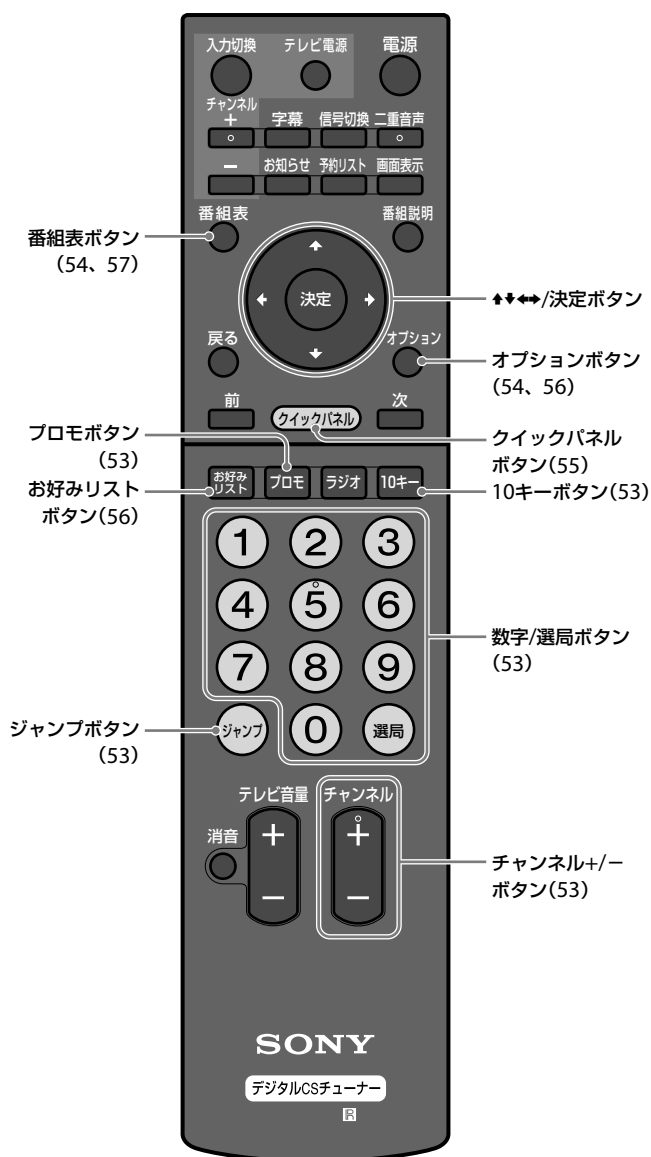
よく見る番組のチャンネルを数字ボタンに登録（最大10チャンネルまで）しておけば、数字ボタンを押すだけで、選んだチャンネルに切り換わります。

番組表から選ぶ

54ページ

番組表で放送のスケジュールを確認して、番組を選べます。

お好みリストから選ぶ

55ページ

よく見るチャンネルをあらかじめ登録しておいて、一覧表から見たい番組を選べます。

チャンネルを選ぶ

視聴制限付き番組を選んだときは

4桁の暗証番号（36ページ）を入力します。

番組紹介を見るには

プロモ を押すと、プロモーション用チャンネルを見ることができます。

一つ前に見ていたチャンネルにするには

ジャンプ（ジャンプ）を押すと、一つ前に見ていたチャンネルに切り換わります。

オプションボタンについて

そのときにできる便利な機能を画面右側に表示します。↑↓で項目を選び、決定を押して選択します。

ちょっと一言

本機のリモコンでテレビを操作するにはあらかじめテレビのメーカー番号をリモコンに登録しておく必要があります。詳しくは「本機のリモコンでテレビも操作する」（39ページ）をご覧ください。

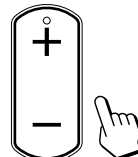
10キーボタンで選ぶ

1. 本機を接続しているテレビの電源を入れる。
2. テレビの入力切換ボタンで、本機を接続した入力に切り換える。
3. 電源（電源）を押して、本機の電源を入れる。
4. 10キー を押す。
5. ⓪～⑨でチャンネル入力し、選局（選局）を押す。

例：202ch

チャンネル+/−ボタンで選ぶ

番組を見ながら、見たいチャンネルを選べます。

1. 本機を接続しているテレビの電源を入れる。
2. テレビの入力切換ボタンで、本機を接続した入力に切り換える。
3. 電源（電源）を押して、本機の電源を入れる。
4. 視聴中に、チャンネル+/−ボタンを押す。
   チャンネルが切り換わります。

ちょっと一言

［視聴設定］の［チャンネル+/−ボタン設定］を［お好みチャンネルのみ］に設定すると、お好みチャンネルの中から見たいチャンネルを選べます（56ページ）。

次のページにつづく⇨

数字ボタンに登録したチャンネルを選ぶ

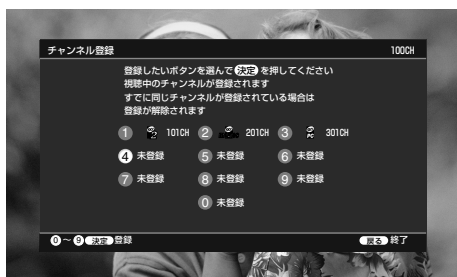
よく見る番組のチャンネルを数字ボタンに登録しておき、登録した数字ボタンを押して、番組を選べます。10チャンネルまで登録できます。

チャンネルを登録するには

1 登録したいチャンネルを選局する。

2 オプション(オプション)を押す。

3 ↑↓で[チャンネル登録]を選び、決定を押す。

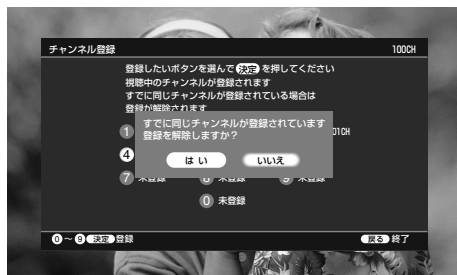
4 ↑↓←→で登録したい数字ボタンを選び、決定を押す。

登録したチャンネルを見るには

登録した数字ボタンを押す。

ちょっと一言

すでにチャンネルが登録されている数字ボタンに、他のチャンネルを登録すると、新しいチャンネルに上書きされます。

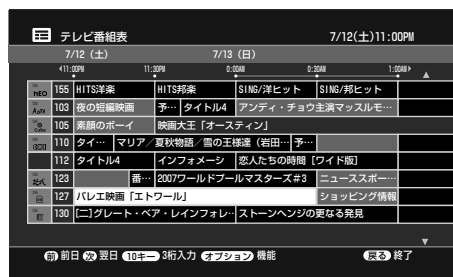
登録を取り消すには

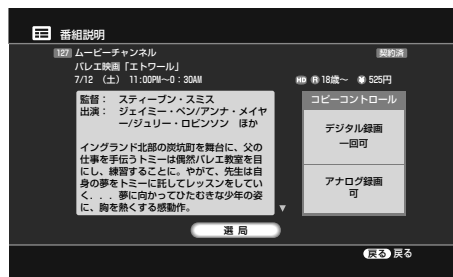
すでにチャンネルが登録されている数字ボタンに、同じチャンネルを登録すると、登録解除の確認画面が表示されます。

[はい]を選び、決定を押して登録を解除してください。

番組表(EPG)から選ぶ

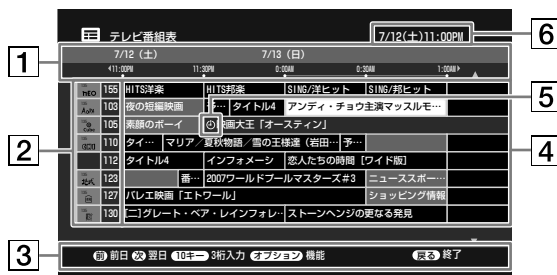
1週間分の番組表を表示できます。
番組表から見たい番組を選局したり、録画予約したりできます。

1 番組表(番組表)を押す。

2 ↑↓で見たい番組を選び、決定を押す。

番組説明画面が表示されます。

3 [選局]を選び、決定を押す。

ちょっと一言

タイトル制限がかかっている番組の場合は、暗証番号を入力する画面が表示されます。暗証番号を入力して、[確定]を選んでください。

テレビ番組表の見かた

1 放送日時
現在見ている番組表の日時を表示します。

2 チャンネル番号/ロゴ

3 操作ガイド
画面で行う操作に使うボタンを表示します。

- 前：現在表示している番組表の前日の番組表を表示します。
- 次：現在表示している番組表の翌日の番組表を表示します。
- 10キー：3桁のチャンネル番号を入力できます。

4 番組名

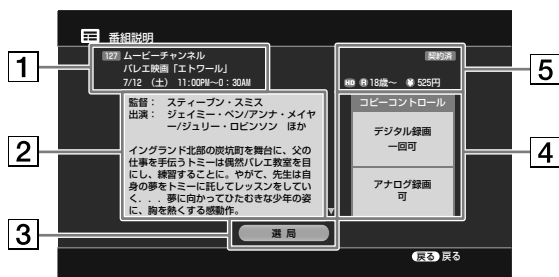
5 マーク
⏲：録画予約されている番組

6 現在日時

番組表を表示中にオプションでできること

項目	できること
お好み番組表	お好みリストに登録されているチャンネルの番組表を表示します。
テレビ番組表	テレビ番組表を表示します。
ラジオ番組表	ラジオ番組表を表示します。
ジャンル色設定	番組表をジャンルごとに色分けできます。
日時指定予約	日時、チャンネルを指定して録画予約が設定できます。

番組説明を見る

視聴中または番組表表示中に番組説明（番組説明）を押すと、番組説明の画面が表示されます。番組の出演者やあらすじなどを見ることができます。

1 **チャンネル/番組名/放送日時**

2 **詳細情報**
出演者やあらすじなど番組の詳しい内容が表示されます。

3 **選局/予約/予約消去/信号切換**
選んでいる番組の状況によって表示される内容は異なります。
番組の視聴や予約ができます。すでに予約している番組の予約の取り消しができます。番組によって映像、音声の切り換えもできます。

4 **録画制限情報**
デジタル録画
可：デジタル機器（BD/DVD/ハードディスクレコーダーなど）に録画でき、ダビングもできます。
不可：デジタル機器（BD/DVD/ハードディスクレコーダーなど）に録画できません。
１回可：デジタル機器（BD/DVD/ハードディスクレコーダーなど）に録画できますが、ダビングはできません。

アナログ録画
可：アナログ機器（ビデオデッキなど）に録画でき、ダビングもできます。
不可：アナログ機器（ビデオデッキなど）に録画できません。

5 **マーク**
放送サービスの種類などがマークで表示されます。
契約済：契約しているチャンネル
HD：デジタルハイビジョン信号
R：視聴年齢制限付き番組
¥：有料番組

放送が始まっていない番組の説明を見るには

番組表から番組を選び、決定を押すと番組説明が表示されます（54ページ）。

お好みリストから選ぶ

よく見るチャンネルや契約しているチャンネルを、あらかじめお好みリストに登録しておくと、次のように見たい番組を早く探せます。

- お好み番組表で、登録したチャンネルだけを表示できる（55ページ）。
- お好みリストで登録したチャンネルを表示させて選局できる（56ページ）。
- チャンネル+/－ボタンで、登録したチャンネルのみ選局できる（56ページ）。

よく見るチャンネルをあらかじめお好みリストに登録するには

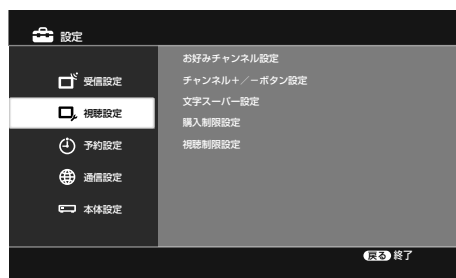
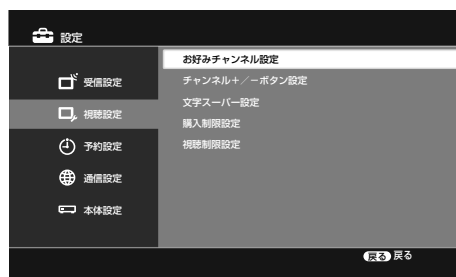
60チャンネルまで登録できます。

1 クイックパネル を押す。

2 ↑↓で［設定］を選び、決定を押す。

3 ↑↓で［視聴設定］を選び、決定を押す。

4 ↑↓で［お好みチャンネル設定］を選び、決定を押す。

次のページにつづく⇨

5 ↑↓←→で登録したい好みのチャンネルを選び、(決定)を押す。

選んだチャンネルに✓が付きます。ここで選んだ(✓の付いた)チャンネルがお好み番組表(55ページ)やお好みリスト(56ページ)に表示されます。

お好みチャンネル設定画面表示中にオプションでできること

項目	できること
契約CH自動登録	契約済みのチャンネルをすべてお好みリストに登録します。契約済みのチャンネルが60を超えるときは、チャンネル番号の小さい順に登録します。
全登録クリア	すべてのチャンネルの✓をはずします。

見ているチャンネルをお好みリストに登録するには

1 登録したいチャンネルを見ているときに、(お好みリスト)を押す。

2 (オプション)を押す。

3 ↑↓←→で[はい]を選び、(決定)を押す。

お好みリストに今見ているチャンネルが登録されます。

すでに登録済みのチャンネルを選んだときは

[現在視聴中のチャンネルはすでに登録されています]と表示されます。[削除しない]を選ぶとお好みリスト画面に戻ります。

お好みリストがいっぱいのときは

[これ以上登録できません]と表示されます。

登録したチャンネルをお好みリストから選ぶには

あらかじめお好みリストに登録したチャンネル(55ページ)から、見たい番組を選べます。

1 (お好みリスト)を押す。

2 ↑↓←→で見たいチャンネルを選び、(決定)を押す。

選んだチャンネルの番組が映ります。

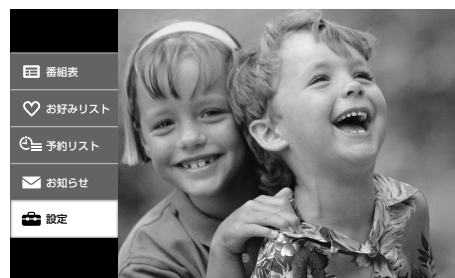
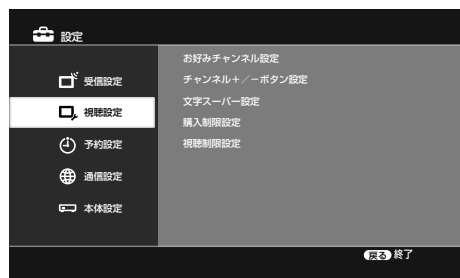
ちょっと一言

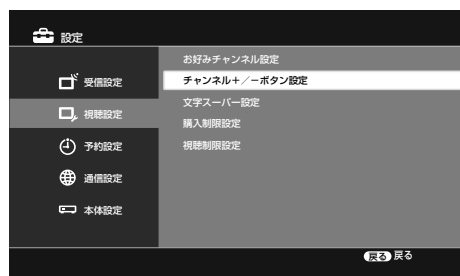
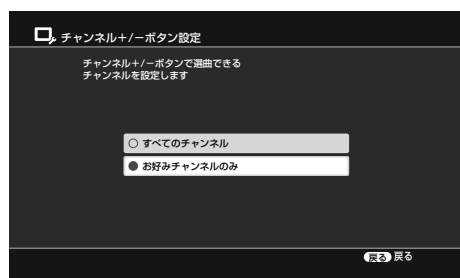
お好みリスト表示中に(番組説明)を押すと、選ばれているチャンネルで放送中の番組の番組説明が表示されます。

チャンネル＋/－ボタンでお好みチャンネルのみ選ぶには

1 (クイックパネル)を押す。

2 ↑↓で[設定]を選び、(決定)を押す。

番組を見る

3 ↑↓で［視聴設定］を選び、決定を押す。

4 ↑↓←→で［チャンネル＋/－ボタン設定］を選び、決定を押す。

5 ↑↓で［お好みチャンネルのみ］を選び、決定を押す。

ちょっと一言

すべてのチャンネルを選ぶときは、手順**5**で［すべてのチャンネル］を選んでください。

見たい番組を予約する（視聴予約）

番組表から番組を選び予約しておくと、放送開始時間になると自動で本機の電源が入り、チャンネルが切り換わります。

1 番組表（番組表）を押して、番組表を表示する。

2 ↑↓←→で番組を選び、決定を押す。
番組説明画面が表示されます。

3 ←→で［予約］を選び、決定を押す。
予約設定画面が表示されます。

4 設定内容が選ばれていることを確認し、決定を押す。
設定の内容を変更することができます。

5 ↑↓で［視聴予約］を選び、決定を押す。

6 ↑↓で［確定］を選び、決定を押す。

7 ［了解］が選ばれていることを確認し、決定を押す。
予約待機中は、本体の予約ランプが点灯します。

デジタルラジオ放送を聞く

スカパー！では音声のみのデジタルラジオ放送を行っています。また、テレビ番組表と同様に、番組表(54ページ)、お好みリスト(55ページ)からラジオ番組を選べます。
デジタルラジオ放送では曲名や、アーティストについての文字情報が同時に送られているもの(サウンドナビ)もあります。

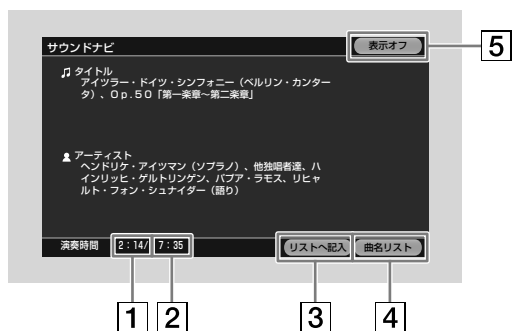
1 ラジオ を押す。
ラジオチャンネルに切り換わります。もう一度 ラジオ を押すと、テレビチャンネルに切り換わります。

2 チャンネル＋/－ボタンまたは数字ボタンでチャンネルを選ぶ。

サウンドナビでスターデジオの情報を見る

サウンドナビは、スターデジオ(100ch音楽ラジオ)の曲名やアーティスト名などの情報を表示します。

1 ラジオ を押す。
ラジオチャンネルに切り換わります。

2 チャンネル＋/－ボタンまたは数字ボタンでスターデジオチャンネル(400 ～ 499ch)を選ぶ。
文字情報があるラジオ番組のときは、サウンドナビが表示されます。

1 **経過時間**

2 **演奏所要時間**

3 **[リストへ記入]**
放送中の曲名、アーティスト名が曲名リストに記録(表示)されます。
出荷時は、曲の終了時に、自動的にリストに表示されるように設定されています。

4 **[曲名リスト]**
曲名リスト(58ページ)を表示します。

5 **[表示オフ]**
サウンドナビを消します。もう一度表示するときは[サウンドナビ]が選ばれていることを確認して、決定 を押してください。

ご注意
- スターデジオ(100ch音楽ラジオ)は、番組表での番組予約はできません。
- スターデジオ(100ch音楽ラジオ)を契約していない場合は、サウンドナビは表示されません。

サウンドナビで受信した曲名をリストで確認するには

サウンドナビ表示中に、↑↓←→で[曲名リスト]を選び、決定 を押す。
40曲までがリストに表示されます。

1 **[全曲クリア]**
曲名リストの全曲を消去します。

2 **[リストへ記入]**
放送中の曲名、アーティスト名が曲名リストに記録(表示)されます。

3 **[曲名自動記録オンオフ]**
✓がついている(出荷時)
曲の終了時に、曲名、アーティスト名をリストに自動的に記録します。
✓がはずれている
自動的に記録はしません。[リストへ記入]を選ぶと記録されます。

ご注意
- [曲名リスト]の内容は、本体の電源を切ると消去されます。
- 40曲を超えると古い曲から順に消去されます。

音声/字幕/3D表示/画面表示を切り換える

二重音声を選ぶ（二重音声）

二か国語など二重音声のときに、聞きたい音声を選べます。

二重音声（二重音声）を押す。

押すたびに次のように切り換わります。

主→副→主/副

画面表示

ちょっと一言

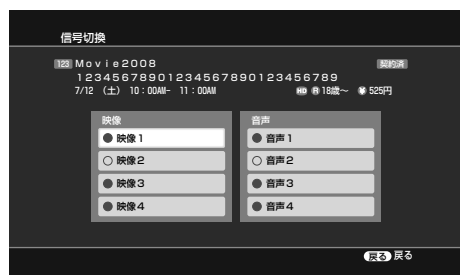
- オプション（オプション）を押して、[音声切換]を選んでも切り換えられます。
- 出荷時は、二重音声番組を受信すると、主音声に切り換わるように設定されています。
- 副音声に切り換えた状態で、チャンネルを変えたり、電源を切ったりしても副音声のままです。二重音声（二重音声）を押して、切り換えてください。

ご注意

二重音声ではない放送のときは切り換わりません。

第二音声などを選ぶ（信号切換）

第二音声がある番組など、番組によっては、映像・音声などの信号を切り換えられます。

1. **信号切換（信号切換）を押す。**
2. **↑↓←→で切り換えたい信号を選び、決定を押す。**

3. **戻る（戻る）または信号切換（信号切換）を押す。**
   通常の画面に戻ります。

ちょっと一言

- オプション（オプション）を押して、[信号切換]を選んでも切り換えられます。
- 番組説明画面で[信号切換]を選んでも切り換えられます（55ページ）。

字幕を切り換える

字幕がある番組で、字幕を表示することができます。

字幕（字幕）を押す。

押すたびに次のように切り換わります。

入→切

または

第一言語→第二言語→切

画面表示

ちょっと一言

- オプション（オプション）を押して、[字幕切換]を選んでも切り換えられます。
- 出荷時は、[切]に設定されています。
- 字幕切換は、チャンネルを変えたり、電源を切ったりしても切り換わりません。字幕（字幕）を押して、切り換えてください。

3D表示に切り換える

3D対応HDMIケーブルで3D対応テレビにつないでいるとき、3D映像を3D表示できます。

1. **オプション（オプション）を押して、オプションメニューを表示する。**
2. **↑↓で[3D表示]を選び、決定を押す。**

3D映像を2D表示したいとき

オプション（オプション）を押して、[2D表示]を選びます。

次のページにつづく⇨

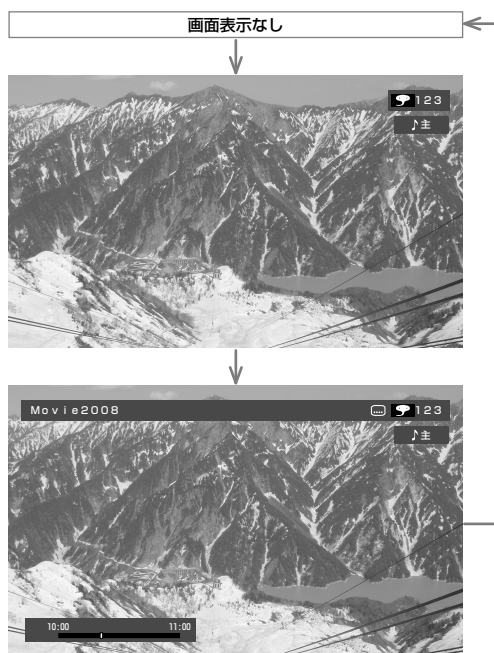
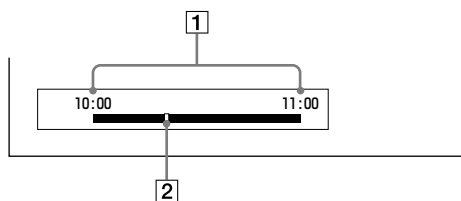
ちょっと一言

- 3D映像を3D表示中に番組表や予約リストなどの画面を表示すると、一時的に2D表示となります。視聴画面に戻ると、再度3D表示になります。
- 本機の電源を一度切った後に再度電源を入れたり、チャンネルを切り換えたりすると、[3D表示] / [2D表示]の設定は元に戻ります。
- 本機から出力する映像の解像度が、テレビが3D表示できる解像度と異なる場合は、3D表示になりません。本機の出力映像設定を、テレビが3D表示できる解像度に合わせてください(80ページ)。
- オプションメニューの[3D表示] / [2D表示]は、3D対応HDMIケーブルで3D対応テレビにつないでいるときに表示されます。

画面表示を切り換える

画面表示を切り換えることができます。

画面表示(画面表示)を押す。

押すたびに表示が切り換わります。

プログレスバー

1 番組開始/終了時刻

2 視聴位置

ちょっと一言

画面表示は5秒以上経過すると自動的に消えます。

ペイ・パー・ビュー（PPV）を楽しむ

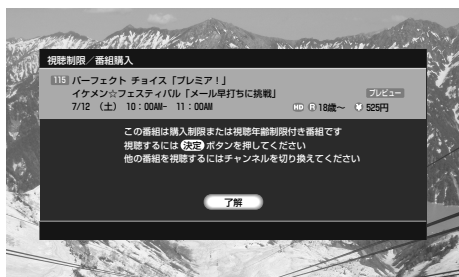
ペイ・パー・ビュー（PPV：PAY PER VIEW）とは、「見るたびに支払う」の意味で、番組単位で随時、視聴購入します。また、一日ずつ契約できるペイ・パー・デイ（PPD）もあります。
ペイ・パー・ビュー（PPV）には、購入前に内容を確認（プレビュー：事前視聴）できる番組もあります。

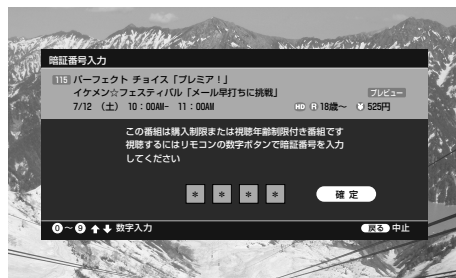
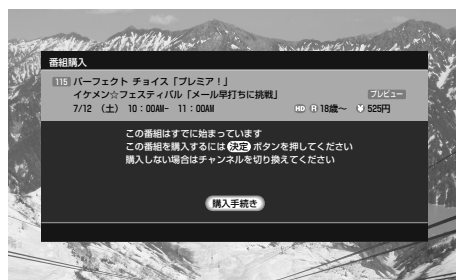
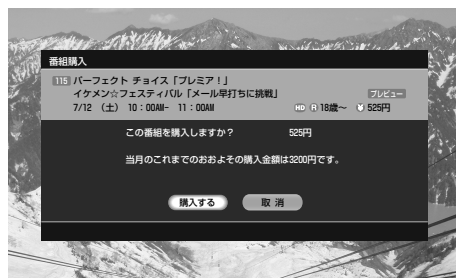
ペイ・パー・ビュー（PPV）を見るときは、必ず電話回線またはネットワークにつないでください（24ページ）。

プレビューについて

- ペイ・パー・ビュー（PPV）番組により見られる回数、時間が異なります。プレビューが終了しても、購入操作は引き続き行えます。
- プレビューを見た後、購入をやめるときは、チャンネルを変えてください。
- ペイ・パー・ビュー（PPV）購入制限を設定しているときは、あらかじめ設定した暗証番号を入力してください（36ページ）。

1 **ペイ・パー・ビュー（PPV）などの有料番組を選ぶ。**
購入制限または視聴制限を設定していないときは、手順**5**に進んでください。

2 **購入制限または視聴制限（36ページ）を設定しているときは、[了解]が選ばれていることを確認し、決定を押す。**

3 **数字ボタンで暗証番号を入力する。**

4 **[確定]が選ばれていることを確認し、決定を押す。**

5 **[購入手続き]が選ばれていることを確認し、決定を押す。**

6 **←→で[購入する]を選び、決定を押す。**

購入したペイ・パー・ビュー（PPV）番組が映ります。

録画制限について

本機は、録画制限（コピーコントロール）機能が付いています。そのため、番組によっては、正常な画像で録画できなかったり、録画したものを正常な画像で再生できなかったりするものがあります。
また、本機後面の光デジタル音声出力端子から出力された信号を、正しく録音できない番組があります。ご注意ください。

次のページにつづく⇨

追加信号について

ペイ・パー・ビュー（PPV）番組によっては、標準の映像/音声を含めて最大4種類の映像、音声などを発信しています。映像/音声を選ぶ画面で、追加したい情報を選んで番組を楽しめます。これらの情報は、番組説明画面から信号切換で切り換えられます（55ページ）。
なお、¥マークの付いた映像、音声などを選ぶと、選んだ分の追加料金が発生します。

ご注意

- 購入操作の途中に他のチャンネルを選ぶと、購入は中止されます。この場合は、番組を選び直してからもう一度、「ペイ・パー・ビュー（PPV）を楽しむ」（61ページ）の操作を行ってください。
- 購入合計額にはペイ・パー・シリーズなどの購入金額は含まれません。
- ペイ・パー・デイ（PPD）の月極契約では、概算金額と実際に請求される金額が大きく異なることがあります。概算金額では、見た日数分だけの合計金額が加算されます。

こんなメッセージが表示されたら

「**購入時間が過ぎているため購入できません**」
番組によっては購入可能時間が決まっているため購入できない場合があります。

「**この番組は視聴条件により視聴できません**」
番組に関してのご質問、ご相談は、スカパー！カスタマーセンター（裏表紙）へお問い合わせください。

「**この番組は録画できません**」

購入するときは
［視聴］が選ばれていることを確認し、決定を押します。

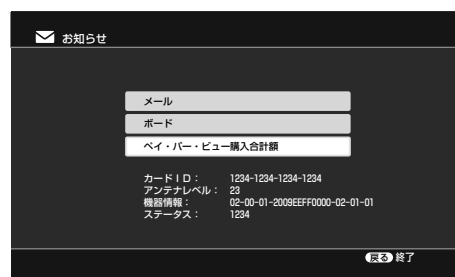
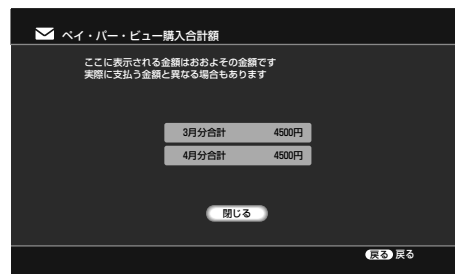
購入をやめるときは
別のチャンネルに切り換えます。

購入合計額（概算金額）を見る

前月分と今月分のおおよその購入金額を確認できます。正確な購入合計額については、スカパー！カスタマーセンター（裏表紙）へお問い合わせください。

1 クイックパネル を押す。

2 ↑↓で［お知らせ］を選び、決定を押す。

3 ↑↓で［ペイ・パー・ビュー購入合計額］を選び、決定を押す。

購入したペイ・パー・ビュー（PPV）番組の前月分と今月分の概算金額が表示されます。

ご注意

- 「ペイ・パー・ビュー購入合計額」にはペイ・パー・シリーズなどの購入金額は含まれません。
- ペイ・パー・デイ（PPD）の月極契約では、概算金額と実際に請求される金額が大きく異なることがあります。概算金額では、見た日数分だけの合計金額が加算されます。

クイックパネルで操作する

クイックパネルを使うと、リモコンの↑↓/決定だけで、以下の機能をテレビ画面で簡単に操作できます。映画などを見るために部屋を暗くしていて、リモコンのボタン名が見えないときなどに便利です。

1 **(クイックパネル)を押す。**

クイックパネルが表示されます。

2 **↑↓で項目を選び、決定を押す。**

選んだ操作画面が表示されます。リモコンの同名のボタンと同じ働きをします。

項目	できること
番組表	番組表を表示します(54ページ)。
お好みリスト	お好みリストを表示します(55ページ)。
予約リスト	予約リストを表示します(70ページ)。
お知らせ	視聴状況などのお知らせを表示します(86ページ)。
設定	設定画面を表示します(76ページ)。
ホームネットワーク	[ホームネットワーク設定]の[接続サーバー設定]をしたときに表示される項目です。[サーバー機器一覧]に登録したサーバー機器を表示します。ここから録画先サーバーを選んで、録画した番組を見ることができます(46ページ)。

視聴者参加の投票や申し込みをする（センターアクセス）

視聴者参加型の番組では、人気投票やクイズ、ショッピングなど、画面を通じて番組に視聴者が参加できます。

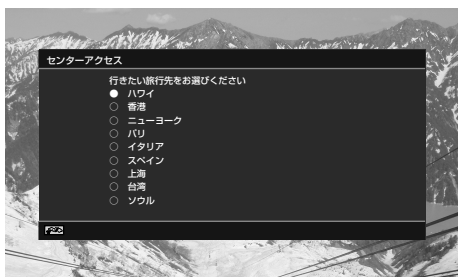
ご注意

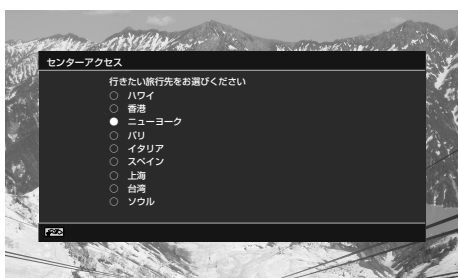
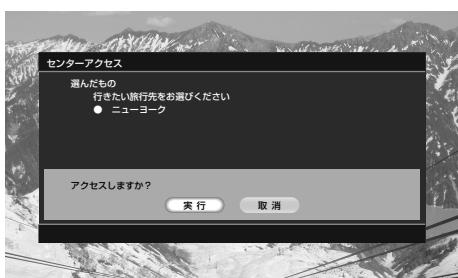
- 電話回線またはネットワークへの接続が必要です（24ページ）。電話回線やネットワークにつなげないときは、データを送信できないため、投票や申し込みは無効になります。
- センターアクセスは、録画した番組の再生ではご利用できません。

例：視聴者参加型の番組を見ていて番組中に投票や申し込み画面が表示されたとき

（決定）を押すとセンターアクセス画面を表示できます

1 （決定）を押す。

投票、申し込みする項目の画面が表示されます。

2 ↑↓で投票、申し込みする項目を選び、（決定）を押す。

申し込みできる項目は一つです。

3 ↑↓で［実行］を選び、（決定）を押す。

［アクセスしています］と表示され、電話回線またはネットワークを通じて投票や申し込みを実行します。完了受付のメッセージが表示されると投票や申し込みは完了です。

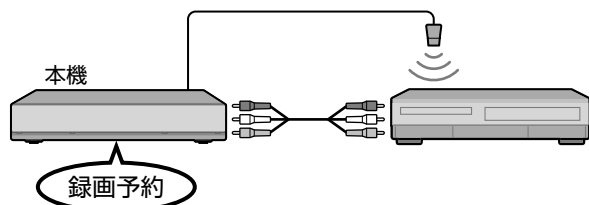
電源が切れたり停電したりしたときは

アクセス中に電源が切れたり停電になったりすると、正しくアクセスできない場合があります。

録画予約する

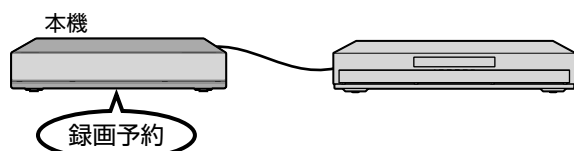
録画の種類

本機の予約機能を使って、接続した録画機器に録画ができます。
つないだ録画機器によって、以下の種類があります。録画に必要な準備を行ってください。

録画機器と連動して録画する

付属のAVマウスを使います。本機で録画予約をすれば、つないだ録画機器で予約した番組を録画できます。録画機器側での予約設定は不要です。
HD放送の番組はSD画質で録画されます。

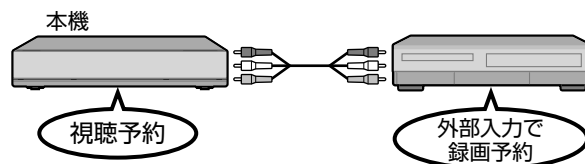
必要な準備

- 録画機器との接続
- AVマウスの設定
  ☞「DVDレコーダーやビデオデッキをつないで番組を録画したいときは」(41ページ)

ネットワーク録画機器と連動して録画する

本機で録画予約をすれば、ネットワークで接続したブルーレイディスクレコーダーなどの録画機器に予約した番組を録画できます。放送画質そのままの品質で録画できます。

必要な準備

- ホームネットワークの設定
  ☞「ネットワーク経由で番組の録画や再生をしたいときは」(45ページ)

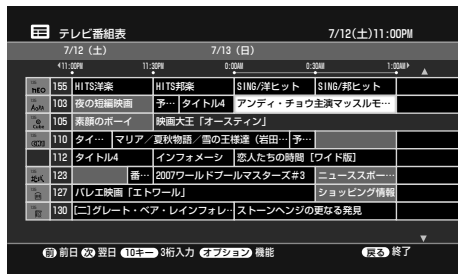
録画時間に合わせ視聴予約する

AVマウスを使わない場合は、本機で視聴予約をします。予約した時間に電源が入り、チャンネルを合わせます。
録画予約は録画機器側で行います。予約した時間に録画できます(68ページ)。
HD放送の番組はSD画質で録画されます。

必要な準備

- 録画機器との接続
  ☞「DVDレコーダーやビデオデッキをつないで番組を録画したいときは」(41ページ)

録画制限について

本機は、録画制限(コピーコントロール)機能が付いています。そのため、番組によっては、正常な画像で録画できなかったり、録画したものを正常な画像で再生できなかったりするものがあります。
また、本機後面の光デジタル音声出力端子から出力された信号を、正しく録音できない番組があります。ご注意ください。

番組表で予約する

番組表から録画したい番組を選んで予約します。最大35件まで予約できます。

録画予約をする前に…

- AVマウスを使うときは、録画機器（BD/DVD/ハードディスクレコーダーやビデオデッキ）の入力を、本機をつないだ入力（「外部入力1」など）に切り換えておいてください。
- AVマウスを使うときは、録画機器の電源を切ってください。電源が「入」になっていると、予約した番組を録画できない場合があります。
- AVマウスを使って二重音声番組を録画するときは、録画前に［予約設定］の［二重音声設定］で音声を選んでください（78ページ）。お買い上げ時の設定は主音声です。
- ソニー製録画機器のシンクロ録画機能、おまかせ・まる録機能は使わないでください。正しく録画されないことがあります。

大切な録画の前に、録画予約が働くことを確かめてから、使うことをおすすめします。

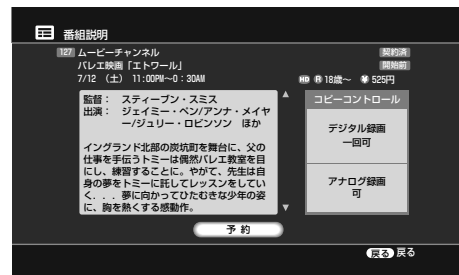
1 **番組表（番組表）を押して、番組表を表示する。**

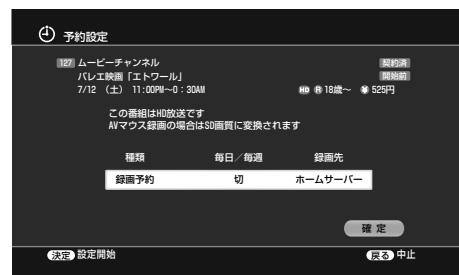
番組表について詳しくは、54ページをご覧ください。

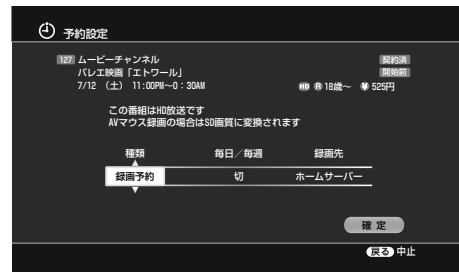
例：テレビ番組表

2 **↑↓←→で録画したい番組を選び、決定または番組説明（番組説明）を押す。**

番組説明画面が表示されます。

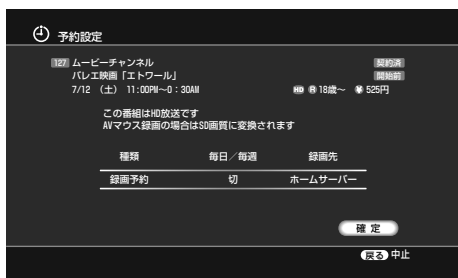
3 **←→で［予約］を選び、決定を押す。**

予約設定内容が表示されます。

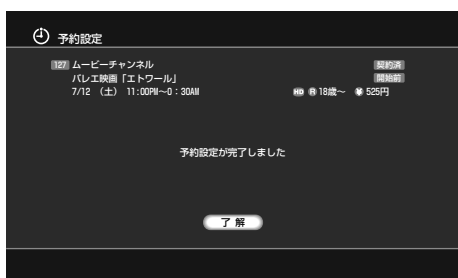
4 **設定内容を変更する場合は、決定を押す。**

設定内容に変更のない場合は、手順7へ進んでください。

5 **←→で各設定項目を選び、↑↓で設定する。**

項目	設定
種類	● 録画予約：録画予約をします。AVマウスやネットワーク経由で録画する場合に選びます。 ● 視聴予約：視聴予約をします。AVマウスを使わない場合に選びます。録画機器側で予約設定してください（68ページ）。
毎日/毎週	毎回予約の設定をします。次の順で選べます。 切 → 毎日 → 月-金 → 月-土→毎（日〜土）
録画先	● AVマウス：AVマウスを使って、録画機器に録画します。 ● ホームサーバー：ブルーレイディスクレコーダーなど、ネットワーク録画機器に録画します。

6 **設定が終わったら、決定を押す。**

次のページにつづく⇨

7 ↓で[確定]を選び、決定を押す。

予約が完了します。

8 [了解]を選び、決定を押す。

番組表に戻り、予約した番組に◕（赤色）が表示されます。
予約待機中は、本体の予約ランプが点灯します。
電源を切っていても、予約した時間になると録画が始まります（本体表示窓の⊛が点灯して針が回転します）。

予約が重なったときは

手順3の後に予約重複確認の画面が表示されます。予約リストで確認し（70ページ）、設定し直してください。

ペイ・パー・ビュー（PPV）を予約するときは

ペイ・パー・ビュー（PPV）の購入制限を設定しているときは、手順3の後で暗証番号を入力してください（36ページ）。
ペイ・パー・ビュー（PPV）の中には、録画するために別途料金がかかる番組や録画できない番組もあります（61ページ）。

AVマウスでペイ・パー・ビュー（PPV）を予約するときは

AVマウスで録画予約をすると、録画番組の最初が欠けないように、番組開始時刻の少し前から録画を始めます。このとき、直前の番組が録画禁止に指定されていると、録画機器が録画状態に入れず、番組を録画できなくなることがあります。
ペイ・パー・ビュー（PPV）を録画するときは、AVマウスを使わずに本機で視聴予約（67ページ）を行い、録画機器側で番組の時刻に合わせて録画予約することをおすすめします。録画機器の予約方法について、詳しくは録画機器の取扱説明書をご覧ください。
ネットワーク経由で録画するときはこの制限はありません。通常どおり本機で録画予約を行ってください。

視聴年齢制限付き番組を予約するときは

視聴制限を設定しているときは、手順3の後で暗証番号を入力してください（36、37ページ）。

信号が複数ある放送を録画するときは

AVマウスを使って録画するときは、手順5の後に選択画面で録画する信号を選んでください。

お手持ちの録画機器の予約機能を使うときは

録画機器を本機をつないだ入力（「入力2」など）にして、録画機器側で録画予約の設定をします。詳しくは録画機器の取扱説明書をご覧ください。
予約設定画面の[種類]で[視聴予約]を選び、本機で視聴予約をすると、予約した時間に自動的に本機の電源が入り、チャンネルを切り換えます。
予約実行中は、チャンネルを切り換えないでください。切り換えると、録画しているチャンネルが変わってしまいます。

ちょっと一言

録画機器側で録画予約の設定をして、本機のチャンネルを予約したい番組のチャンネルに合わせて電源を入れたままにしておいても、録画は行われます。

ご注意

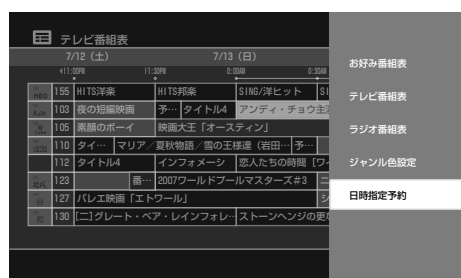
- 録画実行中は、電源ボタン（本体/リモコン）のみ操作できます。電源ボタンを押すと電源が切れ、予約が解除されます。チューナーの電源を切らないようにご注意ください。
- 録画機器のAPC（アダプティブ・ピクチャー・コントロール）機能などが働くと、録画の冒頭やタイトル画面が途切れる場合があります。
- お使いのホームネットワーク環境によっては、ホームサーバーへ録画するときに映像や音声が途切れる場合があります。
- 「毎日」「毎週」予約のとき、2回目以降の予約実行時に予約時刻と実際の番組の開始/終了の両時刻が合わないときは、その番組は録画されません。
  このときには下記のようなメールが送られてきます。
  例：
  毎日／毎週予約の番組の時間帯が予約時と異なるため
  123ch 12/30(月)10:00AM-11:00AM
  （番組タイトル）
  の予約は取り消されました

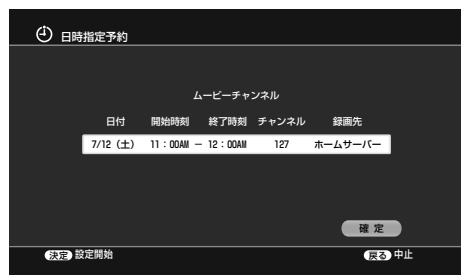
日時を指定して予約する

1か月先までの番組や、毎日または毎週の番組を予約できます。番組表予約と合わせて、35番組まで予約できます。

1 番組表（番組表）を押して、番組表を表示する。

2 オプション（オプション）を押して、オプションメニューを表示する。

3 ↑↓で[日時指定予約]を選び、決定を押す。

予約設定画面が表示されます。

4 決定を押す。

5 ←→で各設定項目を選び、↑↓で設定する。

項目	設定
日付	録画の日付を選びます。次の順で選べます。 今日 → 明日 →………（1ヵ月後）→ 毎(日) →……… → 毎(土) → 月-土 → 月-金 → 毎日 → 今日
開始時刻	開始時刻を設定します。
終了時刻	終了時刻を設定します。
チャンネル	チャンネルを選びます。
録画先	AVマウスまたはホームサーバーを選びます。

6 設定が終わったら、決定を押す。

7 ↓で[確定]を選び、決定を押す。

予約が完了します。

8 [了解]を選び、決定を押す。

予約待機中は、本体の予約ランプが点灯します。

予約内容を変更したいとき

予約後に予約内容の変更ができます。

1 予約リスト（予約リスト）を押す。

予約リスト画面について、詳しくは70ページをご覧ください。

2 予約リストで変更したい予約を選び、決定を押す。

3 ←→で変更したい項目を選び、↑↓で項目を変更する。

4 ↓で[確定]を選び、決定を押す。

5 [了解]を選び、決定を押す。

ちょっと一言

次の日にまたがる番組は、開始する日時はそのままで終了時刻を合わせます。終了時刻は次の日付に設定されます。

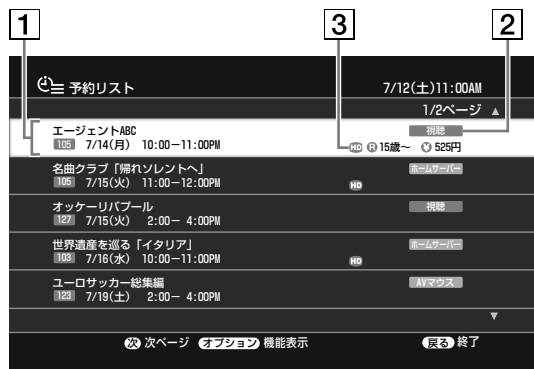
ご注意

ペイ・パー・ビュー(PPV)の録画予約は、番組表から行ってください(67ページ)。日時指定予約では、番組購入の条件によっては正しく録画されない場合があります。

予約の確認・取り消しをする（予約リスト）

予約リストを使って、予約の確認や取り消しができます。

（予約リスト）を押す。

予約リストが表示されます。
予約を選んで、決定を押すと、番組説明画面を表示します。

1 予約内容（タイトル、チャンネル、放送日時）
2 録画予約の種類（視聴/AVマウス/ホームサーバー）
3 番組情報
HD：HD放送の番組
R：視聴制限の年齢
¥：有料番組の金額

予約を取り消すには

1 **予約リストから、取り消したい予約を選び、オプション（オプション）を押す。**

2 **オプションメニューで[消去]を選び、決定を押す。**

3 **確認画面で[はい]を選び、決定を押す。**

ちょっと一言

番組表から予約した場合は、予約リストから、取り消したい予約を選び決定を押すと、番組説明画面が表示されます。[予約消去]を選ぶと予約を取り消すことができます。

オプションボタンでできること（予約リスト表示中）

項目	できること
消去	選んだ予約を取り消します。
全件消去	すべての予約を取り消します。
番組説明	選んだ予約の番組説明を表示します（55ページ）（日時指定予約以外）。
修正	日時指定予約の変更ができます（69ページ）。

ちょっと一言

クイックパネルから[予約リスト]を選んでも、予約リストを表示できます。

ご注意

ブルーレイディスクレコーダーなどの録画機器をネットワークで接続して予約した場合は、録画機器の電源も入れてから予約を削除して下さい。この操作を行わないと、録画機器側に予約情報が残ったままとなり、同じ時間帯に別の予約を入れようとしても、予約が行えない場合があります。

放送開始時間の変更に対応して録画する

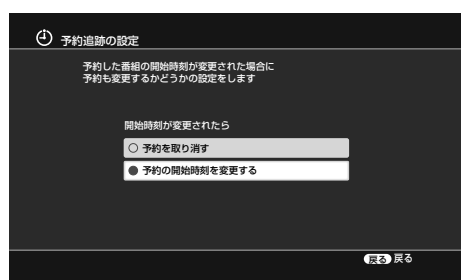
スポーツ番組の延長などで、予約した番組の開始時刻が繰り下がった場合、その時刻にあわせて録画されるように設定できます。

1 （クイックパネル）を押す。

2 ↑↓で[設定]を選び、（決定）を押す。

3 ↑↓で[予約設定]を選び、（決定）を押す。

4 ↑↓で[予約追跡の設定]を選び、（決定）を押す。

5 ↑↓で[予約の開始時刻を変更する]を選び、（決定）を押す。

予約した番組の開始時刻が繰り下がったときは、繰り下がった時刻に合わせて録画を行います。
［予約を取り消す］を選ぶと、開始時刻が変更された場合は予約自体が取り消されます。

予約した番組の終了時刻が繰り下がったときは

予約していたスポーツ番組の放送が延長されたときなど、終了時刻が繰り下がったときは、どちらの設定でも、自動的に放送終了まで録画されます。

ご注意

- 以下のときは、放送時間の変更に対応しません。
  - 放送時間情報がない番組のとき
  - 本機につないだ録画機器の予約機能を使って録画するとき
- ［予約の開始時刻を変更する］を選び、開始時刻が変更されて次の予約番組と時間が重複したときは、次の番組の予約は取り消されます。また、開始時刻が3時間以上遅れた場合、予約は取り消されます。

ネットワークで楽しむ

ブルーレイディスクレコーダーに録画した番組を再生する

本機とネットワーク接続したブルーレイディスクレコーダーなどの録画機器に録画した映像を、本機で再生できます。

再生する前に以下の準備をしてください

- 録画機器の電源を入れる。
- 録画機器側で、ネットワーク接続やホームネットワーク機能の設定を行う。
- ネットワークにつなぐ（31ページ）
- ［ネットワーク設定］を行う（34ページ）
- ［ホームネットワーク設定］を行う（46ページ）

1 （クイックパネル）を押す。

2 ↑↓で［ホームネットワーク］を選び、（決定）を押す。

あらかじめサーバーに登録した機器の一覧が表示されます。

3 ↑↓で再生したいコンテンツ（番組）が保存されている機器を選び、（決定）を押す。

4 ↑↓で再生したいフォルダーを選び、（決定）を押す。

［ジャンル］を選んだときは、さらに再生したいフォルダーを選んで、（決定）を押します。

5 ↑↓で再生したいコンテンツ（番組）を選び、（決定）を押す。

再生が始まります。

再生中の操作

リモコンボタン	できること
（決定）	一時停止/再生。
（戻る）	再生停止（コンテンツリストへ戻ります）。
←→	早戻り/早送り。押すたびに3段階で速度が変わります。
（画面表示）	再生経過時間/総時間などの再生情報を表示します。
（二重音声）	二か国語番組の音声を切り換えます。
（字幕）	字幕を切り換えます。
（信号切換）	第二音声がある番組などで、映像・音声などの信号を切り換えます。

オプションボタンでできること（再生中）

項目	できること
音声切換	二か国語番組の音声を切り換えます。
字幕切換	字幕を切り換えます。
信号切換	第二音声がある番組などで、映像・音声などの信号を切り換えます。

（コンテンツリストを表示中）

項目	できること
再生	選んだコンテンツを再生します。
頭出し再生	選んだコンテンツを最初から再生します。
削除	選んだコンテンツを削除します。確認画面で［はい］を選び、（決定）を押します。
情報	選んだコンテンツの情報を表示します。

ご注意

- お使いのホームネットワーク環境によっては、再生中に映像や、音声が途切れる場合があります。
- 接続する相手機器によっては、コンテンツの再生や削除ができない場合があります。

設定を変更する

本機の設定を変更する

設定画面でチャンネルや画質・音質などのさまざまな設定ができます。

1 テレビの入力を本機を接続した入力に切り換える。

2 クイックパネル を押す。

3 ↑↓で［設定］を選び、決定 を押す。

4 ↑↓で設定したい項目を選び、決定 を押す。

5 ↑↓で設定したい項目や内容を選び、決定 を押す。

各設定項目について詳しくは、設定カテゴリー一覧に記載されているページをご覧ください。

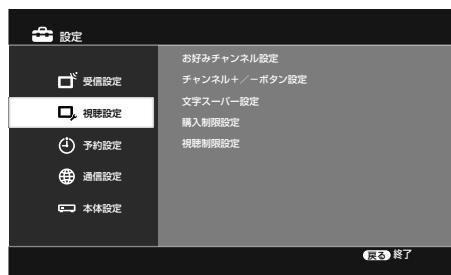
6 クイックパネル を押して、設定画面を消す。

設定カテゴリー一覧

受信設定（77ページ）

アンテナや受信レベルの設定を行います。

視聴設定（78ページ）

チャンネルや視聴制限の設定を行います。

予約設定（78ページ）

録画予約に関する設定を行います。

通信設定（79ページ）

電話回線やネットワークの設定を行います。

本体設定（80ページ）

テレビ画面、暗証番号、初期化などの設定を行います。

受信設定

お買い上げ時の設定は、下線がついている項目です。

アンテナ設定	受信方法（アンテナの種類）を選び、受信レベルの確認をします。詳しくは「CSアンテナを設置したとき」の手順**4**からの操作（17ページ）をご覧ください。 **［2衛星アンテナ］** **［1衛星アンテナ］** **［その他］** **アンテナ選択**：衛星A/衛星B **コンバーター電源**：切/偏波/入 **ローカル周波数**：11.2/11.3/SKY PerfecTV!共聴/その他（水平/垂直周波数）
受信レベル確認	受信している衛星の受信レベルを確認できます。
その他	衛星トラブルが発生した場合に行います。衛星が変更されたとき以外は、変更しないでください。番組が受信できなくなります。 **ネットワーク切換**：受信するネットワークが変わったときにのみ設定します。 **衛星変更**：受信する衛星が変わったときにのみ設定します。 **衛星周波数変更**：受信する衛星周波数が変わったときにのみ設定します。

視聴設定

お買い上げ時の設定は、下線がついている項目です。

お好みチャンネル設定	お好みチャンネルを設定します。詳しくは「お好みリストから選ぶ」(55ページ)をご覧ください。
チャンネル+/−ボタン設定	チャンネル +/−ボタンで選局できるチャンネルを設定します。 **すべてのチャンネル**:すべてのチャンネルを選べます。 **お好みチャンネルのみ**:お好みリスト(55ページ)に登録されているチャンネルのみ選べます。
文字スーパー設定	地域情報や速報など、映像に連動しない文字情報を「文字スーパー」と呼びます。文字スーパー放送は最大2言語の放送が行われます。 **切**:文字スーパーを表示しません。 **第一言語**:文字スーパー放送が行われているときに、第一言語の文字スーパーを表示します。 **第二言語**:文字スーパー放送が行われているときに、第二言語の文字スーパーを表示します。 **ご注意** 放送局側で文字スーパーを消せない設定にしている番組では、[切]に設定しても文字スーパーを消せません。
購入制限設定	ペイ・パー・ビュー番組の購入制限を設定します。暗証番号の設定が必要です。詳しくは「購入/視聴制限を設定する」(37ページ)をご覧ください。
視聴制限設定	年齢制限付き番組の視聴、タイトル表示の制限を設定します。暗証番号の設定が必要です。詳しくは「購入/視聴制限を設定する」(37ページ)をご覧ください。

予約設定

お買い上げ時の設定は、下線がついている項目です。

予約追跡の設定	予約した番組の開始時刻が変更された場合、予約も変更するかを設定します。詳しくは「放送開始時間の変更に対応して録画する」(71ページ)をご覧ください。 **予約を取り消す** **予約の開始時刻を変更する**
AVマウス設定	使用するAVマウスのメーカー名、録画機器の種類、リモコンモード、入力端子を設定します。詳しくは「AVマウスを設定する」(42ページ)をご覧ください。 **接続機器のメーカー** **接続機器の種類** **リモコンモード**:1〜6 **入力端子**:入力1/入力2/入力3
二重音声設定	AVマウスを使って二重音声番組を録画するときの音声を設定します。 **主**:主音声で記録します。 **副**:副音声で記録します。 **主/副**:主音声、副音声を記録します。

通信設定

お買い上げ時の設定は、下線がついている項目です。

センター接続方法設定	センター接続の方法を選びます。 **電話回線**：センター接続に電話回線を使うときに選びます。詳しくは「電話回線を設定する」(29ページ)をご覧ください。 **ネットワーク**：センター接続にネットワークを使うときに選びます。詳しくは「ネットワークを設定する」(34ページ)をご覧ください。
電話回線設定	接続している電話回線の種類や発信方法を選びます。詳しくは「電話回線を設定する」(29ページ)をご覧ください。 トーン 20pps 10pps **[詳細設定]** **発信方法**：通常発信/0発信/9発信/その他 **ダイヤルトーン自動検出**：する/しない **ポーズ**：2 ～ 9秒
ネットワーク設定	ネットワーク接続時のIPアドレス取得方法を選びます。詳しくは「ネットワークを設定する」(34ページ)をご覧ください。 **[DHCPを利用]**：DHCPサーバー機能により、自動でネットワークの設定を割り当てます。 **[固定IPアドレスを指定]**：以下の項目にプロバイダーが制定する値を手動で入力します。 IPアドレス/サブネットマスク/デフォルトゲートウェイ/DNSサーバー（プライマリ）/DNSサーバー（セカンダリ）
ホームネットワーク設定	本機をネットワークに接続して、ホームサーバー機能を利用するときに設定します。詳しくは「ホームネットワーク設定をする」(46ページ)をご覧ください。 **[接続サーバー設定]** **サーバー機器一覧**：本機で映像などを再生するサーバー機器を一覧から選んで登録します。 **録画先サーバー選択**：ネットワーク録画する際の録画先を選びます。

本体設定

お買い上げ時の設定は、下線がついている項目です。

本体表示の明るさ設定	電源「入」のときの本体表示の明るさを設定します。 **明**：表示窓とランプは常に明るく表示します。 **暗**：表示窓とランプは常に暗く表示します。
省電力設定	電力の消費を節約できます。 **切**：電源「切」時でも本体表示窓に日付と時刻を表示します。 **入**：電源「切」時に本体表示窓に日付と時刻を表示しません。 **ご注意** • HDMI機器制御機能を利用する場合は［切］を選んでください。［入］を選ぶと、電源「切」時にHDMI機器制御機能が利用できません。 • ネットワーク経由で録画する場合（45ページ）は、［切］を選んでください。［入］を選ぶと番組の冒頭が録画できない可能性があります。 • ［入］のときは、［切］のときに比べて起動時間が遅くなります。省電力状態から起動するまでの間は、本体表示窓に「－－－」が表示されます。
テレビ設定	接続するテレビの種類を選びます。 16：9：ワイドテレビ（横縦比16：9）につないだときに選びます。 **4：3**：その他のテレビ（横縦比4：3）につないだときに選びます。 **ご注意** ワイドテレビなどで画像の横縦比が不自然にみえるときは、テレビ側でフルモードなど最適な画面モードに切り換えてください。
出力映像設定	D映像出力端子とHDMI出力端子を使う場合に、出力端子と解像度を設定します。 **［D端子］**：本体前面のD1/D2/D3/D4切換ボタンで設定した解像度で出力します。 **［HDMI］**：下記で設定した解像度で出力します。 **自動**：通常はこの設定にします。 テレビ側で受けられる最大の解像度で映像信号を1125i（1080i）→ 750p（720p）→ 525p（480p）の優先順位で出力します。 画像が乱れたときや不自然なとき、お好みに合わないときは、テレビなどに合わせて他の設定を試してください。詳しくは、テレビなどの取扱説明書もご覧ください。 HDMIケーブルで接続されたテレビの電源が入っているときに設定できる解像度だけが表示されます。 **525p（480p）**：525p（480p）の映像信号を出力します。 **1125i（1080i）**：1125i（1080i）の映像信号を出力します。 **750p（720p）**：750p（720p）の映像信号を出力します。
デジタル音声出力設定	HDMIおよび光デジタル音声出力端子からのAAC信号の出力方式を設定します。 **ダウンミックスPCM**：音声信号を常に2チャンネルのリニアPCM信号にダウンミックスし出力します。 **自動**：AAC対応機器に接続している場合のみこの設定にします。放送の音声フォーマットがAAC信号以外の場合は、ダウンミックスPCMで出力されます。 **ご注意** AACに対応しないテレビやAVアンプに本機をつないで［自動］を選ぶと、音が出ないことがあります。その場合は［ダウンミックスPCM］を選んでください。

設定を変更する

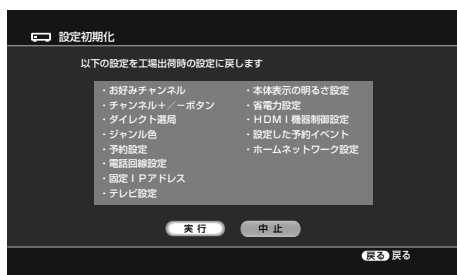
HDMI機器制御設定	HDMI機器制御機能を設定します。詳しくは「HDMI機器制御機能を利用する」(13ページ)をご覧ください。 入:HDMI機器制御機能を使うときに選びます。 切:HDMI機器制御機能を使わないときに選びます。
暗証番号設定	暗証番号の設定や変更を行います。詳しくは「暗証番号を設定する」(36ページ)をご覧ください。
設定初期化	表示される各項目を工場出荷時の設定に戻します(82ページ)。

次のページにつづく⇨

出荷時の設定に戻すには（設定初期化）

番組表のジャンル設定など各種設定を、お買い上げ時の設定に戻すことができます。ただし、予約設定などの情報もお買い上げ時の設定に戻ってしまいます。

1 「本体設定」で［設定初期化］を選び、決定を押す。

2 ←→で［実行］を選び、決定を押す。

お買い上げ時の設定に戻る項目

項目	出荷時の設定
お好みチャンネル	200ch、202ch登録済み
チャンネル +/−ボタン	［すべてのチャンネル］
ダイレクト選局	未登録
ジャンル色	未設定
予約設定	予約追跡の設定：［予約を取り消す］
電話回線設定	［トーン］／［通常発信］
固定IPアドレス	未設定
ホームネットワーク設定	未設定
テレビ設定	［16：9］
本体表示の明るさ設定	［明］
省電力設定	［切］
HDMI機器制御設定	［入］
設定した予約イベント	未設定

出荷時の設定に戻らない項目

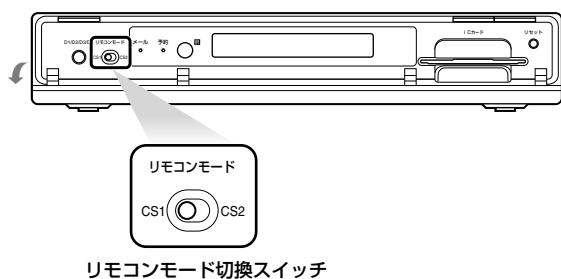
- 受信設定（アンテナの種類）（17ページ）
- 年齢制限設定（37ページ）
- 購入制限設定（37ページ）
- タイトル制限設定（37ページ）
- 暗証番号設定（36ページ）
- 出力映像設定（80ページ）
- センター接続方法設定（29、34ページ）
- ペイ・パー・ビュー購入合計額（87ページ）

ご注意

引っ越しなど設定を変えざるを得ないときを除いて、［設定初期化］の［実行］は行わないでください。

リモコンモードを設定する

2台のソニー製デジタルCSチューナーをお使いのときは、リモコンの誤動作を防ぐために、リモコンモードをそれぞれ別に設定してください。お買い上げ時はリモコンモード「CS1」に設定されています。

リモコンモードはチューナーとリモコンの両方を設定してください。片方しか設定しないと、リモコンで操作ができなくなります。

リモコンモード切換スイッチ

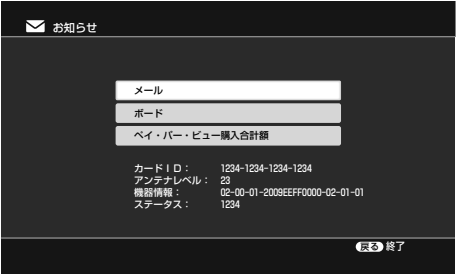
1 **本体前面のリモコンモード切換スイッチを「CS1」または「CS2」に設定する。**

2 **リモコン本体のリモコンモードを設定する。**
手順**1**で選んだチューナーのリモコンモードと同じになるように、リモコン本体のリモコンモードを設定してください。
「CS1」：決定 を押しながら、① を3秒以上同時に押します。
「CS2」：決定 を押しながら、② を3秒以上同時に押します。

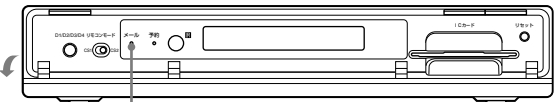
困ったときは

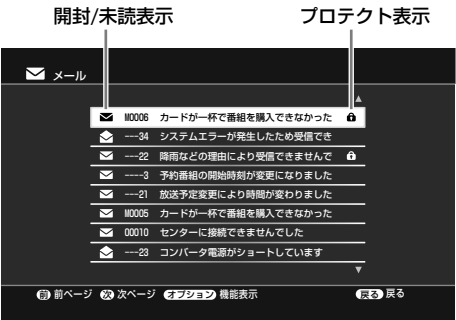
お知らせを見る(メール/ボード)

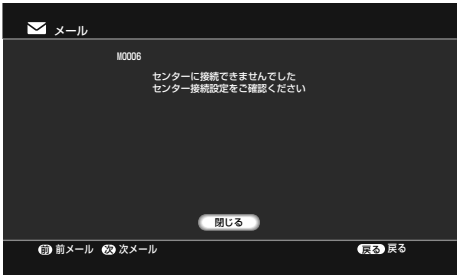
視聴状況などのお知らせを見ることができます。

お知らせ(お知らせ)を押す。
お知らせ画面が表示されます。

カードID：16桁のカードID番号を表示します。
アンテナレベル：選ばれているチャンネルのアンテナレベルを表示します。
機器情報：機器情報を表示します。
ステータス：ステータス番号を表示します。

メールを見る

メールは各個人あてのお知らせです。
メールが送られてきているときは、本体前面のメールランプが点灯します。

1 お知らせ(お知らせ)を押す。
お知らせ画面が表示されます。

2 ↑↓で[メール]を選び、決定を押す。
メールを一覧表示します。32通を超えると、開封済みのプロテクトされていない古いメールから順に削除され、新しいメールが追加されます。送られてきていない場合は「メールはありません」と表示されます。

3 ↑↓で見たいメールを選び、決定を押す。

4 読み終えたら、[閉じる]を選び、決定を押す。

「センターに接続できませんでした　センター接続設定をご確認ください」というメールが届いたときは

電話回線に接続しているときは「電話回線を設定する」(29ページ)を、ネットワークに接続しているときは「ネットワークを設定する」(34ページ)をご覧ください。

オプションボタンでできること(メール一覧表示中)

項目	できること
消去	選んだメールを消去します。
全件消去	すべてのメールを消去します。
プロテクト/プロテクト解除	消去したくないメールにプロテクト(保護)を設定します。最大20通までのメールにプロテクトを設定できます。

ちょっと一言

メールでは、録画予約できなかったときの状況などもお知らせします。

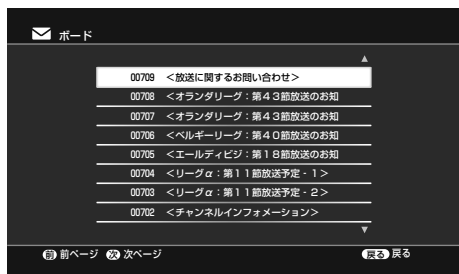
ボードを見る

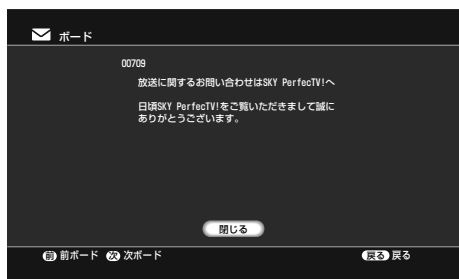
ボードは利用者全員へのお知らせです。

1 **（お知らせ）を押す。**

お知らせ画面が表示されます。

2 **↑↓で［ボード］を選び、決定を押す。**

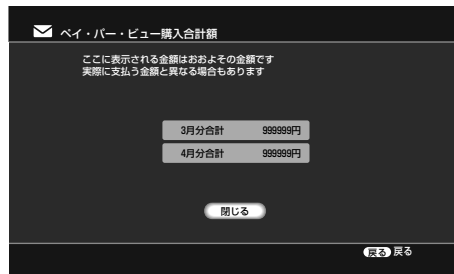
ボードを一覧表示します。送られてきていない場合は「ボードはありません」と表示されます。

3 **↑↓で見たいボードを選び、決定を押す。**

4 **読み終えたら、［閉じる］を選び、決定を押す。**

ペイ・パー・ビュー購入額を確認する

1 **（お知らせ）を押す。**

お知らせ画面が表示されます。

2 **↑↓で［ペイ・パー・ビュー購入合計額］を選び、決定を押す。**

前月・今月の購入合計額を表示します。

3 **［閉じる］を選び、決定を押す。**

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう1度点検してください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーの相談窓口（裏表紙）にお問い合わせください。

画像が出ない

D映像端子で接続したときに映像が出ない。

- → 設定画面の[本体設定]から[出力映像設定]を[D端子]に設定してください（80ページ）。

HDMI端子で接続したときに映像が出ない。

- → [本体設定]の[出力映像設定]でHDMI解像度の設定を変えると解消される場合があります（80ページ）。テレビと本機をHDMI出力端子以外の映像出力端子で接続し、テレビの入力を本機につないだ映像入力に切り換えて、設定画面をテレビ画面に表示させてください。[本体設定]の[出力映像設定]を[HDMI]に設定してください。次にHDMI解像度の設定を変え、テレビ側の入力をHDMIに戻してください。それでも映像が出ない場合は、この手順を繰り返して他の解像度を試してください。
- → [本体設定]の[出力映像設定]を[HDMI]に設定しているときに、HDMI解像度が[自動]しか選べない場合は、正しく接続されていない場合があるので、その場合はケーブルを差し直すか本体の電源を入れ直してください。
- → 本体前面のD1/D2/D3/D4切換ボタンを押して、[D2]以上にしてみてください。
- → DVI機器に接続していませんか？本機はDVI機器への接続に対応していません。

受信できない

アンテナの受信設定ができない/衛星が受信できない。

- → 雨の強い日は衛星から電波が届きにくく、受信設定ができないことがあります。
- → アンテナの向きが変わっていませんか？ [受信設定]画面で受信レベルが最大になるようアンテナの向きを調整してください。
- → 強風によってアンテナが動いて受信レベルが下がり、受信状態が悪くなることがあります。このときは、天候が回復した後、再びアンテナの向きを調整し直してください。

マンションなどの共聴システムの場合

- → 共聴方式のタイプの種類は合っていますか？（19ページ）
- → コンバーターのローカル周波数の設定は正しいですか？（19ページ）
- → 偏波面電圧切換方式アンテナを使用しているのに、[コンバーター電源]の設定が[入]あるいは[切]になっていませんか？設定を[偏波]に設定してください。（19ページ）

番組が出ない。

- → ICカードは正しい向きで入っていますか？（15ページ）
- → ICカード挿入口のふたは閉まっていますか？（15ページ）
- → 受信レベルを確認してください（17ページ）。
- → 放送日や時間を確認してください。
- → 雷雨や悪天候などにより、映像が映らないことがあります。
- → 受信契約（加入申し込み）をしていますか？（21ページ）
- → 電源コードをしっかりつないでください。（16ページ）
- → お住まいになっているマンションの共聴システム方式の設定は合っていますか？（19ページ）

番組表に表示されない

番組表（EPG）に表示されないチャンネルがある。

- → 選択している番組表の種類により表示されるチャンネルが異なります。（54、55ページ）
- → 衛星Aまたは衛星Bしか受信されていません。本機にソニー製の2衛星対応アンテナを接続してご使用の場合は、衛星Aと衛星Bの2衛星が受信できるように受信設定をしてください。（17ページ）

番組表（EPG）にタイトルが表示されない。

- → 視聴年齢制限を設定してあると、視聴年齢制限付き番組のタイトルは「＊＊＊＊＊」と表示されます。（37ページ）

番組表（EPG）にHD放送チャンネルのロゴが表示されない。

- → 本機の電源を切って2時間程度お待ちください。HD放送チャンネルのロゴ情報は、電源「切」のときに取得されます。

映像や音声が乱れる

映像や音声が乱れる。

- 携帯電話や電子レンジなどを本機の近くで使用すると、映像や音声が乱れることがあります。離して使用してください。

通常のテレビ放送を見ているときに画面にビート(縞状のノイズ)が出る。

- テレビのアンテナの接続には75Ω同軸アンテナケーブルをお使いください。
- チューナーやケーブルを、テレビのアンテナケーブルからできるだけ離してください。

音声が出ない/音声がおかしい。

- 音量の調整は、リモコンをテレビに向けて操作してください。
- 二か国語放送など二重音声番組で、副音声になっていませんか？（59ページ）
- 第二音声が選ばれていませんか？（59ページ）

HDMI接続したとき、音声が出ない。

- DVI機器に接続していませんか？本機はDVI機器への接続に対応していません。
- HDMI出力端子につないだ機器は、音声信号のフォーマットに対応していますか？ [本体設定]から[デジタル音声出力設定]で[ダウンミックスPCM]を選んでください。(80ページ)

番組の購入などができない

ペイ・パー・ビュー（PPV)が購入できない。

- スカパー！への加入申し込みはお済みですか？（21ページ）
- 本機と電話回線またはネットワークが正しくつながれているか確認してください。(24ページ)
- 電話回線の種類([トーン]や[20pps]、[10pps])などが正しく設定されているか確認してください。(29ページ)
- 購入制限を[あり]に設定すると、あらかじめ設定した暗証番号を入れないと番組の購入はできません。(36ページ)
- 「ICカードのデータがいっぱいになったので購入できません」と表示された場合は、購入上限金額または購入可能件数を越えています。電話回線またはネットワークをつないでください。(24ページ)
- 番組によっては購入可能時間が決まっているものがあります。
- ステータスレポート(30ページ)に表示される2桁のエラーコードをソニーの相談窓口(裏表紙)にお知らせください。

投票や申し込みができない。

- 本機と電話回線またはネットワークが正しくつながれているか確認してください。(24ページ)
- 電話回線の種類([トーン]や[20pps]、[10pps])などが正しく設定されているか確認してください。(29ページ)

リモコンで操作できない

リモコンのボタンを押してもチューナーやテレビが動作しない。

- リモコン用の乾電池が古くなっていませんか？新しいものと取り替えてください。テレビが動作してもチューナーが動作しないときも、乾電池が古くなってきています。
- チューナーを操作するには、リモコン発光部をチューナーの受光部に向けて操作します。テレビを操作するにはテレビの受光部に向けてください。
- リモコンのメーカー登録番号を、操作するテレビのメーカー登録番号と合わせてください。(39ページ)
- リモコンモードを正しく設定してください。(83ページ)

リモコンで他のソニー製デジタルCS放送チューナーが誤動作する。

- リモコンモードを変更してください。(83ページ)
- リモコンモードは合っていますか？リモコンの電池交換の時などに長い間電池を抜いていると、リモコンモードが「CS1」に戻ります。本体側とリモコン側の双方でリモコンモードを「CS1」または「CS2」に設定し直し、リモコンが動作するか確認してください。(83ページ)

次のページにつづく⇨

予約した番組が録画されない

予約した番組が録画されない。

➔ 録画機器と連動させずに予約したとき、録画機器で予約設定をしましたか？（66、68ページ）
➔ 録画機器にテレビチャンネルの数字が表示されている状態では録画できません。本機をつないでいる入力（「入力1」または「入力2」など）に録画機器の入力を切り換えてください。（68ページ）
➔ 予約した番組の開始時刻が変わったとき、[予約追跡の設定]が[予約を取り消す]に設定されていると、予約はキャンセルされます。（71ページ）
➔ 「毎日」「毎週」予約のとき、2回目以降の予約実行時に予約時刻と実際の番組の開始/終了の両時刻が合わないときは、その番組は録画されません。（67ページ）

AVマウスを使って予約した番組が録画されない。

➔ お使いの録画機器のメーカー名とリモコンコードが正しく入っているか確認してください。（42ページ）
➔ 予約の際、録画機器の電源を「切」にしましたか？（67ページ）
➔ 録画機器にテレビチャンネルの数字が表示されている状態では録画できません。本機をつないでいる入力（「入力1」または「入力2」など）に録画機器の入力を切り換えてください。（67ページ）
➔ AVマウスの取り付け位置は正しいですか？（42ページ）
➔ 本機からの録画予約以外に、録画機器に予約が入っていませんか？
直前に録画機器で予約があると、録画機器の入力が本機をつないでいる入力から切り換わってしまう場合があります。
➔ 録画機器で録画中のときは、本機からの録画予約は実行されません。
➔ お使いの機器によっては使えないことがあります。（42ページ）

ホームネットワーク対応のサーバー機器（ブルーレイディスクレコーダーなど）に録画できない。

➔ サーバー機器が録画に対応していることを確認してください。（45ページ）
➔ サーバー機器が本機の録画先サーバー選択で選択されているか確認してください。（46ページ）
➔ サーバー機器側の設定において、本機がクライアント機器として登録されているか確認してください。
登録の方法についてはサーバー機器の取扱説明書をご覧ください。
➔ サーバー機器側の負荷状況などにより録画できない場合があります。
サーバー機器の取扱説明書をご覧ください。
➔ サーバー機器の電源が入っているか確認してください。
➔ 本機がホームネットワークに接続されているか確認してください。（45ページ）

録画した番組が再生できない

ホームネットワーク対応のサーバー機器の映像を本機から再生することができない。

➔ サーバー機器側の設定において、本機がクライアント機器として登録されているか確認してください。
登録の方法についてはサーバー機器の取扱説明書をご覧ください。
➔ サーバー機器が本機のサーバー機器一覧に登録されているか確認してください。（46ページ）
➔ 本機がホームネットワークに接続されているか確認してください。
➔ 本機から録画したコンテンツ以外の再生は保証していません。

その他

HDMI機器制御機能が働かない。

➔ [HDMI機器制御設定]は[入]になっていますか？（80ページ）
➔ [省電力設定]は[切]になっていますか？（80ページ）
[入]を選ぶと、電源「切」時にHDMI機器制御機能が利用できません。
➔ 接続機器がHDMI機器制御機能に対応していることを確認してください（接続機器の取扱説明書をご覧ください）。
➔ 接続機器の電源コード・HDMIケーブルがしっかりと接続されているか確認してください。
➔ 接続機器の、HDMI機器制御機能の設定を確認してください（接続機器の取扱説明書をご覧ください）。
➔ AVアンプを通してテレビにつないだ場合に、HDMI接続を変更したり、電源コードの抜き差しをしたり、停電があった場合は、本機の再生映像がテレビに映るようにAVアンプの入力を切り換えてください。次に、本機の[HDMI機器制御設定]を一度[切]にし、その後[入]に再設定してください（お使いのAVアンプの取扱説明書もご覧ください）。
➔ HDMI機器制御機能について詳しくは、13ページをご覧ください。
➔ HDMI機器制御機能に対応していないAVアンプを通してテレビにつなぐと、HDMI機器制御機能が正しく機能しません。

チューナーに異常がある

本体前面の表示窓に「Err」が点滅する。または、「コンバーター電源がショートしています。本機背面のIF入力端子部がショートしていないか確認し、ショートの原因を取り除いてから[決定]を押して、受信設定を行ってください。原因がわからない場合は、電源を切って、ソニーの相談窓口にお問い合わせください」と表示される。

➔ コンバーター電源がショートして、保護回路が働いています。同軸ケーブルの芯線などが曲がっていたり、ショートしていないことを確かめてから、決定を押して、受信設定を行ってください。（17ページ）
それでも正常に動作しないときは、電源を切って、お買い上げ店またはソニーの相談窓口（裏表紙）にご相談ください。

「ICカードにアクセスできません ICカードを抜き差ししても直らない場合はスカパー！カスタマーセンターへ連絡してください」と表示される。

➔ ICカードが奥までしっかり入っているか、入れる向きが前後、表裏逆向きになっていないか確かめてから、もう一度正しい向きで入れ直してください。（15ページ）
入れ直してもメッセージが表示されるときは、スカパー！カスタマーセンターに連絡してください。

➔ ICカードが破損している場合は、スカパー！カスタマーセンターに連絡してください。（15ページ）

➔ 付属のICカード以外は使えません。（15ページ）

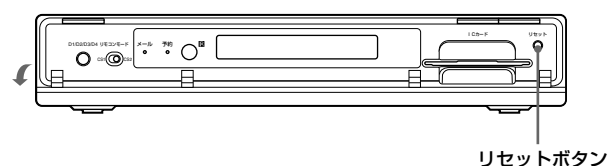
電源待機時に本体があたたかく感じられる。

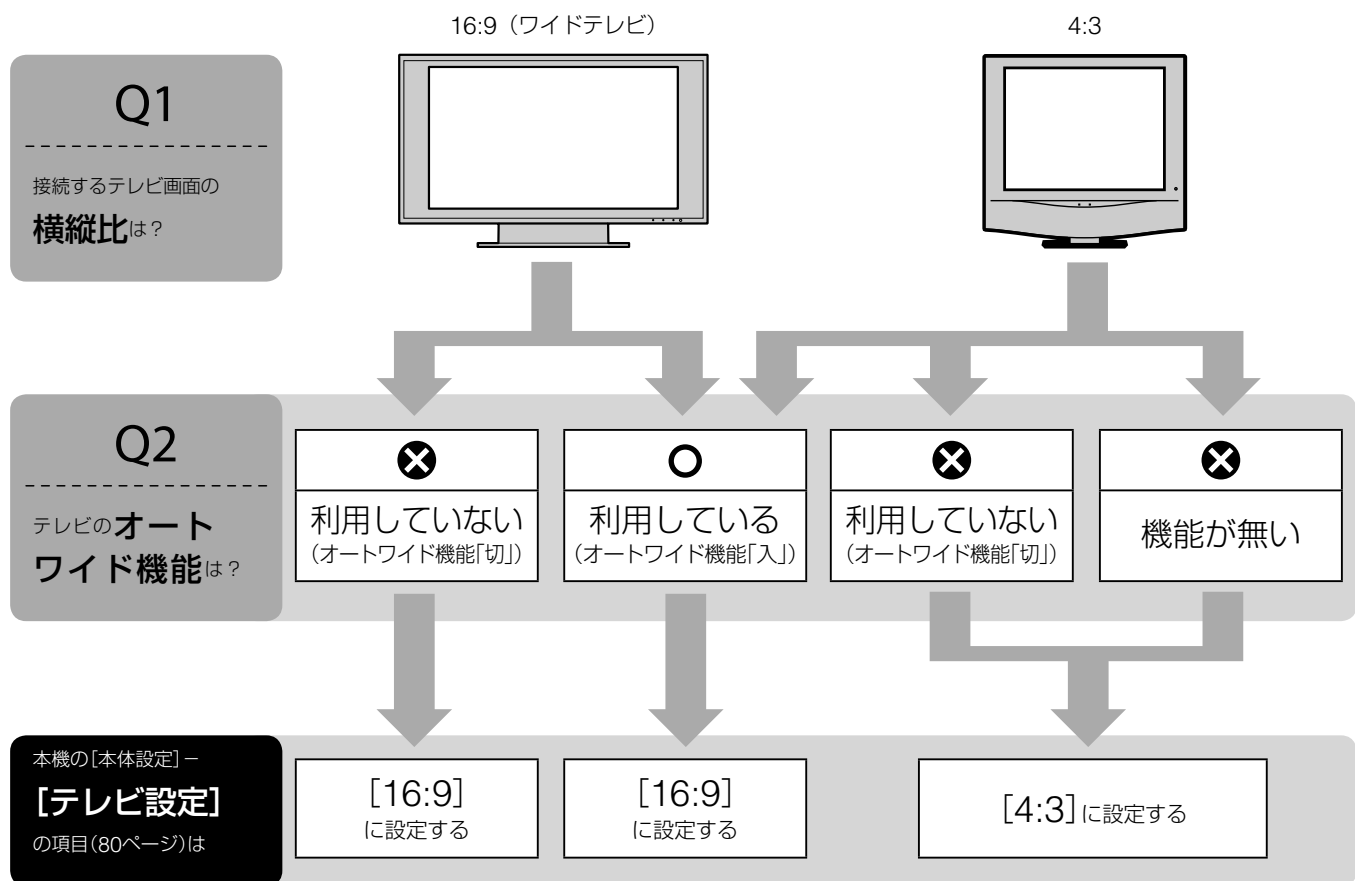
➔ 故障ではありません。これは衛星からのデータを取得するために、本機の電源が自動的に入るためです。本機は風通しの良い場所で使用し、ビデオなど他の機器を直接重ねて置かないことをおすすめします。

リセットボタンについて

過大な静電気などによる電源電圧の異常により、まれに、本機が操作を受け付けなくなるときがあります。この場合や下記のような症状が発生した場合は、操作をせずに1分間待ってから、本体前面のリセットボタンをペンの先などで軽く押してください。

- 音が出ない。
- テレビ画面の映像が動かなくなったり、映らなくなった。
- 時刻が止まったままだったり、正しくない。
- 電源が切れない、入らない。

それでも正常に動作しないときは、ソニーの相談窓口(裏表紙)にご相談ください。

映像の横縦比を変えたいときは

ワイドテレビやワイドモード付きの4:3テレビのときは、テレビ側のワイドモード設定によって表示のされかたが異なります。テレビの取扱説明書のワイドモードの設定もご覧ください。

ちょっと一言

[テレビ設定]を[16：9]に設定した場合、4：3の映像を受信すると画面左右に黒枠を追加して表示します。

困ったときは

次のページにつづく⇨

16:9のテレビをお使いのとき

画像の見えかた	症状	対処のしかた
	映像が左右に圧縮されて表示され、黒帯が付いている	テレビで オートワイド設定を[切]にし、ワイド切換機能で画面全体に表示できるようにします。(放送によってはできない場合があります。)
	映像が上下に圧縮されて表示され、黒帯が付いている	本機で [テレビ設定]を[16：9]に設定します。 テレビで オートワイド設定を[入]にします。
	もとの映像の上下左右に黒帯が付いている	テレビで オートワイド設定を[切]にし、ワイド切換機能で画面全体に表示できるようにします。(放送によってはできない場合があります。)

4:3のテレビをお使いのとき

画像の見えかた	症状	対処のしかた
	映像が左右に圧縮されて表示され、黒帯が付いている	本機で [テレビ設定]を[4：3]に設定します。
	もとの映像の上下に黒帯が付いている	本機で [テレビ設定]を[4：3]に設定します。 テレビで オートワイド設定を[入]にします。
	もとの映像の上下左右に黒帯が付いている	本機で [テレビ設定]を[4：3]に設定します。 テレビで オートワイド設定を[切]にします。

16:9のテレビで4:3の映像を画面いっぱいに引き伸ばして見たいときは

本機で [テレビ設定]を[16：9]にします。

テレビで ワイド切換機能で画面全体に表示できるようにします。(放送や映像によってはできない場合があります。)

その他

使用上のご注意

設置場所について

次の場所に置かないでください。

- 振動の多い所。
- 直射日光が当る所、湿度が高い所。
- 極端に寒い所。
- 他のチューナーやテレビ、ビデオデッキから近い所。（チューナーやテレビ、ビデオデッキと一緒に使用するとき、近くに置くと、雑音が入ったり、映像が乱れたりすることがあります。）

結露（露つき）について

結露は、空気中の水分が金属の板などに付着し、水滴となる現象です。本機を寒い場所から暖かい場所へ急に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋で、本機の表面や内部に結露が起こることがあります。結露が起きている状態で使用すると、故障の原因になります。

結露がなくなるまで（約1時間）、そのままの状態（電源「入」時は「入」のまま、「切」時は「切」のまま、電源プラグをコンセントに差し込んでいないときは差し込まないまま）で、放置してください。

本体のお手入れのしかた

キャビネットやパネル面の汚れは、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。シンナーやベンジン、アルコールなどは表面を傷めるため使わないでください。

ステレオで聞くときのエチケット

ステレオで音楽を楽しむときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さな音でも周囲にはよく通るものです。窓を閉めたり、ヘッドホンを使ったりなど互いに心配りし、快い生活環境を守りましょう。

このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

3D映像の視聴について

3D映像の視聴中に目の疲労、疲れ、気分が悪くなるなどの不快な症状が出ることがあります。3D映像を視聴するときは、定期的に休憩をとることをおすすめします。必要な休憩の長さや頻度は個人によって異なりますので、ご自身でご判断ください。不快な症状が出たときは、回復するまで3D映像の視聴をやめ、必要に応じて医師にご相談ください。本機に接続する機器の取扱説明書やご注意文などもあわせてご覧ください。最新情報については、ホームページ（http://www.sony.co.jp/support/）をご覧ください。なお、お子さま（特に6歳未満の子）の視覚は発達段階にあります。お子さまが3D映像を視聴する前に、小児科や眼科などの医師にご相談ください。大人のかたは、お子さまが上記注意点を守るよう監督してください。

主な仕様

デジタルCSチューナー DST-HD1

受信方式	衛星デジタル放送方式（日本方式）
受信チャンネル	SKYサービスの各チャンネル PerfecTV!サービスの各チャンネル スカパー！ HDサービスの各チャンネル
受信周波数	950 MHz～2,150 MHz
対応ローカル周波数（局部発振周波数）	11.2 GHz/11.3 GHz/10.5 GHz～11.5 GHzで可能（1 MHzステップ） 共聴1/共聴2/共聴3
アンテナ入力	CS IF 75 Ω、F型コネクター （コンバーター電源出力DC15 V、最大6 W/DC11 V、最大4.4 W、芯線側＋、切/偏波連動/入、メニュー切り換え） 衛星切換信号 衛星A（JCSAT3）選択時：パルス信号なし 衛星B（JCSAT4）選択時：パルス信号あり （44 kHz、0.6 Vp-p）
映像出力	ピンジャック（2系統）、1.0 Vp-p/75 Ω
S1映像出力	ミニDIN 4ピン（2系統） Y：1.0 Vp-p/75 Ω C：0.286 Vp-p/75 Ω
音声出力	ステレオ、ピンジャック（2系統） 平均出力レベル：250 mVrms （FS −18 dB） 最大出力レベル：2.0 Vrms 出力インピーダンス：470 Ω以下
モデム伝送レート	2400 bps
デジタル音声出力	角型光ジャック、−18 dBm、660 nm
D1/D2/D3/D4映像出力	D映像出力端子 Y：1.0 Vp-p/75 Ω、PB/CB：0.7 Vp-p/75 Ω、PR/CR：0.7 Vp-p/75 Ω
HDMI出力	19ピン標準コネクター
電話回線端子	モジュラージャック
LAN端子	10BASE-T/100BASE-TX（ネットワークの使用環境により、通信速度に差が生じることがあります。本機は10BASE-T/100BASE-TXの通信速度や通信品質を保証するものではありません。）
AVマウス出力	ミニジャック DST-700JS/800JSに付属のマウスは、本機では使用できません。
使用温度	5 ℃～35 ℃
電源	AC100 V、50/60 Hz
消費電力	通常動作時 23 W 待機/省電力設定時 0.15 W （待機/省電力設定時にも、データ受信のため消費電力が一時的に23 Wになり、本体が温かくなることがあります。データ受信が終わると0.15 Wに戻ります。）
最大外形寸法	280×51.5×273.2 mm （幅×高さ×奥行き）（最大突起部含む）
本体質量	約 1.6 kg

付属品

リモコン：RMT-JSP01（1）
マンガン乾電池：単3形（2）
AVマウス（1）
電源コード（1）
テレホンコード（10 m）（1）
モジュラーテレホンコードカプラー（1）
映像/音声コード（1）
ICカード（1）
スカパー！有料放送サービス加入申込書（1）
取扱説明書（1）
ソニーご相談窓口のご案内（1）
保証書（1）

- 本機は日本国内用です。電源電圧、放送規格の異なる外国ではお使いになれません。
- 仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますがご了承ください。

保証書とアフターサービス

本機は日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる海外ではお使いになれません。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際にお買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックとご相談を

「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかを点検してください。

それでも具合の悪いときはソニーの相談窓口へ

ソニーの相談窓口（裏表紙）へご相談になるときは、次のことをお知らせください。

- 型名：デジタルCSチューナー DST-HD1
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- 購入年月日：
- お買い上げ店：

スカパー！の受信契約、番組については、スカパー！カスタマーセンター（裏表紙）にお問い合わせください。

スカパー！の放送に関して

受託衛星放送事業者（衛星所有会社）あるいは委託放送事業者（放送局）側のトラブルにより何らかの支障があった場合、放送やEPGなどを含む各種サービスがご覧になれないことがあります。これはデジタルCSチューナーの問題ではありません。
突然の放送休止や放送開始の変更および衛星変更などがあった場合は、スカパー！カスタマーセンターにお問い合わせください。

以下の場合は、当社は責任を負いかねます

本機の故障、誤動作、不具合あるいは受信障害や停電などの原因によって放送や通信などの機会を逃がした為に生じた障害については、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではデジタルCSチューナーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後最低8年間保存しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店、サービス窓口にご相談ください。

部品の交換について

この商品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

ソフトウェア等に関する重要なお知らせ

この度は弊社製品(以下「本製品」)をお買い上げいただきありがとうございます。
本製品のご使用を開始される前に必ず、本製品に含まれるソフトウェア(以下「許諾ソフトウェア」とします)に関するこのお知らせをお読みください。
お客様による本製品の使用開始をもって、このお知らせの内容をご確認のうえ、ご同意いただけたものとさせていただきます。

ソフトウェア使用許諾契約書

本契約は、お客様(以下「使用者」とします)と弊社(以下「ソニー」とします)との間における許諾ソフトウェアの使用許諾に関する条件を規定しております。

第1条(総則)
許諾ソフトウェアは、日本国内外の著作権法並びに著作者の権利及びこれに隣接する権利に関する諸条約その他知的財産権に関する法律によって保護されています。許諾ソフトウェアは、本契約の条件に従いソニーから使用者に対して使用許諾されるもので、許諾ソフトウェアの著作権等の知的財産権は使用者に移転いたしません。

第2条(使用権)
1. ソニーは、許諾ソフトウェアの日本国内における非独占的な使用権を使用者に許諾します。
2. 前項に定める使用権とは、本製品上においてのみ、使用者が許諾ソフトウェアを使用する権利をいいます。
3. 許諾ソフトウェアの使用は私的範囲に限定されるものとし、使用者は許諾ソフトウェアを営利目的に用いてはならないものとします。

第3条(許諾条件)
1. 使用者は、許諾ソフトウェアの一部又は全部を複製、複写若しくは修正、追加等の改変をしてはならないものとします。
2. 使用者は、許諾ソフトウェアを日本国外に輸出又は移送してはならないものとします。
3. 使用者は、許諾ソフトウェアに関し、リバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル等のソースコード解析作業を行ってはならないものとします。
4. 使用者は、許諾ソフトウェアの一部を許諾ソフトウェアから切り離して単独のソフトウェアとして使用してはならないものとします。
5. 使用者は、許諾ソフトウェアを再使用許諾、貸与又はリースその他の方法で第三者に使用させてはならないものとします。
6. 使用者は、許諾ソフトウェアを使用して、ソニーを含む第三者の著作権、特許権その他の知的財産権を侵害するような行為を行ってはならないものとします。
7. 使用者は、本製品と共に許諾ソフトウェアの一切(全ての構成部分、マニュアルなどの関連書類、電子文書及び本契約文書を含みます)を譲受人に譲渡し、かつ当該譲受人が本契約の全条項に同意することを条件とし、許諾ソフトウェア及び前条に規定するその使用権を第三者に譲渡することができるものとします。尚、許諾ソフトウェアの一切が譲受人に譲渡され、かつ当該譲受人が本契約の全条項に同意した時点をもって、当該譲受人とソニーとの間で本契約の内容を条件とする契約が成立し、かつ、元の使用者とソニーとの間での本契約は解除されるものとします。

第4条(許諾ソフトウェアの権利)
許諾ソフトウェアに関する著作権等一切の権利は、ソニー及びソニーが許諾ソフトウェアに含まれるソフトウェアの使用、再許諾を許諾された原権利者(以下「原権利者」といいます)に帰属するものとし、使用者は、許諾ソフトウェアに関して本契約に基づき許諾された使用権以外の権利を有しないものとします。

第5条(無保証)
許諾ソフトウェアの使用は、使用者の責任で行っていただくものとします。許諾ソフトウェアは現状有姿でソニーから使用者に対して提供されるものとし、ソニー及び原権利者は使用者に対して、エラー・バグ等の不具合がないこと、中断なく稼動すること、有用であること、使用者のご利用目的に合致していること等を含め、許諾ソフトウェアに関し明示であると黙示であるとを問わず何らの保証も行わないものとします。

第6条(ソニー及び原権利者の免責)
許諾ソフトウェア(全ての構成部分、媒体、電子文書、マニュアルなどの関連書類を含みます)に関連して使用者又は第三者に生じた損害に対して、ソニー及び原権利者が負うべき責任の範囲は、許諾ソフトウェアの使用権取得に際して使用者が負担された金額を超えないものとします。但し、これを制限する別途法律の定めがある場合はこの限りではありません。

第7条(第三者に対する責任)
使用者が許諾ソフトウェアを使用することにより、第三者との間で著作権、特許権その他の知的財産権の侵害を理由として紛争が生じた場合、使用者自身が自らの費用で解決するものとし、ソニー及び原権利者に一切の迷惑をかけないものとします。

第8条(許諾ソフトウェアのアップデート)
使用者は、許諾ソフトウェアの機能の向上、エラーの修正等の目的のため、ソニー、原権利者、放送事業者又はそれらが委託した第三者が、インターネット、放送、外部機器等を利用して、許諾ソフトウェアを適宜アップデートすること、及びアップデートされた許諾ソフトウェアについても本契約の各条件が適用されることに同意するものとします。

第9条(契約解除)
1. ソニーは、使用者において次の各号の一に該当する事由が生じた場合、直ちに本契約を解除し、又はそれによって蒙った損害の賠償を使用者に対し請求できるものとします。
 (1) 本契約に定める条項に違反したとき
 (2) 差押、仮差押、仮処分その他強制執行の申立を受けたとき
2. 本契約解除後といえども、第1条、第4条乃至第7条、第10条および第11条の規定は、有効に存続するものとします。

第10条(許諾ソフトウェアの廃棄)
前条の規定により本契約が終了した場合、使用者は、直ちに許諾ソフトウェアの使用を中止し、許諾ソフトウェアの全てを廃棄するか、ソニーに対して返還するものとします。ソニーが要求した場合、使用者は許諾ソフトウェアを廃棄した旨を証明する文書をソニーに差し入れるものとします。

第11条(その他)
1. 本契約の一部が法律によって無効となった場合でも、当該条項以外は有効に存続するものとします。
2. 本契約の準拠法は、日本国の法律とします。
3. 本契約に定めなき事項若しくは本契約の解釈に疑義を生じた場合には、ソニー及び使用者は誠意をもって協議し、解決するものとします。

expatソフトウェアに関するお知らせ

MPEG-4 AVCに関するお知らせ

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER TO DECODE AVC VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE HTTP://MPEGLA.COM

用語集

五十音順

結露（露つき）（96ページ）
暖房を入れて室温が急に上がったときなどに、本機内部に水滴が付くことです。

受信レベル（17ページ）
CSアンテナから入ってくる信号の強さです。天候や気温、CSアンテナの向きや角度、CSアンテナ接続ケーブルの長さなどによって影響を受けます。受信レベルはあくまでも目安としてください。

デジタルハイビジョン信号（HD）（12ページ）
デジタル放送の画像方式。1125iと750pがあり、大画面になっても走査線（テレビ画面を水平に走る線）が目立たなく、35mm映画なみの臨場感あふれる高精細画質を楽しめます。

ビープ音（18ページ）
本機では、CSアンテナの向きを調節するときに正しく放送を受信できているかどうかを音でお知らせすることができます。CSアンテナはテレビや本機を設置した場所から離れている場合が多く、テレビ画面や本機の表示窓を見ながらCSアンテナを調節できない場合に音を聞いて調節するための機能です。

標準テレビ信号（SD）（12ページ）
デジタル放送の画像方式。525pと525iがあり、525iは地上アナログと同等の画質です。

ブラビアリンク（40ページ）
ハイビジョンテレビ＜ブラビア＞付属のリモコンで、本機を簡単に操作することができます。

アルファベット順

AVマウス（42ページ）
ビデオなどを操作するために、チューナーから出される信号をビデオに送るものです。

D映像信号（14ページ）
D映像入力端子付きテレビと1本のケーブルでかんたんにコンポーネント映像信号を接続できるため、S1映像/映像出力端子での接続より高画質な画像となります。
D映像出力端子には対応する信号フォーマットによってD1、D2、D3、D4端子があります。

- D1端子：525i（480i）の信号
- D2端子：525i（480i）と525p（480p）の信号
- D3端子：525i（480i）と525p（480p）、1125i（1080i）の信号
- D4端子：525i（480i）と525p（480p）、1125i（1080i）、750p（720p）の信号

* iはインターレース、pはプログレッシブの略。カッコ内の数字は有効走査線数で数えたときの別称です。

EPG（54ページ）
「エレクトロニック・プログラム・ガイド（Electronic Program Guide）」の略で、送信される番組表（タイトルや番組説明、放映時間など）のことです。本機では、この番組情報を見やすく調整し直して表示しています。

HDMI（High-Definition Multimedia Interface）（13ページ）
パソコン用ディスプレイなどで使用されているDVI（Digital Visual Interface）規格を拡張した次世代テレビ向けのデジタルインターフェース規格。
映像と音声を1つのケーブルで、信号がデジタルのまま、劣化することなく伝送できます。デジタル画像信号の暗号化記述を使用した著作権保護技術であるHDCP*にも対応しています。

* HDCP（High-bandwidth Digital Content Protection）：デジタル画像信号の暗号化方式で、HDMIを経由して送信されるデジタルコンテンツの不正コピー防止を目的とする著作権保護用システムです。

ICカード（15ページ）
プラスチック・カードに集積回路を埋め込んだものです。
本機のID番号やチャンネルの契約、購入内容などの情報がICカードに記憶されます。記憶された情報は、電話回線を通じて放送局に送信されます。

IPアドレス（アイピーアドレス）（34ページ）
TCP/IP（伝送制御プロトコル/インターネットプロトコル）ネットワークで使用される識別情報。通常は、3桁の数字4組を点で区切って表示されます。
例:「192.168.139.105」など

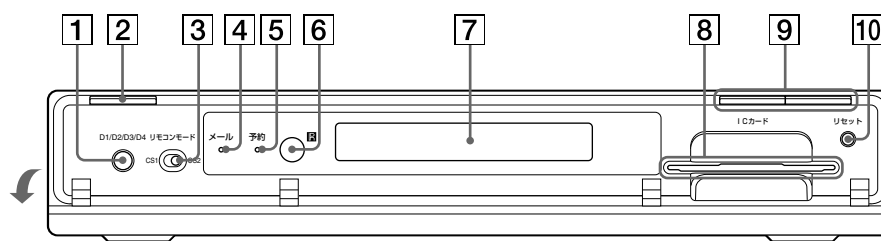
PPD（ペイ・パー・デイ）（61ページ）
「一日単位で支払う」という意味で、一日単位で購入する番組のことです。

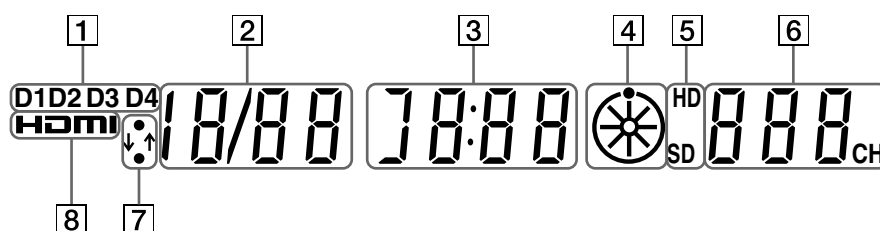
PPV（ペイ・パー・ビュー）（61ページ）
「見るたびに支払う」という意味で、一回視聴するごとに購入する番組のことです。

各部のなまえ

本体のボタンはリモコンの同じ名前のボタンと同じ働きをします。*のボタンには凸(突起)がついています(数字ボタンは「5」のみ、チャンネル+/−ボタンは「+」のみ)。操作の目印としてお使いください。( )内の数字は参照ページです。

本体

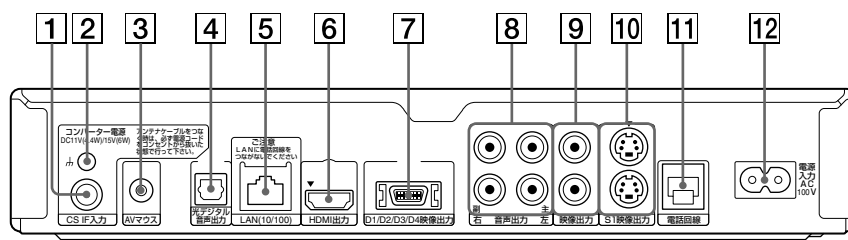
本体前面

1 D1/D2/D3/D4切換ボタン(14)
2 電源スイッチ(17)
3 リモコンモード切換スイッチ(83)
4 メールランプ(86)
5 予約ランプ(67)
6 リモコン受光部
7 表示窓
8 ICカード挿入口(15)
9 チャンネル+*/−ボタン(53)
10 リセットボタン(92)

本体表示窓

1 D映像出力表示(12)
2 日付
3 現在時刻
4 予約実行マーク(67)
5 HD/SD画質表示(12)
6 チャンネル/受信レベル表示
7 通信表示
8 HDMI表示(13)

ちょっと一言

- 本機の電源が「切」(待機状態)のとき、表示窓が消えるように設定することができます(80ページ)。
- 信号を受けて自動表示されるため、時計合わせは不要です。万一、正しく日時が表示されていないときは、「リセットボタンについて」(92ページ)をご覧ください。

次のページにつづく⇨

本体後面

1 CS IF入力端子（11）
2 通信端末用アース端子（電気通信事業法に基づく）
3 AVマウス接続端子（41）
4 光デジタル音声出力端子（49）
5 LAN（10/100）端子（31）
6 HDMI出力端子（13）
7 D1/D2/D3/D4映像出力端子（14）
8 音声出力 右/左端子（14、49）
9 映像出力端子（14、41）
10 S1映像出力端子（14、41）
11 電話回線端子（25）
12 電源入力端子（16）

リモコン

1 テレビ操作ボタン（39）
テレビ電源ボタン
入力切換ボタン
チャンネル＋*/－ボタン
2 番組表ボタン（54）
3 戻るボタン（18）
4 前/次ボタン（54）
5 お好みリストボタン（56）
6 プロモボタン（53）
7 数字*ボタン（53、54）
ジャンプボタン（53）
選局ボタン（53）
8 テレビ音量ボタン（39）
消音ボタン（39）
9 電源ボタン（53）
10 字幕ボタン（59）
信号切換ボタン（59）
二重音声*ボタン（59）
11 お知らせボタン（86）
予約リストボタン（70）
画面表示ボタン（60）
12 番組説明ボタン（55）
13 ↑↓←→/決定ボタン（17）
14 オプションボタン（53）
15 クイックパネルボタン（63）
16 ラジオボタン（58）
17 10キーボタン（53）
18 チャンネル＋*/－ボタン（53）

その他

索引

五十音順

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

や行

ら行

数字/アルファベット順

数字

アルファベット

スカパー！についてのお問い合わせは、
スカパー！カスタマーセンターへ

電話：0570-039-888
（携帯電話やPHSのときは、045-287-7777）
受付時間：10:00 ～ 20:00（年中無休）

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などは
ホームページをご活用ください。 **http://www.sony.co.jp/support**

使い方相談窓口

フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・・・・0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・・ 0466-31-2511

修理相談窓口

フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・・・・0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・・ 0466-31-2531

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、
最初のガイダンスが
流れている間に
「202」＋「#」
を押してください。
直接、担当窓口へ
おつなぎします。

FAX（共通） 0120-333-389

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

4-159-987-**05**(1)

この説明書は、古紙 70％以上の再生紙と、
VOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

Printed in Japan